令和５年度

佐倉市立公民館のまとめ

佐 倉 市 立 公 民 館

目　　次

１．佐倉市の公民館…… 1
２．令和５年度　教育目標…… 2
３．公民館運営審議会…… 8

中央公民館
佐倉地区の概要…… 1
１．公民館運営計画…… 2
２．公民館利用状況…… 3
事業報告…… 4
１．家庭教育事業…… 6
家族で一緒に土いじり「陶芸にチャレンジ！」…… 6
親子でアート「窓ガラスお絵かきワークショップ」…… 6
親子でアート「床アートワークショップ」…… 7
２．青少年教育事業…… 8
夏休み子どもゼミナール…… 8
四季の草木染めワークショップ…… 8
佐倉市・女子美術大学連携事業「日本画ワークショップ」…… 9
みんなでワクワク書道パフォーマンス　佐倉東高等学校連携事業……１０
令和５年度　小学生夏休みなんでもチャレンジ実績報告……１０
３．成人教育事業……１３
成人教育講座「生活を楽しむ　竹細工の魅力」……１３
４．高齢者教育事業……１３
四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」……１４
５．団体育成事業……４０
佐倉地区子ども会育成会連絡協議会……４０
６．広報事業……４０
ホームページ……４０
ＳＮＳ……４０
ユーチューブチャンネル「佐倉市生涯学習チャンネル」……４１
７．視聴覚教材ライブラリー事業……４２
視聴覚機器貸出……４２

和田公民館
和田地区の概要…… 1
１．公民館運営計画…… 2
２．公民館利用状況…… 3
事業報告…… 4
１．家庭教育事業…… 6
子育て教室…… 6
家庭教育講座…… 6
２．青少年教育事業…… 7
和田剣道教室…… 7
軽スポーツ大会…… 7
夏休み子どもゼミナール…… 7
子ども芸術鑑賞会…… 8
佐倉っ子塾　料理教室…… 8
佐倉っ子塾　伝統文化体験教室…… 8
３．成人教育事業……１０

佐倉学講座　和田地域学……１０
和田市民大学手芸教室……１０
和田市民大学和田工芸講座……１１
こんにゃく作り講座……１１
和田地区防災講習会……１１
合同研修会……１２
４．団体育成事業……１３
①和田地区青少年育成住民会議……１３
②和田小学校ＰＴＡ民俗資料収集委員会……１３
③和田はたおり保存会……１３
５．広報・展示事業……１４
公民館だより……１４
歴史民俗資料室展示……１４
６．図書事業……１４
図書貸し出し……１４

弥富公民館
弥富地区の概要…… 1
１．公民館運営計画…… 2
２．公民館利用状況…… 3
事業報告…… 4
１．家庭教育事業…… 6
やとみ家庭教育講座…… 6
くらしの講座「みそづくり」…… 6
２．青少年教育事業…… 7
佐倉っ子塾　弥富剣道教室…… 7
星空観察会…… 7
なんでも体験弥富塾…… 7
３．成人教育事業…… 9
グラウンドゴルフ大会…… 9
地域防災講座…… 9
くらしの講座「布ぞうりづくり」…… 9
千葉県文書館出前講座　歴史講座
「近世城下町の祭礼　～江戸天下祭と佐倉城下麻賀多明神祭礼を素材に～」… 9
ちばアカデミア講座＠弥富公民館……１０
佐倉市包括連携協定事業　明治安田生命「ＭＹ定期講座」
「睡眠」と「健康」の知恵袋講座 ……１０
佐倉学入門講座　歴史講座
「遺跡発掘者が語る弥富地区の歴史　古墳時代～平安時代編」……１１
佐倉学入門講座「弥富自然散策観察会」……１１
佐倉学体験講座「クラフトバンドで塩古ざるづくり」……１２
佐倉学体験講座「竹炭づくり体験」……１２
４．団体育成事業……１３
ふるさと弥富を愛する会……１３
弥富地区青少年健全育成住民会議……１３
５．広報活動事業……１３
公民館だより……１３
６．図書事業……１３

図書貸し出し……１３

根郷公民館

根郷地区の概要…… １
１．公民館運営計画…… ２
２．公民館利用状況…… ３
事業報告…… ４
１．家庭教育事業…… ６
みんなと遊ぼう　ぽっぽちゃんくらぶ…… ６
こども工房　家族と楽しむ寄せ植え体験講座…… ７
２．青少年教育事業…… ９
防災デイキャンプ…… ９
夏休み子ども体験講座　絵画教室…… ９
夏休み子ども体験講座　読書感想文教室
～今年の夏は、読書感想文から始めよう～……１０
夏休み子ども体験講座　勾玉づくりに挑戦！……１１
３．成人教育事業……１２
根郷寿大学……１２
シニアのための健康づくり講座……１３
シニア向け初めてのスマートフォン教室……１４
園芸教室「目で見て食べて楽しめるローゼル」……１４
珈琲学入門講座　～おいしさの方程式～……１５
明治安田生命連携事業『仕事や家庭に役立つ「整理収納」講座』……１６
千葉県文書館出前講座
『近世城下町の祭礼～江戸天下祭りと佐倉城下麻賀多明神祭礼を素材に～』…１６
東洋大学生涯学習支援プログラム『記憶と忘却のメカニズム』……１７
おとなのための寄せ植え体験講座……１８
佐倉学入門講座　中世佐倉の道の歴史……１８
佐倉学入門講座　カメラで覗いた印旛沼……１９
佐倉学入門講座　根郷ふるさと探訪……２０
佐倉学体験講座　こんにゃく作り講座……２１
４．団体育成事業……２３
根郷地区社会教育関係団体への支援……２３
根郷地区青少年育成住民会議……２３
花の応援団……２３
定期利用者懇談会……２３
調理室利用者懇談会……２３
５．広報事業……２４
根郷公民館だより……２４
６．図書事業……２４
図書の貸出・返却……２４

志津公民館

志津地区の概要…… １
１．公民館運営計画…… ２
２．公民館利用状況…… ３
事業報告…… ４
１．家庭教育事業…… ６

子育て世代の整理収納の悩みについて学びの講座…… 6
２．青少年教育事業…… 7
佐倉っ子塾　志津子ども教室…… 7
３．成人教育事業…… 8
しづ市民大学（第３４期）…… 8
佐倉学講演会「志津をもっと知ろう」……１２
佐倉学入門講座「井野長割遺跡を学ぶ」……１３
佐倉学入門講座　佐倉道を歩く……１３
佐倉学講座　志津探訪～秋の野草観察～……１４
夏草、秋草の絵を描こう……１４
４．団体育成事業……１５
サークル運営研修会……１５
調理室利用サークル懇談会……１５
志津地区社会教育関係団体への援助……１６
公民館園芸ボランティアへの支援 ……１６
５．広報・展示事業……１７
志津公民館だより「しづ」の発行……１７

臼井公民館
臼井・千代田地区の概要…… 1
１．公民館運営計画…… 2
２．公民館利用状況…… 3
事業報告…… 4
１．家庭教育事業…… 6
みんなで子育て！　赤ちゃんひろば…… 6
ストリートオルガンコンサート…… 6
２．青少年教育事業…… 8
水辺観察会　「こども水辺探検隊」…… 8
バックステージ・ツアー…… 8
星空観測教室…… 8
小６科学実験室…… 9
３．成人教育事業……１０
佐倉学入門講座「臼井の話－小さな歴史を拾い集める－」……１０
ちょっといいとこ見て歩き ……１０
４．コミュニティ事業……１１
コミュニティカレッジさくら……１１
地域学びあい講座……１２
５．団体育成事業……１４
地域団体への支援……１４
６．広報・展示事業……１５
臼井公民館だより……１５
まちづくり資料室の展示……１５
サークル展示活動支援……１５
７．図書事業……１８

１．佐倉市の公民館

佐倉市立臼井公民館

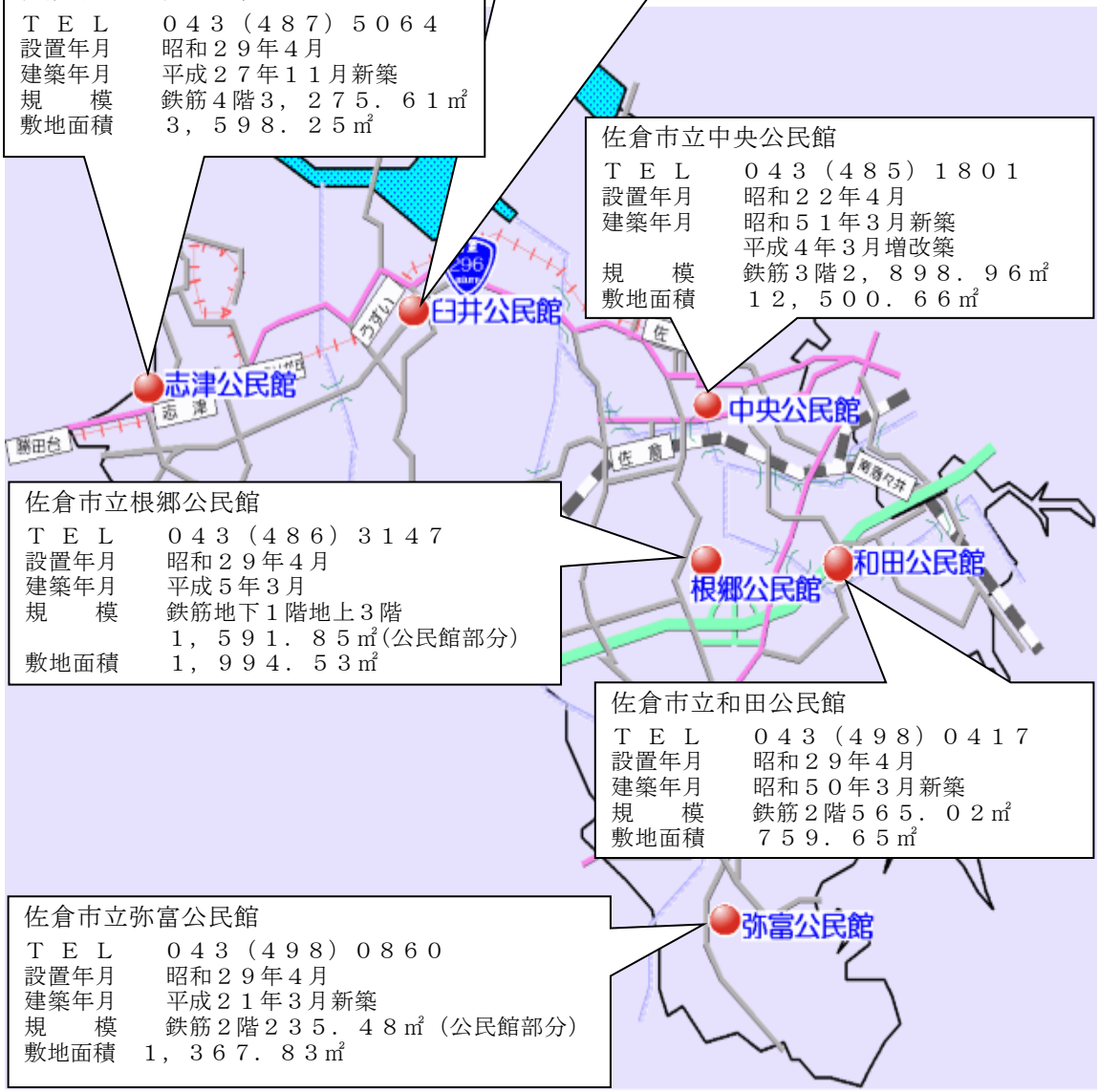
ＴＥＬ	０４３（４６１）６２２１（代表）
設置年月	昭和５９年１１月
建築年月	昭和５９年　９　月佐倉市民音楽ホールとして新築
規　　模	鉄筋地下１階・地上２階
	１，０７８．６６㎡（臼井公民館部分）
敷地面積	４，１０６．３３㎡

佐倉市立志津公民館

ＴＥＬ	０４３（４８７）５０６４
設置年月	昭和２９年４月
建築年月	平成２７年１１月新築
規　　模	鉄筋４階３，２７５．６１㎡
敷地面積	３，５９８．２５㎡

佐倉市立中央公民館

ＴＥＬ	０４３（４８５）１８０１
設置年月	昭和２２年４月
建築年月	昭和５１年３月新築
	平成４年３月増改築
規　　模	鉄筋３階２，８９８．９６㎡
敷地面積	１２，５００．６６㎡



佐倉市立根郷公民館

ＴＥＬ	０４３（４８６）３１４７
設置年月	昭和２９年４月
建築年月	平成５年３月
規　　模	鉄筋地下１階地上３階
	１，５９１．８５㎡(公民館部分)
敷地面積	１，９９４．５３㎡

佐倉市立和田公民館

ＴＥＬ	０４３（４９８）０４１７
設置年月	昭和２９年４月
建築年月	昭和５０年３月新築
規　　模	鉄筋２階５６５．０２㎡
敷地面積	７５９．６５㎡

佐倉市立弥富公民館

ＴＥＬ	０４３（４９８）０８６０
設置年月	昭和２９年４月
建築年月	平成２１年３月新築
規　　模	鉄筋２階２３５．４８㎡（公民館部分）
敷地面積	１，３６７．８３㎡

令和５年度　教育目標

〔基本理念〕（第３次佐倉教育ビジョンより）

わたしが輝き、地域が輝き、未来が輝く、“ 佐倉のひとづくり ”

〔めざすべき佐倉市民像〕（第３次佐倉教育ビジョンより）

（１）思いやりのある豊かな心を持ち、自然や文化を大切にする人
（２）よく学び、自ら考え、進んで行動する人
（３）佐倉への愛着と国際的な視野を持って社会に関わる人

〔基本方針〕（第３次佐倉教育ビジョンより）

〔1〕子どもの「輝く」力の向上をめざす【学校教育】
〔2〕子どもが「輝く」ための教育環境の整備・充実をめざす【教育環境】
〔3〕市民や地域の「輝く」力の向上をめざす【生涯学習】
〔4〕佐倉の「輝く」力の向上をめざす【文化・芸術】

〔令和４年度施策の主な成果〕

令和４年度は、『第３次佐倉教育ビジョン前期推進計画（令和２年度～令和５年度）』の３年目として、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ令和５年度末の達成目標に向けて佐倉の教育の充実に努めました。

施策の主な成果について、『第３次佐倉教育ビジョン前期推進計画』の重点事業から特色のあるもの、新たに取り組んだ事項など主なものを以下に表記します。

なお、施策事業の実績・成果及び評価については、「教育委員会の事務執行にかかる点検評価報告書」を作成し公表いたします。

（１）確かな学力の向上のため、佐倉市独自の学習状況調査を実施し、教育センター報告会、教育センターだよりで調査結果の周知・啓発を行いました。また、過去３年間の経年変化データや調査分析結果を全小中学校へ提供し活用することで、指導方法の改善に取り組みました。

（２）児童生徒一人につき一台のタブレット端末の導入により、授業では視覚に訴えた教材の提示が可能になり、児童生徒の理解が深まりました。また、発表や話し合い活動では、端末を使って効果的な説明や発表を行うことができるようになり、思考力・表現力の伸長につながりました。休校時や欠席している児童生徒に対して授業を配信することにより、希望するすべての児童生徒が等しく授業を受けることができるようになりました。

（３）佐倉学道徳教材検討委員会を開催し、検討委員が授業実践をもとに佐倉学道徳副読本の内容について検討を行うなど、より良い教材となるよう、副読本の改訂作業を進め、佐倉学道徳副読本の試作版を発行しました。

（４）「佐倉学」の推進における取組として、各小学校６学年児童に改訂版佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」を配付するとともに、次年度に向けて佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」の改訂・配付準備を進めました。また、研究モデル

校である内郷小学校と西志津中学校において「佐倉学を通した社会参画意識を高める学習の工夫」についての研修を進めました。また、令和４年度「佐倉学検定」を実施し、小中学生約２,２００名が受検しました。

（５）佐倉市文化祭小中体育大会を実施し、新体力テストでは体力優良の児童に体力優良証を交付するなど、体力向上の推進を図りました。また、児童生徒が参加する小中学校体育連盟主催・教育委員会共催の各種競技大会への参加に伴う経費の一部を補助しました。

（６）学校給食について、新型コロナウイルス感染予防のため、衛生面に配慮した給食を実施するとともに、全小中学校で「城下町佐倉・江戸ぐるめ献立」、「クララホイットニー献立」、「佐倉うまいもの自慢献立」など特色ある給食を実施しました。また、食に関する指導の全体計画の作成が完了しました。

（７）学校の教育環境の向上を図るため、令和２年度から計画的に進めている老朽化したトイレの改修工事について、令和４年度は下志津小学校、弥富小学校、青菅小学校、上志津小学校、王子台小学校、井野小学校において実施しました。

（８）衛生的で機能的な給食施設・設備を維持するため、耐用年数を超えた給食備品等の購入や給食施設等の修繕等を行いました。

（９）少人数によるきめ細やかな指導を行うため、小規模特認校である弥富小学校及び和田小学校に学校支援補助教員を１名ずつ配置しました。また、児童数増加に向けての取組として、ポスターの作製・配付・掲示、小規模特認校公開授業等を実施しました。

（10）教育支援委員会を開催し、適正な就学及び、必要な支援について、調査審議を行いました。また、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する幼稚園・小中学校に特別支援教育支援員を配置し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習及び学校（園）生活における支援の充実に努めました。

（11）アイアイプロジェクト活動を推進し、地域の方々と連携して児童生徒の登下校時の安全確保に努めるとともに、学校と地域の交流を図りました。また、警備業者委託による登下校時の巡回パトロールや教育委員会事務局職員による青色回転灯装備車を用いた巡回パトロールを実施しました。さらに、令和３年度に行われた小学校の通学路緊急一斉点検の結果を受け、７８箇所のうちの対策が済んだ箇所をホームページで更新し、児童生徒の登下校時の安全確保に努めました。

（12）学校運営委員会や下部組織である環境整備委員会、学校安全部会、学校開放部会の開催など、保護者や地域住民が学校運営に参画し、地域と学校が共通の目的を持ち、一体となって、よりよい教育の実現に向けて取り組むことができました。

（13）生徒指導担当者会議における研修、いじめの月例調査の実施、学校支援アドバイザーの派遣等により、教職員のいじめ問題に対する意識が変わり、迅速かつ組織的に対応することができました。また、いじめ事案に対しては、指導主事と学校が緊密に連携を取り、迅速ないじめの解消につながりました。

（14）児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、面接・電話・訪問相談を行い、学校との連携を図りながら指導・支援を行いました。さらに学校教育相談員による適応指導教室の運営を通して、不登校傾向の児童生徒の居場所を確保し、学校と連携して社会的自立に向けた指導・支援を行いました。また、心の

教育相談員を小学校に配置するとともに、スクールカウンセラーや各関係機関等と連携し、児童生徒や保護者、教職員の相談に対応しました。

(15) 市立幼稚園、小学校及び中学校に在籍している園児、児童及び生徒の全世帯を対象として、令和５年１月～３月分の給食費を全額補助することで、保護者の負担軽減を図りました。

(16) 市民の教育への興味や参加意識の向上を図るため、１１月１６日の「佐倉市教育の日」や関連行事について、ホームページ、広報紙、チラシ、フェイスブック、ツイッター等で周知を行うとともに、佐倉の特色を生かした事業を実施しました。

(17) 地域で活動する人材の育成を図るため市民カレッジを開講しました。令和４年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授業は午前又は午後のみとし、コロナ禍を考慮して、自宅でも学習できるよう、授業の様子を録画した動画を佐倉市民カレッジのホームページにて、生徒向けに期間限定で公開しました。また、文化祭は、一部の催しの変更等の感染対策を講じた上で３年ぶりに対面開催をしました。

(18) 地域づくりに寄与する人材の育成を図るため２年制のコミュニティカレッジさくらを開講しました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講義を午前又は午後の半日とするなど感染対策を講じつつ、居住する地域に目を向け、地域課題に対して関心を高め、地域課題解決の手立てを学ぶ講座を開催しました。

(19) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、家庭教育学級、学童期子育て学習講演会、子育て理解講座について各校の実情に応じて実施方法を調整して行いました。学童期子育て学習講演会では、講演会をＹｏｕＴｕｂｅ配信し、講演会を開催できなかった学校にも周知を図りました。また、子育て理解講座については、講座のＤＶＤを作成し、講師派遣を希望しない学校でも校内で実施できるようにしました。

(20) 開館前の「夢咲くら館」を佐倉の秋まつり開催時に施設の一部を一般開放したほか、新型コロナウイルスのワクチン接種会場として使用するなど、地域の拠点として活用を図りながら開館準備を進め、令和５年３月４日に「夢咲くら館」の開館を迎えました。

(21) 図書館にて平和に関する展示を８月に行いました。

(22) 読書に親しむ機会を充実させるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで、人形劇おはなしきゃらばん、大人のためのお話会、教養講座「源頼朝と房総の武士たち」と関連図書の展示を行いました。

(23) 国指定史跡である井野長割遺跡の適切な維持管理を行うとともに、学校や公民館等への講師派遣や普及活動を実施しました。

(24) 武家屋敷、旧堀田邸、佐倉順天堂記念館について、市内外の小学校等の校外学習の積極的な誘致を行いました。また、武家屋敷と旧堀田邸のＶＲ映像を公開しました。

(25) 文化情報誌『風媒花』第３５号を発行し、芸術文化の普及促進に努めました。

(26) 市立美術館で企画展「イラストレーター安西水丸展」、「没後 35 年清原啓子銅

板画展」を、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで開催しました。

（27）市立美術館の教育普及プロジェクトとして、対話による美術鑑賞ミテ・ハナソウを、コロナ対策を取りつつオンラインと展示室内の対面プログラムのどちらでも実施しました。また、市内の小学校と連携して出前授業や美術館訪問を実施しました。そのほか、千葉市にある神田外語大学で海外からの留学生を対象とした対話型鑑賞プログラムを実施。美術館訪問とセットで授業を行うことで、美術館への来館と展示室内プログラムの実施へとつなげました。

〔令和５年度施策の特徴及び重点項目〕

施策の主な特徴として、「①ＩＣＴを活用した学習活動の実施など、より充実した学校教育の推進」、「②登下校時における児童生徒の安全により配慮した見守り活動や学校施設の改修など、安全・安心・良好な学習環境の整備」、「③公民館・図書館等における生涯学習の振興」、「④佐倉図書館跡地駐車場整備など生涯学習環境の整備」、「⑤歴史文化資産や佐倉の魅力を生かした文化振興」の５点が挙げられます。

この５点を含め、『第３次佐倉教育ビジョン前期推進計画』及び以下の重点項目に基づき、各事業の進捗状況を把握し、着実かつ効果的に成果を上げられるよう、各施策を推進します。

（１）学力向上・学習内容の充実に取り組みます

①ＩＣＴを活用した情報教育を推進し、児童生徒の学習意欲の向上や「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進め、学習活動の一層の充実を図ります。

②【新規】ＩＣＴを活用した授業実践をデータベース化し、「いつでも・どこでも・だれでも」触れることができる環境を整え、ＩＣＴを活用した効果的な授業をイメージできる工夫をします。

（２） 豊かな人間性を育む教育に取り組みます

①佐倉学道徳副読本及び佐倉学道徳教材の活用状況を調査するとともに、令和４年度に作成した佐倉学道徳副読本の試作版の内容について、佐倉学道徳教材検討委員会において更なる検討を進めます。

②佐倉学道徳副読本を小中学校で活用することにより、児童生徒の郷土を愛する心を育てます。

③佐倉市文化祭小中体育大会、体力優良証交付などを行うことにより、児童生徒の体力の向上と健康の保持増進を図ります。

④学校給食への地場産物の使用などを通じて児童生徒への食育を推進します。

（３）良好な学習環境を整備します

①【継続】老朽化したトイレの全面改修を進めることで、学習環境の向上を図ります。

②小中学校施設の安全対策と老朽化対策に取り組み、施設の維持管理に努めます。

③老朽化した給食施設・設備の補修工事を実施し、安全・安心な環境の下で円滑な学校給食運営を図ります。

④小規模特認校として指定された弥富小学校及び和田小学校に学校支援補助教員を１名ずつ配置し、少人数によるきめ細かな指導を行います。

⑤【拡充】特別な支援を必要とする幼児児童生徒のいる幼小中学校に特別支援教育支援員を配置するほか、医療的ケアの必要な児童が在籍する学校に看護師を配置することで、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習や生活支援の充実に努めます。

（４）地域に開かれた学校運営を行います

①教育懇話会の開催を通して、市民と共に佐倉の教育について考え、今後の教育施策に生かすことで地域に信頼される学校づくりを目指します。

②地域との連携を深め児童生徒の登下校時の安全確保に努めます。

③学校運営委員会等の学校・家庭・地域の連携を行う取組を推進します。

④【新規】「地域の子供たちは地域で育てる。」という意識の下、部活動の在り方について調査研究を進めます。

（５）安心して学校に通える環境を提供します

①「佐倉市いじめ防止基本方針」に基づき、「佐倉市いじめ対策調査会」、「佐倉市いじめ問題対策連絡協議会」、「佐倉市いじめ防止子供サミット」を開催するとともに、学校支援アドバイザーを巡回派遣するなど、いじめ防止のための対策を推進します。

②児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、学校教育相談員及び心の教育相談員を配置するとともに、スクールカウンセラーや各関係機関等と連携し、教育相談体制を充実させます。

③【新規】多子世帯の保護者の経済的負担の軽減を図り、子育て支援を推進するため、第３子以降の給食費を補助します。

（６）市民の生涯学習を推進します

①佐倉の教育への関心を高めるため、「佐倉市教育の日」関連行事を充実させます。

②地域との連携を持ちながら住みよいまちづくりを考え、実践を通した生涯学習の場として市民カレッジを運営します。

③佐倉学事業の充実を図ります。

④家庭の教育力向上のため、学校や地域と連携した家庭教育を充実させます。

（７）生涯学習の環境を整備します

①【新規】佐倉図書館跡地駐車場整備工事を進めます。

（８）歴史・文化資産を保全・活用します

①国指定史跡である井野長割遺跡の適切な維持管理を行います。

②歴史文化資産について、各種講座や見学会等を開催し、郷土への関心と愛着を高めます。併せてこれらの資産に関して、ホームページやリーフレット、ＳＮＳ等で広く情報発信を行い、佐倉の歴史文化的な魅力について市内外に周知します。

（９）芸術文化の普及を推進します

①文化情報誌『風媒花』の発行等を通して、芸術文化の普及を促進します。

３．公民館運営審議会

佐倉市公民館運営審議会委員（期間　令和４年７月１日～令和６年６月３０日）

氏　　名	所　　属　　等	備　考
金田　一幸	千葉県立佐倉南高等学校長	
猪熊　浩文	佐倉市立志津中学校長	
髙木　秀樹	佐倉市立下志津小学校長	
松崎　裕美子	人権擁護委員	～令和5年5月31日
岩井　睦	人権擁護委員	令和5年6月1日～
藤崎　貴之	佐倉市青少年相談員連絡協議会	
岩波　二三子	学識経験者	
藤崎　言行	学識経験者	
片山　喜久子	学識経験者	
林　　義之	学識経験者	
慶田　康郎	学識経験者	
森　　秀夫	学識経験者	
吉光　孝一	公募	
鴇﨑　金次	公募	
田渕　敦子	公募	
友崎　彰	公募	

中央公民館

佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。

内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、佐倉草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などの施設がある。

京成電鉄とＪＲ総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城跡、武家屋敷、順天堂記念館、平成１８年に国の重要文化財（建造物）に指定された旧堀田家住宅及び、庭園を含む一帯は「旧堀田正倫庭園」として平成２７年３月に国の名勝に指定されるなど、歴史と文化の環境に恵まれている。平成２８年４月には「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として佐倉市、成田市、香取市、銚子市の四都市が「日本遺産」に認定された。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、佐倉図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており、商店街も形成している。

中央公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成１１年３月に建設された千葉県印旛合同庁舎がある。ＪＲ佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩１５～２０分、最寄りバス停から１０分の場所に位置する。

佐倉地区のデータ

【令和６年３月末現在】

○佐倉地区：面　　積　約２０．６㎢	（佐倉市：面　　積　１０３．６９㎢）
○佐倉地区：住基人口　２７，４１０人	（佐倉市：住基人口　１６９，９３０人）
○佐倉地区：人口密度　１，３３０人/㎢	（佐倉市：人口密度　１，６３８人/㎢）

１．公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

新型コロナウイルス感染症が５類に移行されたものの、施設利用者等の健康と安全を最優先とすべく、引き続き、様々な感染症に対する感染拡大防止対策の意味合いも含めての衛生対策を講じていく。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施し、計画事業は、感染リスクを回避する方策を工夫し、無理なく実施可能な事業を見極めながら実施していく。

運営方針

歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことを目指す。

努力目標

○施設利用者等の健康と安全を最優先に、引き続き、様々な感染症に対する感染拡大防止対策の意味合いも含めての衛生対策を講じていく。
○利用者に対して、快い適切な対応をするように努める。
○より多くの方に利用してもらうよう施設設備の提供に工夫をすると共に、安全管理に努める。
○社会状況の変化を踏まえ、次代を見据えた学級・講座の充実に努める。
○公民館に関係する各種団体との連携を図り、活動の支援に努める。

事業内容

１．施設・備品の提供

（１）施設の提供（団体、グループ単位）

① 開館時間　午前９時から午後９時まで。
ただし、月曜日・祝日・夜間利用がない場合は、午後５時まで。
② 利用区分　１時間単位
③ 休館日　　第２・第４月曜日、及び年末・年始（１２月２８日～１月４日）。

（２）備品の提供（団体、グループ単位）

館外貸与できるもの　机、椅子、拡声装置、視聴覚機器、視聴覚教材

２．学級講座

地域の特性を活かした、各世代に応じた学習機会の提供と学習内容の充実

３．団体育成事業

利用団体や関係団体の学習活動と地域活動の支援

４．広報事業

施設や関係団体の情報提供、ＳＮＳを活用した情報発信の推進

２．公民館利用状況

年度別利用状況

区　分	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
利用件数（件）	4,720	1,649	3,490	4,428	4,229
利用人数（人）	90,628	25,061	44,767	53,692	56,413
開館日数（日）	318	272	334	335	335

※利用可能回数（下記）が施設により違う理由
　下記の貸館があったため
　・令和５年５月２２日（月）　印旛郡市文化財担当者連絡協議会総会

令和５年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大ホール	3,856	2,133	55.3%
研修室１	3,856	1,452	37.7%
プレイルーム	3,856	382	9.9%
研修室２	3,856	1,369	35.5%
研修室３	3,856	1,307	33.9%
調理室	3,856	570	14.8%
和室	3,856	628	16.3%
会議室	3,856	1,172	30.4%
アトリエ	3,856	1,075	27.9%
工芸室	3,856	642	16.6%
学習室１	3,856	1,590	41.2%
学習室２	3,856	1,376	35.7%
学習室３	3,860	1,576	40.8%

令和5年度　　**中 央 公 民 館**　　事業報告

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
家庭教育	家族で一緒に土いじり 「初めての陶芸にチャレンジ！」	小学生と 保護者	7/23　7組16人 8/27　7組14人	家族で土とふれあい、協力してものづくりすることにより、コミュニケーションを図る機会とするとともに、陶芸の基礎を学ぶ。
	親子でアート 「窓ガラスお絵かきワークショップ～お日様の光で公民館に星座を描こう！～」	小学生と 保護者	8/6　11組28人	中央公民館の窓ガラスに自由にお絵かきをしてもらうことで、子供たちの自由な感性を育むとともに、親子で一緒にアートすることの楽しさを実感してもらう。
	親子でアート 「床アートワークショップ～空から見た地球を描こう！」	小学生と 保護者	8/18　12組32人	中央公民館のロビーの床に親子で自由にお絵かきをしてもらうことで、親子で一緒にものを創り出すことの楽しさを感じてもらう。
青少年教育	夏休み子どもゼミナール	小学5年生～中学生　※夜間講座は家族同伴	7/26　14人 7/30　8人 8/17　14人 8/26　34人	星空観察や環境等(天気・廃油石鹸・牛乳パック葉書）について、専門の講師を招き、少人数制で体験的に学ぶ。星空観察は和田公民館との共催。
	四季の草木染めワークショップ	小学生以上	8/5　19人 10/14　16人	藍の生葉や落葉など身近な素材を使って草木染めを学ぶ。
	佐倉市・女子美術大学 連携事業 「日本画ワークショップ」	小学校高学年～中学２年生	8/17　10人	女子美術大学教員・学生の指導を受けながら日本画を体験する。
	夏休み学習ルーム	小学生から 一般市民まで	7月下旬 ～ 8月中	夏休み期間中、自主学習の場を提供する。
青少年教育 夏休みなんでもチャレンジ	公民館利用団体に夏休みに小学生向けの体験講座を開催してもらうことで、各団体の学習の成果を発揮し子どもたちとの交流を図った。			
	佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラファミリーコンサート	子どもから 大人まで	7/16　250人	毎年夏季にコンサートを開催する「佐倉シャルマン・ウィンド・オーケストラ」のファミリーコンサート。子どもたちにとって生演奏を聴く貴重な機会となった。
	花とあそぼう・いけばな教室	小学1～6年生	7/26　10人 7/27　12人	佐倉市華道連盟が指導。季節の花や草を使い、よい形になるいけ方や花の切り方を教えてもらいながらいけ花を作成した。
	スクエアダンスに挑戦しよう！	小学1～6年生	7/28　6人	シャトー佐倉ＳＤＣが指導。音楽に合わせ、指示を聞きながら目まぐるしくフォーメーションを変えて踊る。ハイタッチを交えるなど世代間の交流を楽しみながら体験していた。
	ニュースポーツにチャレンジ	小学1～6年生	7/30　10人	佐ちゃん倉くん応援隊25が指導。お手玉をつかったニュースポーツ、お手玉カーリングとお手玉合戦を体験した。
	竹ひごで魚のモビールを作ろう	小学5・6年生	8/8,10　4人	竹工芸友の会が指導。竹ひごを使い、魚のモビールを作った。参加者それぞれ講師がつき、竹ひごの扱い方を学んだ。
	夏休み影絵教室	小学1～6年生 (1～2年生は保護者同伴)	8/5　10人 保護者　5人	影絵塾９が指導。影絵劇を観賞して、登場する人形を自分で作り、スクリーンに映して演技する体験をした。
	佐倉東高校連携事業 「みんなでワクワク書道パフォーマンス！」	小学4年生から 中学生	8/2　10人	佐倉東高校書道部に書道パフォーマンスの実演、指導をしてもらい、小中学生に文字を書くことの楽しさを実感してもらう。
佐倉学	成人教育講座 「生活を楽しむ　竹細工の魅力」	成 人	12/3　24人	座学と竹細工の工作体験を行う。

令和5年度　　**中 央 公 民 館**　　事業報告

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
成人教育	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第１学年 第２学年 ２年間の学習コース 《専攻課程》 第３学年 第４学年 ２年間の学習コース (以下の４コース) あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	第１学年		高齢化社会の中で、市民が健康で生きがいをもち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をとおした生涯学習の場とする。 「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。 「専攻課程」は、福祉・歴史・情報・元気の４分野に分かれて行う専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。
		成 人	5月～ 2月 30回	
		第２学年		
		成 人	5月～ 2月 30回	
		第３学年		
		成 人	5月～ 2月 22回	
		第４学年		
		成 人	5月～ 2月 23回	
広報活動	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供する。
	SNS・YouTube	市民	随時	中央公民館の情報を発信する。
視聴覚ライブラリー事業	視聴覚機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出を行う。

１．家庭教育事業

家族で一緒に土いじり「陶芸にチャレンジ！」

①開設趣旨　家族で一緒に土とふれあい、協力してものづくりをすることにより、コミュニケーションを図る機会とする。また、陶芸の基礎を学ぶ。

②募集対象　小学生と保護者　７組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
１	７月２３日(土) ９：３０～ １２：００	親子で陶芸を体験する。	陶芸家　安本　幸世
２	８月２７日(土) ９：３０～ １２：００	作品に絵付けをする。講義。	陶芸家　安本　幸世

④講座を終えて　当該講座は昨年に引き続きの陶芸体験の講座である。

「家族で陶芸に挑戦します！生活を彩る陶芸作品を一緒に作りませんか？」として参加者を募集したところ、７組の定員枠に２８組のご応募があった。当該講座は、「１組：保護者１名に小学生２名まで」としていること及び講師から細かなアドバイスを受け得る人数であることという２つの観点から７組という定員枠を設けているが、これはつまり、すべての組が小学生１人であった場合と２人であった場合とでは、全体として１４～２１人の幅があるということである。

参加人数が１６人だった今回（２組が小学生２人）、講師は休みなく各参加者の進捗状況に応じたアドバイスをし、時にアドバイスの順番を待つ参加者が見受けられたものの、講座後のアンケートでは「満足」「楽しかった」「次回も参加したい」とする回答が殆どであり、当講座においては、現在の定員枠である１４～２１人の幅が、かろうじて適正範囲と考える。

応募者の関心が高い講座について、より多くの方に参加いただけるよう考える場合、特殊技能のある講師に指導いただきながら制作を行う当該講座のような内容は、定員枠の拡大が難しい。一方、そうした内容ゆえに、関心や満足度の高さに繋がっていることも否めない。こうした両立の困難さ（定員枠の拡大と内容）について、その他の諸条件も勘案しながら、いかに対応していくかということは、当講座の大きな課題であると考える。

親子でアート「窓ガラスお絵かきワークショップ」

①開設趣旨　中央公民館の窓ガラスに自由にお絵かきをしてもらうことで、子供たちの自由な感性を育むとともに、親子で一緒にアートすることの楽しさを実感してもらう。

②募集対象　小学生と保護者　１１組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
１	８月　６日(日) １０：００～ １２：００	中央公民館１階ロビーの窓ガラスに、親子で絵を描いてもらう。	久本　綾 （アトリエティエラアスールこども造形教室講師）

④講座を終えて　３回目となる今回は、実際に窓ガラスにお絵描きをするのではなく、窓ガラスに貼った画用紙を夜空に見立てて、そこにお絵描きをしてもらった。紙だか

らこそできる切り絵等の工作作業を加え、星空をテーマに作業を行った。佐倉東高校美術部製作の星空モビールを会場に飾ったり、市内図書館から星空関連の本を借用し、星空製作の助けとなるよう工夫した。使う道具がこれまでクレヨンのみだったのと異なり、ハサミやセロハンなど色々な道具を使いながら描く作業は好評で、アンケートでは１００％の満足をいただいた。１１組の参加者が作り上げた星空作品は個性が溢れながらも統一感のある美しい作品に仕上がった。１か月間展示を行ったので、来館者の方にも暑い夏の時期に星空の世界を楽しんでいただける事業となった。

親子でアート「床アートワークショップ」

①開設趣旨　中央公民館のロビーの床に親子で自由にお絵かきをしてもらうことで、親子で一緒にものを創り出すことの楽しさを感じてもらう。

②募集対象　小学生と保護者　１２組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
１	８月１８日(日) １０：００～ １２：００	中央公民館周囲のロビーの床に、親子で絵を描いてもらう。	久本　綾 （アトリエティエラアスールこども造形教室講師）

④講座を終えて　床アートは昨年行った道路アートの室内版という形で実施した。プラスチック段ボール１２枚をキャンパスにして、「空から見た地球」をテーマにアクリル絵の具で山や森、海など参加者が考える地上の絵を大きく自由に描いてもらった。

道路アートと同様、大きなキャンパスに全身を使って絵を描く作業は、普段家ではできないことであり、保護者の方含め参加者はとても楽しそうに作業に没頭していた。

昨年同様、佐倉高校美術部の皆さんにもボランティアとして参加してもらった。子供たちが描く作業を手伝うという立ち位置を明確にしたことで、昨年よりさらに世代間交流は深まるとともに、参加者の要望に対する細やかな対応に繋がった。

また窓ガラスワークショップは描くエリアが限定的だったが、描くエリアを自由にしたことで、参加者間の交流を促進することができた。

結果として、アンケートでは、子ども、大人、どちら側からも高い評価をいただき、満足度の高い事業となったと思う。

２．青少年教育事業

夏休み子どもゼミナール

①開設趣旨　科学分野の専門家の方々を講師に招き、少人数制でゼミ形式の講座を開催することにより、子どもたちに科学について興味を持ってもらうことをねらいとする。令和５年度は、下記「③プログラム」の分野にて講義を行っていただいた。

②募集対象　小学５年生～中学生※４は家族同伴可　２０人～３０人

③プログラム

	実施日（曜日）	学習内容	講師
１	７月２６日(水) １０：００～ １１：３０	天気を予想できるナゾ 天気予報の仕組みを分かりやすい解説で学ぶ。	銚子地方気象台 鈴木　智也 園田　麻帆 田中　智也
２	７月３０日(日) １４：００～ １６：００	廃食油で作る「ふりふり石けん」 廃食油（揚げ物に使った後の油）から石けんを作って「リサイクル」がごみを減らし温暖化防止につながることを学ぶ。	千葉県地球温暖化防止活動推進員 廣田　由紀江
３	８月１７日(木) １４：００～ １６：００	牛乳パックＤＥ紙すきハガキ作り 牛乳パックを原料に紙すきをして色とりどりのうちわを作って「紙のリサイクル」を学ぶ。	千葉県地球温暖化防止活動推進員 廣田　由紀江
４	８月２６日(土) １９：００～ ２０：３０	天体望遠鏡で星空観察 天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのか学ぶ。	天体観望会支援グループ「宇宙魅せ隊」代表代行／星のソムリエみたか　星空案内人 芳野　雅彦

④講座を終えて　昨年度もお引き受けいただいた講師による講座であったため(気象台の講座についてのみ、「中央公民館での講座は初めて」という講師が２人いらっしゃった)、参加者の中には、「昨年度、先生の講座が楽しかったので、今年も応募しました」という方もおり、どの講座も和やかな雰囲気が漂う講座となった。

「天気を予想できるナゾ」では、雲を作る簡単な実験を楽しむと同時に災害についても学ぶことが出来、また、「廃食油で作る「ふりふり石けん」」,「牛乳パックＤＥ紙すきハガキ作り」においては、工作を楽しむと同時に地球温暖化等の環境問題についても、学ぶことが出来た。「天体望遠鏡で星空観察」においても、講師がご持参くださった多数の機器で、普段、なかなか体験出来ない電子観望を体験し、参加者も興味深く星空を眺めていらした。

前年度からの大きな変更点としては、講座の受付方法をちば電子申請システムでおこなった点である。これにより、応募者と主催者の双方にとって、効率の良い受付が出来たことは大きな収穫であったと考える。

今後も、システム受付についてより理解を進め、講座の周知方法とともに、応募者と主催者の双方にとって、より効率的で効果的な方法を模索し、事業の応募者を増やしていきたい。

四季の草木染めワークショップ

①開設趣旨　身の回りの草花野菜から色を抽出して布を染める体験を通して、佐倉市の四季の移り変わりを実感し、佐倉の自然の豊かさを学んでもらう。また天然染料によっ

て生み出す「布」作りを通して、「布」、ひいてはモノを大事にする心を養う。
②募集対象　小学生以上　１６人～２０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月　５日（土） １０：００～ １２：００	藍染めエコバック、藍染めガーランドを作る	草木染め染色家 駒澤 菜穂子
2	１０月１４日（土） ①　９：３０～ １１：００ ②１０：３０～ １２：００	エコプリント染めのエコバック、エコプリント染めのガーランドを作る	

④講座を終えて　今年度は草木染め染色家の駒澤菜穂子さんに講師をお願いしたため、昨年と違った進め方となったが、非常に熱心に指導をしていただき、染めも色々な技法を詰め込んだ盛りだくさんの内容となった。
　染める作品自体も参加者が持ち帰る作品に加え、ロビーに展示する染めガーランドを、参加者全員で一緒に製作した。これは一緒に何かを作り上げることで、参加者間の交流を促進する狙いがあったが、その狙いどおり、会話が活発になり、非常に盛り上がった。ただ、作業工程が増えたことにより、どの回も時間が延長となってしまい、参加者の中には途中で帰る方もいらっしゃった。
　アンケートの満足度は非常に高かったが、時間通りに終わるような作業工程を事前に講師ときちんと話し合う必要性を感じた。
　草木染めワークショップは毎回応募数も多く抽選となるため、参加人数を多めに設定するが、先生が指導できる許容人数もきちんと見極めていきたい。ガーランドはロビーに一か月間展示し、来館者にも染め作品を楽しんでいただき、草木染めワークショップの周知にも繋がったと思う。

佐倉市・女子美術大学連携事業「日本画ワークショップ」
①開設趣旨　日本画は画材の種類や取扱いについて複雑な性質を有するため、学校活動や習い事などでも体験の機会を持つことが難しい文化芸術活動のひとつになっている。協定および近隣在住講師の協力のもと、長く受け継がれてきた日本画の描画・彩色と、天然素材から生まれる画材を通して、伝統文化やその伝承に必要な環境への関心を高める。
②募集対象　小学校高学年～中学２年生　１０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月１７日（木） Ａ１０：３０～ １２：００ Ｂ１３：３０～ １５：００	日本画の画材でうちわに絵を描く	女子美術大学 芸術学部日本画専攻 非常勤講師 神保　千絵

④講座を終えて　文化課と共催で実施した。中央公民館では応募事務、当日の会場準備、参加者対応を行った。
　ワークショップでは、講師説明のあと、墨・膠・岩絵具の特徴を体感しながら、うちわへの作画を行った。参加者のほとんどは保護者からのすすめで申し込んでおり、ごく少数ではあるが、日ごろ描くことに親しんでいないという子どももおり、過去の一般向け募集

より参加層を広げることができた。

日本画は、制作に要する作業が多岐にわたり、体験機会を得にくい芸術文化のひとつとなっている。当市は、協定に加えて、市内文化活動に関わりのある講師陣にご協力いただくことができる環境にある。今回の結果から、今後も当市文化普及事業・青少年教育事業として実施していく意義があると思われる。

みんなでワクワク書道パフォーマンス　　佐倉東高等学校連携事業

①開設趣旨　書道は日本の伝統文化の一つであるが、学校の教科以外では、筆を持つ機会は少なくなりがちである。

近年、関心が高まりつつある書道パフォーマンスを、佐倉東高等学校書道部の協力により実演・指導をしていただくことにより、小・中学生に文字を書くことの楽しみを体感してもらうことを目的とする。

なお、郷土の先覚者の一人・香川松石は書道教育を日本全国に広めた書家であることから、本事業を佐倉学の一環として位置付ける。

②募集対象　小学４年生から中学生　１０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月　２日（水） １０：００～１２：００	（１）佐倉東高校書道部によるパフォーマンス （２）参加児童・生徒による書きたい文字の練習・清書 （３）参加児童・生徒による大筆を使ったパフォーマンス体験	佐倉東高等学校書道部員

④講座を終えて　参加者は１０人。小学４、５年生が８人、中学生が２人。小さい子を教える経験がなかった書道部員と、大筆を含む様々な筆を使った書道体験をすることになった小・中学生それぞれに戸惑いがあったものの、互いに協力し合いながら作品作りに没頭することで、新鮮さと達成感を得られたことは大きな収穫であり、満足度の高い事業となったと思われる。

特に今回の書道部員のような高校生が人を教える立場を体験することは、今後の自らの活動においても良い影響を与えるものと考えられ、公民館事業に機会をとらえて参画してもらうことで、高校生の公民館に対するイメージ変化につなげていきたい。

また、事業終了後の夢咲くら館や公民館内での作品展示、その他動画配信を行ったことは、本事業を広く知ってもらう上で効果的であった。

令和５年度　小学生夏休みなんでもチャレンジ実績報告

①開設趣旨　公民館利用利用団体に夏休みに小学生向けの体験講座を開催してもらうことで、各団体の学習の成果を発揮し子どもたちとの交流を目指す。

②募集対象　小学生（主に佐倉地区の小学校）

③開催期間　小学生の夏休み期間

④協力団体募集　中央公民館窓口にて４月下旬から６月上旬まで協力団体募集のチラシ

を配布し、６団体の申込を得た。
⑤参加者募集　こうほう佐倉で周知するほか、小学生向け公民館だよりを作成し、主に佐倉地区の小学校に配布した。
⑥プログラム及び参加者数　以下のとおり
⑦講座を終えて　公民館利用団体６団体の協力を得て実施した。講師役を務める公民館利用団体にとっても、子どもたちとの交流は新鮮な気持ちで活動することのできる貴重な体験となっている。今後、協力団体をさらに増やしていきたい。

★佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラファミリーコンサート
演奏 佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラ
日時　７月１６日(日)１４：００～１６：００
会場　中央公民館１階大ホール
参加無料　全自由席 申込不要
参加者数　２５０人

★花とあそぼう・いけばな教室
指導　佐倉市華道連盟
日時 ①７月２６日(水)１０：００～１２：００
②７月２７日(木)１３：３０～１５：３０
会場　中央公民館3階アトリエ
対象　市内小学生　定員　各回１０人　参加費　１回５００円
持ち物 筆記用具、ハンドタオル、花を持ち帰る袋（レジ袋など）
参加者数　①７月２６日(水)　１０人　②７月２７日(木)　１２人

★スクエアダンスに挑戦しよう！
指導　シャトー佐倉SDC
日時　７月２８日(金)１３：００～１４：３０
会場　中央公民館1階大ホール
対象　市内小学生　定員　８人　参加無料
持ち物　水、ハンカチ、運動きやすい服装と靴
参加者数　６人

★ニュースポーツにチャレンジ
指導　佐ちゃん・倉くん応援隊25
日時　７月３０日(日)９：３０～１２：００
会場　中央公民館１階大ホール
対象　市内小学生　定員５０人　参加無料
参加者数　１０人

★竹ひごで魚のモビールを作ろう
指導　竹工芸友の会
日時　８月８日(火)・１０日（木）の２日間　９：００～１２：００
会場　中央公民館３階アトリエ
対象　市内小学５～６年生　定員　１０人　参加無料
参加者数　４人

★夏休み影絵教室
指導　影絵塾９
日時　８月２３日(水)１０：００～１５：００

会場　中央公民館２階研修室２
対象　市内小学生（１～２年生は保護者同伴）
定員　１０人　参加無料　持ち物　お弁当、カッター（細めタイプ）
参加者数　小学生１０人　保護者５人

３．成人教育事業

成人教育講座「生活を楽しむ　竹細工の魅力」

①開設趣旨　伝統技法の研究・創作活動に取り組む「佐倉竹芸保存会」を講師に招き、竹芸の魅力を語っていただき、その作品を鑑賞するとともに、実際に会のメンバーの指導で工作体験をしていただくことにより、身近な素材を用いた物づくりの楽しさを学び、芸術文化を愛し、自らの生活を豊かにするきっかけづくりの場とする。

②募集対象　成人　３０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１２月　３日（日） ９：３０～ １２：００	「佐倉竹芸保存会」の概要説明とパワーポイントを使った「竹」の特性に関する講義、グループ分けをして「握り籠づくり」の工作体験、保存会メンバーの作品展示	佐倉竹芸保存会

④講座を終えて　参加者はキャンセル等もあり２４人で実施、５０、６０歳代の参加者が多かった。本事業は３年目を迎え、講師の指導方法に無駄がなく、スムーズに事業を進めることが出来た。

アンケート結果を見ても参加者の満足度は高く、ほぼ全員が伝統工芸に関心を持ったことは大きな成果であったと思われる。材料の不具合で満足のいく体験が出来なかった方がおり、自然素材を使った事業の難しさを感じた。なお、指導者の竹芸保存会にとっても、会員のスキルアップにつながっており、伝統工芸の継承に寄与していると思われる。

４．高齢者教育事業

四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

１．開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和５３年５月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大６期生より自主的に２年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。また、短大生たちの中で４年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための四年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、四年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、４０歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して四年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」という名称のもと平成４年５月に開設した。初年度は４０歳以上６０歳未満の２０人を含む第１学年１００人、短大の卒業生が編入した第３学年９６人の２つの学年によりスタートした。そして、平成５年度より新１年生と短大の編入生である新３年生を含めた４学年が揃い、本格的な四年制大学校としての歩みを始めた。

２．開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会（現在は超高齢社会）の中で、市民が健康で生きがいをもち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をとおして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、佐倉市民カレッジ（以下、市民カレッジという。）では高齢者のみならず、高齢準備期である４０歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている。

３．新型コロナウイルス感染症の５類感染症移行後について

新型コロナウイルス感染症が５類感染症に移行したが、以下の取り組みは継続して行った。

・入学定員の減少（１００名から８０名に）
・感染防止等の事情のために来館できない生徒のため、期間を限定し、授業を佐倉市民カレッジ掲示板ウェブサイト上で動画配信する。生徒は動画を視聴し、自己申告取得単位報告書を当館に提出することで単位を取得できるようにした。
・１日の授業時間を午前または午後の半日を基本とする。
・入学式・始業式及び卒業式・修了式を学年毎に分散開催

４．入学対象・定員

（１）入学対象者
①佐倉市に在住する４０歳以上で、４年間継続して通学できる人
②積極的に自主学習ができる人
③卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

（２）定員：下記のとおり（先着順）
なお、令和５年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募集定員	応募数	入学者数
第１学年	４０歳以上　　８０人	７４人	７２人

※令和５年度の学生数

学　年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者	
		人　数	小　計	人　数	小　計
第１学年	１　組	３６	７２	３２	６６
	２　組	３６		３４	
第２学年	１　組	２５	４７	２５	４７
	２　組	２２		２２	
第３学年	福　祉	１２	５５	１２	５５
	歴　史	１７		１７	
	情　報	１３		１３	
	元　気	１３		１３	
第４学年	福　祉	１８	６５	１８	６５
	歴　史	１７		１７	
	情　報	１７		１７	
	元　気	１３		１３	
計			２３９		２３３

５．佐倉市民カレッジの学習内容

（１）「であい課程」の学習

市民カレッジの学習期間は４年間であるが、その前半の２年間は「であい課程」である。主に一般教養として、佐倉の歴史、文化、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済等の広い分野を学び、共に学ぶ仲間をつくる。また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域とであう中で、新たな生きがいを見つけることを学習のねらいとしている。

「であい課程」２年間の学習日数は約６０日に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマを設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの実習などと様々である。このほか、学生が自ら考え、自己責任において行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」１年では、「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているのか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合って相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。

２年の「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、基本計画と財政、環境と環境保全、福祉と健康、教育施策「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。

一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。

（２）「専攻課程」の学習

３年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自主的に学習できる体制を整えている。

「専攻課程」には４つのコースを設けている。学習日数は２年間で４０日程度である。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

①「あったか福祉コース」

社会福祉全般の理論の学習や実習を通して、福祉活動を考え実践できることを主眼としている。３年生では、障害福祉、高齢者福祉、福祉サービスなどの福祉全般に関する知識や、車いすの操作方法、視覚障害者の歩行誘導などの障害者との基本的な接し方を学ぶ。

４年生では３年時の学習に加え、講義で福祉関連の知識を広げるとともに、傾聴の実習や、自分たちが学んだ介護技術を他コースの生徒に教える「学び合い学習」で、実践的な学習にも取り組んでいる。

「傾聴」をテーマとした学習は「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び、人が地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を学ぶことである。これは市民カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考える。

②「ふるさと歴史コース」

郷土佐倉の歴史、先覚者、歴史的町並みについて学び、郷土佐倉を愛する心を育んでいく。その内容は講義形式の授業を受けるだけではなく、自主的にテーマを設定して研究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策案内や学習補助をボランティアで行っている。

③「さわやか情報コース」

デジタルディバイスと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用して、自主的に地域活動ができるようになるために、３年生では基礎からのパソコンやスマートフォンの実習や、動画を使った情報発信、４年生ではパソコンの学習成果を活かした実習を行っている。また、地域活動における名簿作りや、会計資料作成に役立つように表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学習も盛んである。

④「ゆっくり元気コース」

自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。３年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースをカレッジ生が自主的に作成する。作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。その他、生活習慣病に対する理解と予防、フレイル予防などについて学ぶ。さらに、太極拳やヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

４年生では、実践活動と今までの主体的な学習の過程や成果を通じて健康の維持と地域活動への導入を図る。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。
また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。
カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、市民カレッジを卒業してからの課題となる。

６．佐倉市民カレッジの学習の特色

市民カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他の機関・施設の協力を得て学習を展開している。国立歴史民俗博物館、千葉地方検察庁、佐倉警察署、千葉県立中央博物館、広域高速ネット２９６、順天堂大学、ＮＰＯニッポンランナーズ、東京情報大学、福祉施設などから講師派遣の協力をいただいている。
また、これらを含めた令和５年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

○校外学習

１学年	５月３０日		１年生歓迎ウォークラリー 坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く
	７月　４日	１組	地域活動の実践者に学ぶ（現地視察）
	７月１１日	２組	
３学年	１２月　７日	福祉	福祉施設（佐倉白翠園）訪問
	５月２５日	歴史	大佐倉の歴史散策
	６月２２日	歴史	臼井の歴史散策
	９月１４日	歴史	成田山の歴史を学ぶ
	１０月１２日	歴史	佐倉地区の歴史散策
	１０月１９日	歴史	志津の歴史散策
	１月１１日	歴史	七福神巡り
４学年	６月２１日	福祉	木の宮学園施設見学
	５月３１日	歴史	夢咲くら館及び塚本美術館見学
	６月１４日	歴史	新町の歴史散策
	６月２８日	歴史	佐原のまちづくりを学ぶ
	６月２８日	情報	国会図書館見学
	５月３０日	元気	１年生歓迎ウォークラリー 坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く
	１２月　６日	元気	ノルディック・ウォーク

７．令和５年度の主な行事

（１）入学式・始業式

入学式・始業式は、分散し学年ごとに行った。

入学式は５月９日（火）に行われ、７２人の新入生が晴れの日を迎えた。

佐倉市長・西田三十五総長から「新入生の皆様は、これから始まる４年間の学習、活動、新たな仲間との出会いへの期待に大きく胸を膨らませていらっしゃることと存じます。

佐倉市民カレッジの建学の精神は「為すことによって学び、学ぶことによってお互いを高めあい、他に尽くす」ことでございます。皆様には、佐倉市民カレッジ第三十一期生として、四年間、佐倉の歴史、自然、文化など郷土(きょうど)について学ぶほか、地域や社会の課題となっている分野などについても、多くの知識を習得していただければ幸いでございます。」（抜粋）との祝辞をいただいた。続いて、在校生から「歓迎の言葉」が新入生に贈られ、これを受けて新入生は「入学の言葉」を話した。

始業式は５月１０日（水）に４年生、１１日（木）に３年生、１２日（金）に２年生について行われた。

（２）佐倉市民カレッジ文化祭

例年、１１月上旬～中旬に、カレッジ生による実行委員会を中心に、多くの方々が交流と親睦を深める「佐倉市民カレッジ文化祭」が開催されている。

今年度は、文化祭を１１月８日（水）～１０日（金）に開催した。昨年に引き続き、大ホールにて生徒や卒業生が制作した作品を展示する「展示の部」と、学習室３にて研究や活動の成果を発表する「研究・活動発表の部」を実施し、１階ロビーでは「チャリティバザーの部」を実施した。チャリティバザーでは売り上げが１０万円を超え、佐倉

市社会福祉協議会に全額を寄付した。また、展示作品、研究発表は、それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

（３）「まちづくり実践報告会」（２年）

２年生は、私たちの考えるまちづくりについて、行動の為の具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、市政の学習を基に自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間でグループ（課題部門別）を形成し、各グループ別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、令和６年１月１９日（金）に１・２年合同の学習形態で、西田三十五総長を迎えて、代表者による発表を行った。

発表したグループは、「佐倉吹き矢の会３０」「サクラ・クリーン３０」「タイムトリップ佐倉３０」「城址公園・美化し隊３０」の４グループであった。

（４）卒業式・修了式

入学式・始業式と同様に、学年ごとに行った。

卒業式は２月７日（水）に行われ、皆勤者１０人を含む佐倉市民カレッジ第２８期生６５人が、今後の活躍を胸に秘めながら卒業証書を手にした。

西田三十五総長は、「皆様は、新型コロナウイルス感染症による休校期間を含め５年間、健康に留意されながら、学習活動を継続してこられました。コロナ禍の試練を乗り越え、無事学業を修了されましたことは、皆様の人生にとりましても大きな意味を持つものと存じます。今日の喜びを学友同士で分かち合うだけでなく、カレッジ生活を支えてくださったご家族にも、ぜひ、感謝の気持ちをお伝えいただきたいと思います。市民カレッジの建学の精神は、「為すことによって学び、学ぶことによりお互いを高めあい、他に尽くす」でございます。卒業後も、縁あって出会った多くの仲間と共に力を合わせ、日々充実した思いを持ち、益々ご活躍されますことをご期待申し上げます。」（抜粋）との言葉を述べた。

修了式は２月６日（火）に１年生、８日（木）に３年生、９日（金）に２年生について行われた。

８．佐倉市民カレッジ生の課外活動

カレッジ生は自主的に団体を結成し、学習日以外にも積極的に活動している。日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動、ボランティア活動及び地域活動など多岐にわたる。卒業生と現役カレッジ生が一緒に活動している団体もあり、その多くは、任意団体であるが、中には特定非営利活動法人もある。

中央公民館では、カレッジ園芸が、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化をボランティア活動として行っている。四季折々の花が来館者の目を楽しませている。

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第１学年学習予定表（１）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.9 (火)		＊		式典	入学式・カレッジ概要	総長 館長
2	5.16 (火)	オリエンテーション	ホームルーム・ 自己紹介・役員選出等				社会教育指導員
3	5.23 (火)	健康づくり (1)	ホームルーム （文化祭に向けてなど）				社会教育指導員 元気コース4年生ほか
4	5.30 (火)	生涯学習の 楽しさ（1）	ウォークラリー 坂道・小径をたどり　城下町佐倉を歩く				社会教育指導員
5	6.6 (火)	地域を知る (1)	各地区の成り立ち 佐倉の歴史概要	文化課		＊	
6	6.13 (火)	地域活動 (1)	自治会等の役割と 市民協働について	自治人権推進課		＊	
7	6.20 (火)		＊		自然と環境 (1)	水環境と人間生活	元印旛沼環境基金 上席研究員 本橋　敬之助
8	6.27 (火)	社会福祉 (1)	佐倉市の地域福祉	佐倉市社会福祉 協議会		＊	
9	7.4 (火)	地域を知る (2)	1組：地域の実践者に学ぶ（現地視察）				社会教育指導員
		私の生きがい (1)	2組：私の生きがい	社会教育指導員		＊	
10	7.11 (火)	私の生きがい (1)	1組：私の生きがい	社会教育指導員		＊	
		地域を知る (2)	2組：地域の実践者に学ぶ（現地視察）				社会教育指導員
11	9.5 (火)	私の生きがい （２）	私の生きがい発表	社会教育指導員		＊	
12	9.12 (火)	芸術と文化 (1)	房総ゆかりの作家 波の伊八と葛飾北斎	筑波大学名誉教授 齊藤　泰嘉		＊	
13	9.19 (火)	世代間交流 (1)	絆を引き継ぐ 世代間交流	東京都健康長寿医療 センター研究所 非常勤研究員 高橋　知也		＊	
14	9.26 (火)	地域活動 (2)	佐原まちぐるみ 博物館に学ぶ	佐原 おかみさん会		＊	
15	10.3 (火)	世代間交流 (2)	世代間交流 に向けて①	社会教育指導員	健康づくり (2)	楽しみながらできる 健康づくり	順天堂大学 名誉教授 武井　正子
16	10.11 (水)	自然と環境 (2)	里山の生態	東京情報大学 名誉教授 原　慶太郎		＊	

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第１学年学習予定表（２）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
17	10.17 (火)	世代間交流 (3)	世代間交流② 小学生との 交流に向けて				社会教育指導員
18	10.24 (火)	市政を学ぶ (1)	公園活用について	公園緑地課		＊	
19	11.8 (水)～ 11.10 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（2）	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8（水)～10（金）　大ホール、学習室３他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
20	11.14 (火)	人権 (1)	男女平等参画について	城西国際大学 国際人文学部 国際文化学科准教授 遠藤　惠子		＊	
21	11.21 (火)		＊		世代間交流 (4)	世代間交流③ 小学生との 交流に向けて 事前準備	社会教育指導員
22	11.28 (火)		＊		健康づくり (3)	ユニカール体験	佐倉ユニカール29
23	12.5 (火)	世代間交流 (5)	世代間交流④ 小学生との交流 市内小学校での体験	佐倉小学校 社会教育指導員	世代間交流 (6)	世代間交流⑤ 小学生との交流 振り返り	社会教育指導員
24	12.12 (火)		＊		国際（1）	今年の国際情勢	敬愛大学 国際学部教授 水口　章
25	12.19 (火)	地域を知る (3)	佐倉市の農業	農政課		＊	
26	1.9 (火)	自然と環境 (3)	特定外来生物の 生態や現状と課題	千葉県 生物多様性 センター		＊	
27	1.19 (金)	１・２年合同 地域活動 (3)	２年生のまちづくり 実践報告を聞く	社会教育指導員		＊	
28	1.23 (火)	社会福祉 (2)	高齢社会を どう生きるか －少子高齢社会の 日本の課題－	聖徳大学教授 川口　一美		＊	
29	1.30 (火)	地域を知る (4)	佐倉市の観光/シルバー人 材センターについて	佐倉の魅力推進課/ シルバー人材 センター		＊	
30	2.6 (火)		＊		式典	２年生に向けて・ 修了式	館長 社会教育指導員

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第２学年学習予定表（１）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.12 (金)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		＊	
2	5.19 (金)	まちづくり （１）	私たちのまちづくり①	社会教育指導員		＊	
3	5.26 (金)	地域活動 (1)	まちづくり活動 実践者の発表	カレッジ生・卒業生	まちづくり (2)	私たちの まちづくり②	社会教育指導員
4	6.2 (金)	社会福祉 (1)	地域福祉とは	順天堂大学スポーツ 健康科学部 先任准教授 松山 毅		＊	
5	6.9 (金)	地域活動 （２）	まちづくりと まちの居場所	千葉大学大学院 准教授　森永　良丙		＊	
6	6.16 (金)	まちづくり (3)	私たちのまちづくり③				社会教育指導員
7	6.23 (金)	佐倉の歴史 (1)	原始古代の佐倉	文化課	家庭と法律 (1)	身近な法律知識 訴訟と人権	弁護士 法政大学法科大学院教授 高須　順一
8	6.30 (金)	佐倉の教育(1)	佐倉学について	佐倉市史編さん委員 内田　儀久		＊	
9	7.7 (金)	まちづくり (4)	私たちのまちづくり④	社会教育指導員		＊	
10	7.14 (金)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の災害対策	危機管理課		＊	
11	9.1 (金)	佐倉の歴史 (2)	絵図から見た 城下町佐倉	國學院大學 准教授 川名　禎		＊	
12	9.8 (金)	地域活動 (3)	社会生活と ボランティア活動	神奈川大学 教授　齊藤　ゆか	まちづくり (5)	私たちのまちづくり⑤ （台風のため中止）	社会教育指導員
13	9.15 (金)	家庭と法律 (2)	裁判員制度について	千葉地方検察庁	情報社会 (1)	人工知能 ～ｺﾝﾋﾟｭｰﾀに できること できないこと～	東京情報大学 教授 マッキン・ ケネスジェームス
14	9.18 (月・ 祝)	情報社会 (2)	その情報はどこから？ ネット時代の情報選別力	ジャーナリスト 猪谷　千香		＊	
15	9.22 (金)	佐倉の歴史 (3)	お札の歴史と新券の発行	お札と切手の博物館 学芸員 松村　記代子		＊	
16	10.6 (金)	まちづくり (6)	私たちのまちづくり⑥	社会教育指導員		＊	

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第２学年学習予定表（２）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
17	10.13 （金）		＊		健康づくり (1)	こころサポーター （ゲートキーパー） 養成研修	聖マリアンナ医科大学神経精神科研究員 日本大学非常勤講師 田口　学
18	10.20 （金）	市政を学ぶ (2)	高齢者福祉の 取り組みと認知症	高齢者福祉課		＊	
19	10.27 （金）	まちづくり (7)	私たちのまちづくり⑦	社会教育指導員		＊	
20	11.8 （水）～ 11.10 （金）	生涯学習の 楽しさ（1）	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8（水）～10（金）　大ホール、学習室３他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
21	11.17 （金）	佐倉の歴史 (4)	佐倉の明治維新	成田山霊光館 学芸員 矢嶋　毅之		＊	
22	11.24 （金）	まちづくり (8)	私たちのまちづくり⑧	社会教育指導員		＊	
23	12.1 （金）		＊		専攻課程の 学習	専攻課程の学習に 向けて ４年生コース代表説明	４年生コース代表
24	12.8 （金）	自然と環境 (1)	河川湖沼の 水辺環境と 水質浄化の考え方	一般財団法人 千葉県環境財団 岩井　久美子		＊	
25	12.15 （金）	まちづくり（9）	私たちのまちづくり⑨	社会教育指導員		＊	
26	1.12 （金）	まちづくり (10)	私たちのまちづくり 実践報告に向けて	社会教育指導員		＊	
27	１・２ 年合同 1.19 （金）	まちづくり (11)	私たちのまちづくり 実践報告	総長		＊	
28	1.26 （金）	市政を学ぶ (3)	佐倉市の空き家対策	住宅課		＊	
29	2.2 （金）	佐倉の歴史 (5)	平成の佐倉市と カレッジ史	佐倉市史編さん委員 内田　儀久		＊	
30	2.9 （金）	式典	３年生に向けて／ 修了式	館長 社会教育指導員		＊	

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　あったか福祉コース（１）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (木)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		＊	
2	5.18 (木)	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	コース概要	社会教育指導員 27期福祉コース 卒業生		＊	
3	5.25 (木)		＊		福祉サービス (1)	福祉サービス提供の 基本視点	社会福祉法人誠友会 理事長　竹内　淳
4	6.1 (木)	健康づくり (1)	自力整体と笑いヨガ	自力整体 ナビゲーター 秋田　美智子		＊	
5	6.8 (木)	介護演習 (1)	車椅子の種類・構造、 介助方法について	佐倉ホワイエ	ボランティア 活動の実践に 向けて (1)	福祉施設交流に向けて	社会教育指導員
6	6.13 (火)		＊		障害福祉 (1)	障害者(児)福祉制度 の概要とサービス内容	ＮＰＯ法人　千葉市 視覚障害者協会 理事長 高梨　憲司
7	7.13 (木)	４コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木　信夫		＊	
8	8.31 (木)	子育て支援(1)	佐倉市民による子育て支 援参加の可能性	千葉敬愛短期 大学教授 吉村　真理子		＊	
9	9.7 (木)	障害福祉 (2)	視覚障害を理解する	千葉県立 千葉盲学校		＊	
10	9.21 (木)	介護演習 (2)	介護技術の基礎 (食事介助)	佐倉白翠園		＊	
11	9.28 (木)	福祉サービス (2)	介護保険制度の概要と サービス内容	介護保険課		＊	

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　あったか福祉コース（２）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.12 (木)	生活と健康 (1)	高齢者に多い 疾患の基礎知識と 予防・対処方法	佐倉白翠園 看護長 後田　恵子		＊	
13	10.19 (木)	福祉サービス (3)	地域包括支援センター について	佐倉市佐倉地域 包括支援センター		＊	
14	10.26 (木)	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の 実践に向けて (2)	聴く技術	東京ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ ﾁｰﾌｶｳﾝｾﾗｰ 淵上　規后子		＊	
15	11.8 (水)～ 11.10 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭 研究発表、作品展示 11.8（水)～10（金）　大ホール、学習室３他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
16	11.16 (木)	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の 実践に向けて (3)	福祉施設交流に向けて (動画視聴)	社会教育指導員		＊	
17	11.30 (木)	生活と健康 (2)	高齢期の栄養と 食生活のあり方				栄養士 六﨑　美知代
18	12.7 (木)	介護演習 (3)	移乗動作と 歩行介助	佐倉ホワイエ	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の 実践に向けて (4)	福祉施設訪問	佐倉白翠園
19	12.21 (木)		＊		3年福祉元気 合同 生活と健康 (3)	噛む喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝　尚志
20	1.18 (木)	障害福祉 (3)	聴覚障害を理解する	障害福祉課 佐倉市ろう者協会、 特定非営利活動法人 千葉県中途失聴者・ 難聴者協会		＊	
21	1.25 (木)		＊		子育て支援(2)	子どもの貧困について	千葉県スクール ソーシャル ワーカー 飯野　弥生
22	2.8 (木)	式典	4年生に向けて／ 修了式	館長 社会教育指導員		＊	

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　ふるさと歴史コース（１）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (木)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		＊	
2	5.18 (木)		＊		佐倉市の歴史 (1)	古文書を読む楽しみ	年寄部屋日記を 読む会会長 小島　大作
3	5.25 (木)	歴史散策 (1)	大佐倉の歴史散策 集合９時２０分 京成大佐倉駅改札口外	ＮＰＯ法人 佐倉一里塚		＊	
4	6.8 (木)	佐倉市の歴史 (2)	中世佐倉の道	東金市文化財審議会 会長 市文化財審議委員会 副委員長 遠山　成一		＊	
5	6.15 (木)	佐倉市の歴史 (3)	佐藤泰然と 佐倉順天堂	文化課		＊	
6	6.22 (木)	歴史散策 (2)	臼井の歴史散策 集合９時２０分 京成臼井駅北口下	臼井の案内人 滑川　洋子		＊	
7	7.6 (木)	佐倉市の歴史 (4)	佐倉藩士と沼津兵学校	国立歴史民俗博物館 教授　樋口　雄彦		＊	
8	7.13 (木)	４コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木　信夫		＊	
9	9.7 (木)	佐倉市の歴史 (5)	本佐倉城跡と臼井城跡の 発掘成果と 東国の戦国時代	国立歴史民俗博物館 名誉教授 小野　正敏		＊	
10	9.14 (木)	日本遺産 町並み散策	【日本遺産北総四都市 江戸紀行】 成田山の歴史を学ぶ 午前１０時１０分ＪＲ成田駅改札口外集合				成田山霊光館 矢嶋　毅之
11	10.5 (木)	佐倉市の歴史 (6)	佐倉城下町の 祭礼文化について	祭礼文化研究家 鶴岡　勝人		＊	

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　ふるさと歴史コース（２）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.12 （木）	歴史散策 (3)	佐倉地区(城址公園)の歴史散策 ９時４５分市民体育館集合				ＮＰＯ法人 佐倉一里塚
13	10.19 （木）	歴史散策 (4)	志津の歴史散策 ９時４５分　ユーカリが丘線中学校駅集合	NPO法人 佐倉一里塚		＊	
14	11.2 （木）	郷土の先覚者 (1)	浅井忠と 佐倉ゆかりの芸術家	佐倉市立美術館		＊	
15	11.8 (水)～ 11.10 （金）	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8（水)～10（金）　大ホール、学習室３他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
16	11.16 （木）	佐倉市の歴史 (7)	佐倉牧	市文化財審議委員 立教大学兼任講師 國學院大學兼任講師 高見澤　美紀		＊	
17	11.30 （木）	佐倉市の歴史 (8)	古今佐倉真佐子に ついて	佐倉市史編さん委員 外山　信司		＊	
18	12.14 （木）	佐倉市の歴史 (9)	佐倉の歴史的建築物	市文化財審議委員、 国立歴史民俗博物館 名誉教授 濱島　正士		＊	
19	1.11 （木）	佐倉市の歴史 (10)	中世佐倉の鹿島郷	酒々井町 文化財審議会会長 高橋　健一	歴史散策 (5)	七福神巡り	社会教育指導員
20	1.18 （木）	郷土の先覚者 (2)	津田仙 近代農業のさきがけ	津田仙の曾孫 津田　道夫		＊	
21	1.25 （木）	歴史コースの まとめに向けて	カレッジ生が 取り組みたい 研究テーマ （各自発表）	市史編さん委員 内田　儀久		＊	
22	2.8 （木）	式典	4年生に向けて／ 修了式	館長 社会教育指導員		＊	

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　さわやか情報コース（１）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (木)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		＊	
2	5.18 (木)	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	ホームルーム・ コース概要	社会教育指導員		＊	
3	6.1 (木)	情報伝達の技術 (1)	スマホ講座	シルバー 人材センター		＊	
4	6.8 (木)	情報化時代の 学習（1）	インターネットと 生きる 『信じ方の癖、 伝え方の鍵』	合同会社環賢堂 代表社員 玉木　勝		＊	
5	6.15 (木)	情報化時代の 学習（2）	情報化社会と著作権	(一社)ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｿﾌﾄｳｪｱ 著作権協会　専務理事 久保田　裕		＊	
6	6.22 (木)	課題学習 (1)	マイクロツーリズム 手書き地図をつくる①	社会教育指導員		＊	
7	7.6 (木)	課題学習 (2)	マイクロツーリズム 手書き地図をつくる②	社会教育指導員		＊	
8	7.13 (木)	４コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木　信夫		＊	
9	9.7 (木)	情報伝達の技術 (2)	ワード①	26期・27期 情報コース 卒業生有志	情報伝達の技術 (3)	ワード②	26期・27期 情報コース 卒業生有志
10	9.14 (木)	情報化時代の 学習 (3)	(仮) ネット情報に おぼれない学び方	「ネット情報に おぼれない学び方」 著者　梅澤　貴典		＊	
11	9.21 (木)	情報化社会の 学習（1）	ウィキペディアタウン ①	海獺	情報化社会の 学習（2）	ウィキペディアタウン ②	海獺

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　さわやか情報コース（２）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.5 (木)	情報伝達の技術 (4)	(仮)まちづくりとSNS	ジェイ・ドック・ カンパニー代表 影山　貴大		＊	
13	10.12 (木)		＊		情報化時代の 学習（4）	インターネット ウイルスの歴史	東京情報大学 准教授　岸本　頼紀
14	10.26 (木)	情報化時代の 学習（5）	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ活用術①	株式会社 教育システム 本間　達哉		＊	
15	11.2 (木)	課題学習 (3)	マイクロツーリズム 手書き地図をつくる③	社会教育指導員		＊	
16	11.8 (水)～ 11.10 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8（水)～10（金）　大ホール、学習室３他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
17	11.16 (木)		＊		情報化時代の 学習（6）	おカネとITの 経営戦略	東京情報大学 准教授　樋口　大輔
18	12.14 (木)	課題学習 (4)	マイクロツーリズム 手書き地図をつくる④	社会教育指導員		＊	
19	1.11 (木)	課題学習 (5)	マイクロツーリズム 手書き地図をつくる⑤	社会教育指導員		＊	
20	1.18 (木)	情報伝達の技術 (5)	パワポを教えよう①	26期・27期 情報コース 卒業生有志		＊	
21	1.25 (木)	情報伝達の技術 (6)	パワポを教えよう②	26期・27期 情報コース 卒業生有志	情報伝達の技術 (7)	パワポを教えよう③	26期・27期 情報コース 卒業生有志
22	2.8 (木)	式典	4年生に向けて／ 修了式	館長 社会教育指導員		＊	

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　ゆっくり元気コース（１）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (木)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		＊	
2	5.18 (木)	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	ホームルーム・ コース概要	社会教育指導員		＊	
3	5.25 (木)	課題学習 (1)	ウォークラリー コースを作ろう①				社会教育指導員
4	6.1 (木)	生活と健康 (1)	熱中症予防と水分補給 ～暑さに向かって～	ＮＰＯニッポン ランナーズ ランニングコーチ 中田　修弘		＊	
5	6.8 (木)	課題学習 (2)	ウォークラリー コースを作ろう②	社会教育指導員		＊	
6	6.22 (木)	生活と健康 (2)	チームワークを考える	順天堂大学 ｽﾎﾟｰﾂ健康科学部 教授　水野　基樹		＊	
7	6.29 (木)	地域活動 (1)	レクリエーション	日本レクリエーション 協会公認レクリエー ションコーディネー ター　介護福祉士 田端　知恵子		＊	
8	7.13 (木)	４コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木　信夫		＊	
9	9.7 (木)	健康づくり (1)	太極拳 静かな動きを 体験しよう	佐倉太極拳同好会 嶋田　桂子 服部　陽子		＊	
10	9.21 (木)	病理と予防 (1)	高齢期の健康法	順天堂大学 名誉教授 武井　正子		＊	
11	9.28 (木)	健康づくり (2)	フレイル予防講座①	明治安田生命		＊	

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第３学年学習予定表

専攻課程　　ゆっくり元気コース（２）

学習時間		午前９時４５分～１１時４５分			午後１時１０分～３時１０分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.13 (金)	健康づくり (3)	タオルで簡単 ストレッチ	インストラクター 関根　美和		＊	
13	10.19 (木)	健康づくり (4)	フレイル予防講座②	明治安田生命		＊	
14	10.26 (木)	課題学習 (3)	ウォークラリー コースを作ろう③				社会教育指導員
15	11.8 (水)～ 11.10 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8（水)～10（金）　大ホール、学習室３他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
16	11.15 (水)	病理と予防 (2)	体組成測定と 健康づくり (3年元気4年元気 合同)	健康推進課		＊	
17	11.30 (木)	生活と健康 (3)	薬と生活習慣	（株）健栄		＊	
18	12.14 (木)	課題学習 (4)	ウォークラリー コースを作ろう④	社会教育指導員		＊	
19	12.21 (木)		＊		3年福祉元気 合同 生活と健康 (4)	噛む喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝　尚志
20	1.18 (木)	生涯学習の 楽しさ(2)	歓迎ウォークラリー に向けて①	社会教育指導員		＊	
21	1.25 (木)	生涯学習の 楽しさ(3)	歓迎ウォークラリー に向けて②				社会教育指導員
22	2.8 (木)	式典	4年生に向けて／ 修了式	館長 社会教育指導員		＊	

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　あったか福祉コース（１）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 （水）	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		＊	
2	5.17 （水）	学び合い学習 （１）	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		＊	
3	5.31 （水）	自主企画講座 （１）	学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員		＊	
4	6.7 （水）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の 実践に向けて （１）	ボランティア活動への 心構え	佐倉白翠園		＊	
5	6.14 （水）	学び合い学習 （２）	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		＊	
6	6.21 （水）	障害福祉 (1)	知的障害の特性 木の宮学園施設見学	木の宮学園		＊	
7	6.28 （水）	福祉サービス (1)	介護のデジタル化	佐倉ゆうゆうの里 施設長 田中　寿之		＊	
8	7.5 （水）	４コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良　直美		＊	
9	7.12 （水）	健康づくり (1)	元気なうちから始める 介護予防	高齢者福祉課		＊	
10	9.6 （水）		＊		自主企画講座 （２）	自主企画講座実施	社会教育指導員
11	9.14 （木）	２コース合同 体験学習	草ぶえの丘で 陶芸を楽しむ 集合　午前９時３０分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		＊	
12	9.20 （水）	学び合い学習 （３）	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		＊	

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　あったか福祉コース（２）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.4 （水）	学び合い学習 （４）	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 （５）	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
14	10.18 （水）	学び合い学習 （６）	情報コースを招待して	社会教育指導員	学び合い学習 （７）	歴史コースを招待して	社会教育指導員
15	11.1 （水）	学び合い学習 （８）	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 （９）	元気コースを招待して	社会教育指導員
16	11.8 （水）～ 11.10 （金）	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8（水）～10（金）　大ホール、学習室３他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
17	11.15 （水）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の 実践に向けて （２）	こころに触れる生かす カウンセリング	東京ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ ﾁｰﾌｶｳﾝｾﾗｰ 淵上　規后子		＊	
18	11.21 （火）	障害福祉 (2)	障がい者とスポーツ	順天堂大学 スポーツ 健康科学部 准教授　渡　正		＊	
19	12.6 （水）	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の 実践に向けて （３）	傾聴心得	東京ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ ﾁｰﾌｶｳﾝｾﾗｰ 淵上　規后子		＊	
20	1.10 （水）	学習のまとめ／ ホームルーム	福祉活動の実践に向けて ／卒業に向けて	社会教育指導員		＊	
21	1.17 （水）	４コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす －各コース代表発表－	社会教育指導員		＊	
22	1.24 （水）	４コース合同 講演会／ ホームルーム	新たな出発／ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会		＊	
23	2.7 （水）		＊		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　ふるさと歴史コース（１）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 （水）	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		＊	
2	5.17 （水）	学び合い学習 （１）/自主企画講座（１）	学び合い学習に向けて①/学生がテーマを決めて自主的に学習する①	社会教育指導員		＊	
3	5.31 （水）	施設見学	夢咲くら館及び 塚本美術館見学	社会教育指導員		＊	
4	6.14 （水）	日本遺産 町並み散策 （１）	【日本遺産北総四都市江戸紀行】 新町の歴史散策 １０時００分 中央公民館出発	NPO法人 佐倉一里塚		＊	
5	6.28 （水）	日本遺産 町並み散策 （２）	【日本遺産北総四都市江戸紀行】「佐原のまちづくりを学ぶ」（散策）　集合　午前９時２５分　ＪＲ成田駅改札口の中	ＮＰＯ法人 小野川と佐原の町並みを考える会		＊	
6	7.5 （水）	４コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に向けて	エッセイスト 高比良　直美		＊	
7	7.12 （水）	佐倉市の歴史 （１）	幕末明治に海を渡った佐倉人	市史編さん委員 内田　儀久		＊	
8	9.6 （水）	学び合い学習 （２）	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		＊	
9	9.21 （木）	２コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむ－卒業記念作品の制作－ 集合　午前９時３０分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		＊	
10	9.27 （水）	学び合い学習 （３）	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		＊	
11	10.4 （水）	学び合い学習 （４）	元気コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 （５）	福祉コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
12	10.18 （水）	学び合い学習 (6)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
13	11.1 （水）	学び合い学習 (8)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	情報コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　ふるさと歴史コース（２）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
14	11.8 (水)～ 11.10 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8（水)～10（金）　大ホール、学習室３他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
15	11.22 (水)	佐倉市の歴史 (2)	佐倉炭	千葉市立郷土博物館 市史編さん担当 土屋　雅人		＊	
16	11.29 (水)	4年歴史情報 合同	これからの博物館で 必要なこと・ 歴博を楽しむ	国立歴史民俗博物館 館長　西谷 大		＊	
17	12.1 (金)	佐倉市の歴史 (3)	堀田正倫と 地域の関わり	中央大学文学部 教授　宮間　純一		＊	
18	12.13 (水)	自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員		＊	
19	12.20 (水)	学習のまとめ①	研究論文の発表 リハーサル	社会教育指導員		＊	
20	1.10 (水)		＊		学習のまとめ②	研究論文の発表	社会教育指導員 元社会教育指導員 内田　儀久
21	1.17 (水)	４コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす －各コース代表発表－	社会教育指導員		＊	
22	1.24 (水)	４コース合同 講演会／ ホームルーム	新たな出発／ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会		＊	
23	2.7 (水)		＊		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　さわやか情報コース（１）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 （水）	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		＊	
2	5.17 （水）	学び合い学習 （１）	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		＊	
3	5.31 （水）	情報伝達の技術 (1)	エクセル①	26期・27期 情報コース 卒業生有志	情報伝達の技術 (2)	エクセル②	26期・27期 情報コース 卒業生有志
4	6.14 （水）	自主企画講座 （１）	学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員		＊	
5	6.28 （水）	情報化時代の 学習（1）	施設見学	国会図書館ほか		＊	
6	7.5 （水）	４コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良　直美		＊	
7	7.12 （水）	学び合い学習 （２）	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		＊	
8	9.6 （水）	情報化時代の 学習（2）	映像作品ができるまで	広域高速ネット ２９６放送制作部 グループ長補佐 平川　裕		＊	
9	9.21 （木）	２コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と 陶芸を楽しむ 集合　午前９時３０分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		＊	
10	9.27 （水）	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		＊	
11	10.4 （水）	学び合い学習 (4)	福祉コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (5)	元気コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　さわやか情報コース（２）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.18 （水）	学び合い学習 (6)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
13	11.1 （水）	学び合い学習 (8)	歴史コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
14	11.8 （水） ～ 11.10 （金）	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8（水）～10（金）　大ホール、学習室３他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
15	11.15 （水）		＊		自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員
16	11.8 （水）～ 11.10 （金）	情報化時代の 学習（3）	ウィキペディア	ウィキペディア 日本語版元管理者 海獺		＊	
17	11.29 （水）	4年歴史情報 合同	これからの博物館で 必要なこと・ 歴博を楽しむ	国立歴史民俗博物館 館長　西谷 大		＊	
18	12.8 **（金）**		＊		情報化時代の 学習（4）	千葉食べる通信	編集長　佐藤　謙太
19	1.10 （水）	学習のまとめ／ ホームルーム	振り返り／ 卒業に向けて	社会教育指導員		＊	
20	1.17 （水）	４コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす －各コース代表発表－	社会教育指導員		＊	
21	1.24 （水）	４コース合同 講演会／ ホームルーム	新たな出発／ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会		＊	
22	2.7 （水）		＊		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　ゆっくり元気コース（１）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 （水）	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		＊	
2	5.17 （水）	地域活動 （１）	ウォークラリーに向けて	社会教育指導員		＊	
3	5.30 （火）	地域活動 (2)	坂道・小径をたどり　城下町佐倉を歩く （１年ウォークラリー）				社会教育指導員
4	6.7 （水）	自主企画講座 （１）	学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員		＊	
5	6.14 （水）	地域活動 (3)	楽しい運動と学習を 体験して、体と心の バランスを感じよう	ドクターK アスリートクラブ 井上　将憲		＊	
6	7.5 （水）	４コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良　直美		＊	
7	7.12 （水）	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		＊	
8	9.6 （水）	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		＊	
9	9.14 （木）	２コース合同 体験学習	草ぶえの丘で 陶芸を楽しむ 集合　午前９時３０分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		＊	
10	9.20 （水）	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		＊	
11	10.4 （水）	学び合い学習 (4)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (5)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員

令和５年度　佐倉市民カレッジ　第４学年学習予定表

専攻課程　　ゆっくり元気コース（２）

学習時間	午前９時４５分～１１時４５分	午後１時１０分～３時１０分

番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.18 （水）	学び合い学習 (6)	歴史コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	情報コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
13	11.1 （水）	学び合い学習 (8)	福祉コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
14	11.8 (水)～ 11.10 （金）	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8（水)～10（金）　大ホール、学習室３他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
15	11.15 （水）	病理と予防 (1)	体組成測定と 健康づくり (3年元気4年元気 合同)	健康推進課		＊	
16	11.22 （水）		＊		自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員
17	11.8 (水)～ 11.10 （金）	健康づくり （１）	自力整体と笑いヨガ	自力整体 インストラクター 秋田　美智子		＊	
18	12.6 （水）		＊		地域活動 (4)	ノルディック・ ウォーク	千葉県 ノルディック・ ウォーク連盟
19	1.10 （水）	学習のまとめ／ ホームルーム	卒業後の健康づくり／ 卒業に向けて	社会教育指導員		＊	
20	1.17 （水）	４コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす －各コース代表発表－	社会教育指導員		＊	
21	1.24 （水）	４コース合同 講演会／ ホームルーム	新たな出発／ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会		＊	
22	2.7 （水）		＊		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

５．団体育成事業

佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

①開設趣旨　佐倉地区子連は、佐倉地区の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成された。しかしながら、昨今の少子化、女性の就労に伴い、現在、佐倉地区子連は全ての子ども会が退会し、活動休止となっている。佐倉地区連の備品の貸出は事務局が対応している。

６．広報事業

ホームページ

①ねらい　中央公民館の利用案内・主催事業等を掲載し、情報を提供する。

②提供方法　佐倉市ホームページ

ＵＲＬ：http://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/chuokominkan/index.html

③内容　主な掲載内容は以下のとおり。

・施設の利用案内
・佐倉市民カレッジ等主催事業の参加者募集
・各年度の『公民館のまとめ』
・佐倉市公民館運営審議会会議録
・視聴覚教材ライブラリーの貸出・使用方法等の案内

④展望　ＳＮＳの発信により、市の広報紙を見る機会がない方へも、利用案内や主催事業等を、今後も継続して逐次お知らせする。また、自然災害や感染症等の影響を受けた中での開館状況についても、状況の変化に応じ、より速やかに情報を更新する。

ＳＮＳ

①ねらい　１　若年層や公民館を認知していなかった方たちに情報を届ける。
　　２　予約不要・無料のスペースの情報を発信し、活用を図る。
　　３　予約開始日や開館時間などの施設情報を発信し、利用者の利便性向上を目指す。
　　４　中央公民館を利用しているサークルの新規会員募集やイベント周知の支援を行い、中央公民館を利用する団体を増やしていく。

②提供方法　ツイッターとフェイスブック

ツイッターアカウント名：@sakura_chuokou

フェイスブック：

https://www.facebook.com/sakura.chuo.kouminkan/?modal=admin_todo_tour

③内容　投稿は、写真他短いテキスト（ツイッターでは１４０字以内）で作られた記事を、インターネットを使ってＳＮＳページに投稿することにより行う。

【主な投稿内容】

・公民館のルールや部屋の紹介
・主催イベントの周知、イベントの活動報告
・定期利用申込受付日、２カ月前及び１か月前申し込み日、４カ月前先行予約日の周知
・当館のなかでの出来事
・市民カレッジ活動紹介
・新型コロナウイルスの感染状況による開館状況に関する情報

④展望　佐倉市立中央公民館の利用者数は減少傾向にあり、その原因としては、これまで公民館を利用していた方々が高齢化のため公民館での活動をやめていること、そして、当館が新しい利用者を取り込めていないこと等が考えられる。中央公民館の活動や施設利

用の情報、利用団体の情報などをＳＮＳにより発信し、これまで公民館を利用していなかった方たちへ情報を届けることで、より多くの方に当館を利用してもらうことを目指す。

ユーチューブチャンネル「佐倉市生涯学習チャンネル」

①ねらい　公民館などで提供している生涯学習コンテンツをインターネットで動画配信するために、専用ユーチューブチャンネルを開設することで、リモート受講やアーカイブ化を可能にするとともに、講座申込のＰＲに活用する。

②提供方法　ユーチューブ

ＵＲＬ：https://www.youtube.com/channel/UC__Evupe1eNMbwI_VHW-j4Q

③実施内容　・講座・講演会の動画配信（講師の承諾が得られる場合）
・職員が作成した生涯学習動画
・公民館活動団体と協力して作成した動画
・公民館からのお知らせなど（施設利用、機材の紹介、修繕報告など）
・市民カレッジにおける利用（コロナ対応での活用や動画作成授業等）

※生涯学習的な内容であれば、公民館だけではなく、他所属作成動画でも利用できるものとする。

※著作権等の取扱いについては、広報課作成の広報番組の取り扱いに準じて扱うものとし、肖像権及び著作権等の利用について承諾をいただく。

④展望　本年度も、昨年度同様、主催事業講座の様子を撮影した動画を配信した。繰り返し視聴して内容への理解を深めることができるという動画配信の利点により、今後も、公民館事業の動画によって、様々な講座について理解を深めていただき、さらには公民館への関心を高めていただけたら幸いである。

７．視聴覚教材ライブラリー事業

視聴覚機器貸出

①概要　佐倉市における視聴覚教育の振興を図るため、市内に所在する下記②の要件を満たす団体に、視聴覚ライブラリー機材（プロジェクター、スクリーン、ＤＶＤプレーヤー等）及び教材（ＤＶＤ、ビデオテープ等）の無料貸出を行う。

②対象　・代表者が市内在住であり、市内在住者が概ね半数以上かつ原則３人以上の団体
・学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第１条に規定する学校
・児童福祉法（昭和２２年法律第１６４号）第２４条第１項に規定する保育所又は同条第２項に規定する認定こども園
・官公署
・その他教育委員会が必要と認める団体

③貸出機器　○機材
・プロジェクター
・スクリーン
・ＤＶＤプレーヤー
・移動音響セット
・スピーカー　ほか
○教材
・ＤＶＤ
・ビデオテープ

④展望　機材の整備を適宜に行い、市民のニーズに沿った事業運営に努める。

和田公民館

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、古くは「和田村」と称し、明治２２年頃は１４の村落で構成されていた。昭和２９年の市制発足以降より１２の地区から構成されている。和田地区の面積は市全体の約１４％に当たる約１４．４㎢、人口は約１％に当たる１，５８４人、世帯数は７２９世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和２７年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専業化され、大型機械の導入も盛んに行われた。

このように専門化された農業地域であるが、年々従事者は減少し、後継者育成は大きな課題となっている。地区全域が市街化調整区域であり、大きい人口増加を見込める計画等もない状況でもある。少子高齢化、核家族化などの進展、青年層の流出など純農村として構成されていた地域社会は大きな変化をし続けている。

一方で地区内を国道５１号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、企業の物流基地が進出するなど、新たな変化が見られる。

平成１１年１２月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の複合的機能を持つ施設となっている。

また平成１２年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成１３年４月１日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

和田地区のデータ

【令和６年３月末現在】

○和田地区：面　　積　約１４．４㎢　（佐倉市：面　　積　１０３．６９㎢）

○和田地区：住基人口　１，５８４人　（佐倉市：住基人口　１６９，９３０人）

○和田地区：人口密度　１１０人/㎢　（佐倉市：人口密度　１，６３８人/㎢）

１．公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、使いやすく親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を支援し、地域社会教育活動や地域づくりの拠点としてその役割をはたすことに努める。

努力目標

○使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
○地域性を生かした社会教育内容の充実をはかる。
○公民館事業と地域団体活動等を結びつけていく事で、地域の活性化や課題に対応していくよう努める。

事業内容

１．学級講座に関する事業

参加者との会話を大切にしながら、趣味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開し共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

２．施設・設備・備品の提供

（１）開館時間　月・水・木・土・日曜日・祝日　午前９時～午後５時
火・金曜日は午前９時～午後９時まで
（祝日を除く・夜間の利用がない場合は午後５時まで）

（２）休館日　第２第４月曜日、１２／２８～１／４

３．団体育成に関する事業

和田地区青少年育成住民会議・和田小ＰＴＡ民俗資料収集委員会・和田はたおり保存会等の社会教育的団体が、自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などを行う。また、各種の住民団体が円滑な活動を進められるよう支援・協力をする。

４．歴史民俗資料室展示事業

平成１３年４月１日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した事業を展開する。

５．図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。
（蔵書約１，８００冊　貸出し１人１０冊　１５日間）

２．公民館利用状況

年度別利用状況

区分	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
利用件数（件）	491	89	173	217	207
利用人数（人）	6,451	591	1,465	2,275	2,333
開館日数（日）	307	230	333	333	334

令和５年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
和室	3,079	84	2.7%
調理実習室	3,079	200	6.5%
団体室	3,079	46	1.5%
会議室	3,079	282	9.2%

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
家庭教育	子育て教室	地域の幼児、保護者等	~~一年2回~~	子育て教室の参加対象者見込みがないため、教室の講師と協議の結果、今年度の開催は見送ることになった。
	家庭教育講座	地域の小学生、保護者等	12/2　8人	児童の成長に必要な体験、学習等を通して、家庭教育環境の向上を促すことを目的とし、親子でソフト粘土のクリスマスリース作成を実施した。
青少年教育	剣道教室	地域の小学生等 20人	5月～ 3月 40回	地域の小学生を中心とした教室の中で、心身の育成を図る稽古を安全に配慮しながら、皆で力を合わせて行った。
	軽スポーツ大会	地区の小学生、地域住民 20人	10/15　42人	地域と協働で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図った。
	夏休み子どもゼミナール	小学生5～中学生 20人	8/26　34人	中央公民館との共催事業であり、天体分野の専門講師により、和田ふるさと館においてゼミ、星空観察を実施した。
	子ども芸術鑑賞会	市内の小学生	8/11　25人	地域で活動している団体を招き、おはなし会を開催した。
佐倉学	佐倉っ子塾 料理教室	地区の小学生 各15人	6/24　4人 10/1　4人 2/3　8人	地区の小学生向けに、地域の方を講師に招き、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める料理教室を実施した。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生 各10人程度	7/22　20人 8/4　6人	7月はたおり親子体験を実施した。 8月手芸体験は三角形の小物入れを作成した。
和田市民大学	佐倉学講座 和田地域学	市内の成人 10人	9/23　9人 10/22　6人 11/12　4人 12/23　6人 1/20　3人	9月は佐倉市職員により「文化財がつなぐ地域の歴史文化」の講義を実施した。 10月、11月は地域農家により「有機農業の取り組み」の講義と現地見学を実施した。 12月は佐倉市文化財審議委員による「中世の和田地域」の講義を実施した。 1月は和田はたおり保存会による講義と体験を実施した。
	手芸教室	60歳以上の地区の成人　10人	5/19　6人 6/2　7人 7/7　8人 8/4　6人 9/1　6人 10/6　7人 11/10　7人 12/1　7人 1/12　8人 2/2　9人 3/1　10人	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりをする。また、受講生が子どもたちに服飾品の再利用を教え、物を大切にする心を指導した。
	和田工芸講座	市内の成人 10人	6/28　7人 7/19　7人 9/27　7人 12/17　10人	和田地区講師による陶芸講座を3回連続で開催した。 12月しめ飾りスタッフ講習会を実施した。
成人教育	こんにゃく作り講座	市内の成人 15人	12/14　15人	地域の方を講師に招き、こんにゃく芋から作る手作りの楽しさを学んだ。

領域	事 業 名		対　　象	期間・回数	内　　容
成人教育	和田地区防災講習会		地区の成人 30人程度	1/28　14人	地域づくりの実践現場で役立つ防災や防犯について実践的な講習、訓練等を行う。
	合同研修会		地区内の住民団体	1/14　23人	人口減少や少子高齢化などの地域課題などに対応する研修会として、地域食堂の主催者により講義を行った。
団体育成	団体育成事業		青少年育成住民会議・民俗資料収集委員会・はたおり保存会等	通年	・地域の住民団体等が円滑に活動できるよう、会議運営や各種調整、子育て事業、地域まつり等の協力、支援を行った。 ・施設利用社会教育団体等の活動継続などに係る協力、支援を行った。
広報展示活動	公民館だより発行		和田地区全世帯	9月、10月	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布。（各600部）
	歴史民俗資料室	展示	一般	通年	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示を行った。
			企画	11月～12月	和田文化工芸展を開催した。
		見学	市内小学校・ 一般団体等	通年	施設見学の際に解説やはたおり体験を実施した。市内7小学校の社会科見学に対応した。
図書	図書貸し出し		一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施した。

１．家庭教育事業

子育て教室

参加対象者の見込みがないため教室の講師と協議の結果、開催を見送った。

家庭教育講座

①開設趣旨　子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。
②募集対象　地区内の小学生と保護者６組
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１２月２日（土） １０：００～１１：３０	親子で一緒にソフト粘土でクリスマスリースの作成	染谷　芳子

④講座を終えて　ソフト粘土講師を迎えクリスマスリース作り講座を地区内の小学生と保護者対象で行った。同一小学校の親子であり和気あいあいとした雰囲気の中、親子で作品作りに没頭し、充実した時間を過ごすことができたと感じた。

２．青少年教育事業

和田剣道教室

①開設趣旨　異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。そのために協力して共育（共に育て合う）の場となるよう努める。
②募集対象　地域の小学生等　２０人
③開設期間　令和５年５月～令和６年３月　４０回
④指導者　　片岡　康平、藤崎　英樹、江野澤　清美、鶴田　潤子、高山　裕司
⑤講座を終えて　剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の育成や仲間づくりを図ることができ、親の会についても昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動した。

軽スポーツ大会

①開設趣旨　地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
②募集対象　地区の小学生　２０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月１５日（日） ９：３０～１２：００	スカットボール、ボッチャ	和田地区 スポーツ推進員

④講座を終えて　和田地区青少年育成住民会議、和田地区社会福祉協議会共催であり、地域の子どもと地域住民が交流する事で、青少年の健全育成を地域で実践する場になっている。チーム分けでは、小学生と地区の大人が一緒にプレーすることができるようにし、異世代間交流を図れるようにした。（和田小学校体育館で実施）

夏休み子どもゼミナール

①開設趣旨　宇宙業界に長年携わった専門家の方々を講師に招き、少人数制のゼミ形式の講座を開催することにより、佐倉市の将来を担う子ども達のコミュニケーションづくりの場を提供する。
②募集対象　市内の小学５年生～中学生　２０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月２６日（土） １９：００～２０：３０	和田ふるさと館を会場に、天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのかを学ぶ。	宇宙業界専門家

④講座を終えて　中央公民館と共催で実施しており、天体望遠鏡で星を観察するこの講座では、児童の宇宙への興味を掻き立て新鮮な感動を与える事が出来た。保護者が一緒に観察することで、親子間の関係も深まり、印象に残る一日となったと感じた。

子ども芸術鑑賞会

①開設趣旨　子どもたちに文化芸術等に触れ合う機会を提供し、親子等の参加も促しながら、その内容等の素晴らしさを肌で感じてもらう。

②募集対象　地区の小学生

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月１１日（金） １０：００～１０：４５	子どもお話し会	末吉　正子主宰 佐倉ゆうゆう語り塾

④講座を終えて　平成３０年度から地元の方が加入されている会であることから依頼している。幼児から大人までが楽しめ、演者の方の身振り、手振り、感情豊かな表現に児童たちはすっかり引き込まれて、飽きることなく集中して聴いていた。ゲームや映画のように画面からではなく、人の体温や息遣いが感じられ、地元の昔話を入れていただいたこともあり、とても好評であった。

佐倉っ子塾　料理教室

①開設趣旨　地元の方のご指導のもと、料理に興味を持ち、自立や協調性などの育成を図ることを目的として和田地区青少年育成住民会議と公民館が共催で実施する。

②募集対象　地区の小学生　各回１５人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	６月　２４日（土） ９：３０～１２：３０	（１）ツナとえのきの炊込みご飯 （２）バナナケーキ （３）フルーツ・フルーチェ	六﨑 美知代（地区協力者） 高梨　直子（地区協力者）
2	１０月　１日（日） ９：３０～１２：３０	（１）ご飯 （２）厚揚げの豚肉巻き （３）キャベツのスープ （４）チョコチップクッキー （５）りんごかん	六﨑 美知代（地区協力者） 高梨　直子（地区協力者）
3	２月　３日（土） ９：３０～１２：３０	（１）恵方巻 （２）ミックスベジタブルとベーコンのシチュー （３）チョコライスボール	六﨑 美知代（地区協力者） 高梨　直子（地区協力者）

④講座を終えて　子どもたちが料理に興味をもち、衛生面に気を付けながら協力して調理し、楽しく食べることを学んでいる様子が感じられる。低学年児童が意欲的に申し込みしてくる事業であることから、地元協力者の方も力を入れて指導してくださっている。

佐倉っ子塾　伝統文化体験教室

①開設趣旨　伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。

②募集対象　市内小学生と保護者１２組（はたおり）、地区の小学生１０人（手芸）

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	７月２２日（土） １０：００～１５：００	はたおり親子体験	はたおり保存会
2	８月４日（金） １０：００～１４：００	夏休み手芸体験	和田市民大学手芸教室講師 手芸教室生徒

④講座を終えて　「はたおり親子体験」は、家族参加で初めての体験を一生懸命取組んでいて、次回も参加したいという声を多数いただいた。夏休み手芸体験は、和田市民大学で公民

館を利用している高齢者が小学生を指導することにより世代間交流をするとともに、子どもたちが、一つの作品を作り出す喜びを味わうことができる機会であり、満足感を得ることができたと感じる。

３．成人教育事業

佐倉学講座　和田地域学

①開設趣旨　地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。

②募集対象　市内の成人　１０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	９月２３日（土） ９：１０～１１：３０	オリエンテーション 文化財がつなぐ地域の歴史文化	佐倉市職員 須賀　隆章
2	１０月２２日（日） ９：３０～１１：３０	有機農業の取組について（１）	林農園 林　重孝
3	１１月１２日（日） ９：３０～１１：３０	有機農業の取組について（２）	林農園 林　重孝
4	１２月２３日（土） ９：３０～１１：３０	和田の古道	佐倉市文化財審議会 副委員長 遠山 成一
5	１月２０日（土） ９：３０～１１：３０	はたおり体験	和田はたおり保存会

④講座を終えて　和田地区の歴史、農業、文化に係る学習講座を実施した。学習内容が多項目あり受講者の学びの意欲を向上させる事が出来たものと捉えている。

和田市民大学手芸教室

①開設趣旨　手芸の知識や技術の向上を目指すとともに、地域の親睦や生きがいづくりを図る。また、児童に手芸を指導する場を設けることで異世代間交流を深め、児童にも精神的な向上を望む。

②募集対象　６０歳以上の地区の成人　　１０人

③実施期間　令和５年５月１９日～令和６年３月１日　１１回

④講座を終えて　長年にわたる活動により、受講生の技術が向上し集中して意欲的に作品づくりに取り組んでいた。２名の新規加入者があった。

和田市民大学和田工芸講座

①開設趣旨　和田地区において行われてきた機織り、わら工芸などを地域の伝統文化として位置づけることにより、地域を特色づけ、アイデンティティを醸成する。
工芸は静かな環境で時間をかけてゆったり育まれるものであり、地域性にも合っているため、各種工芸を実施していく中で、地域づくりにつなげていく。

②募集対象　市内の成人　１０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	６月２８日（水） ９：３０～１１：４５	陶芸①「成形」	地元陶芸家 安本　幸世
2	７月１９日（水） ９：３０～１１：４５	陶芸②「削りと高台付け」	地元陶芸家 安本　幸世
3	９月２７日（水） ９：３０～１１：４５	陶芸③「施釉」	地元陶芸家 安本　幸世
4	１２月１７日（日） ９：００～１５：３０	しめ飾りスタッフ講習会	地域のしめ飾り講師

④講座を終えて　「陶芸講座」については、地元陶芸家の指導の下、連続３回講座として実施し今年度も親切・丁寧な指導のおかげでより良い作品づくりが出来た。作品は１１月～１２月の和田文化工芸展において展示した。「しめ飾りスタッフ講習会」は、地域の伝統文化のわら工芸講座を地域の有志スタッフにより行った。

こんにゃく作り講座

①開設趣旨　地域の伝統的食材を活かして地域間交流と食文化の伝承を図る。

②募集対象　市内の成人　１５人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１２月１４日（木） ９：００～１２：００	こんにゃく芋から成形し手作りこんにゃくをつくる	牛玖　昌弘

④講座を終えて　長年講師を務められている方を迎え講座を行った。大変人気があり、次回も参加したいという声をいただいた。

和田地区防災講習会

①開設趣旨　地域づくり活動として現場で役立つ防災や防犯についての実践的な講習、訓練等を行う。

②募集対象　地区の成人　３０人程度

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１月２８日（日） １０：００～１２：００	避難所運営ゲーム	市役所職員 高石　智継 橋本　裕介

④講座を終えて　避難所に見立てた学校の平面図を用いて避難所運営の疑似体験を行った。避難所の運営について自助、共助を意識する機会となった。

合同研修会

①開設趣旨　地域づくり活動として地域食堂の可能性ついての講習を行う。

②募集対象　地区住民団体　３０人程度

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１月１４日（日） １４：００～１５：３０	和田地区における地域食堂の検討	地域食堂代表 唯　愛

④講座を終えて　地域食堂「ひだまりのたね」代表による講話を行い、地域での地域食堂の検討を行った。

４．団体育成事業

①和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。こうした問題を解決するため、市民１人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和５７年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。
組織としては市内７地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、ＰＴＡ連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市こども支援部子ども政策課が行っている。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の向上を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

②和田小学校ＰＴＡ民俗資料収集委員会

昭和４５年、和田小学校ＰＴＡが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、昭和４６年１１月に収集委員会を設置した。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成１１年１０月に佐倉市へ寄贈された。

ふるさとまつりでの伝承遊びの実演、年末に行われる市民を対象としたしめ飾り講習会、和田小学校生徒へのミニしめ飾り講習会など和田の特色を生かした活動を実施し、地域の教育力の向上を目指した。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。

③和田はたおり保存会

和田小ＰＴＡ民俗資料収集委員会の活動で収集されたはたおり機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和５１年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成された。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っている。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行っている。

５．広報・展示事業

公民館だより

○ねらい　　公民館主催事業の情報提供をし、公民館活動への積極的な参加を図る。
○発行回数　　年２回（９、１０月号）
○発行部数　　７００部
○配布方法　　区長を通し全戸配布及び公共施設配布

歴史民俗資料室展示

○ねらい　　和田地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した地域づくりの事業を展開し、学校教育の支援も行う。市内小学校社会科見学において、はたおり保存会によるはたおりの実演を行った。
○期間・回数　開館日数　３３４日　来館者数　９４２人
うち小学校社会科見学来館者数　３９２人

6．図書事業

図書貸し出し

○ねらい　　読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け資料収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。
○蔵書数　１，８００冊

月別貸出数・返却数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	0	0	0	0	0	1	8	1	0	0	4	1	15
返却数	16	0	40	0	0	0	3	23	0	0	6	10	98

弥富公民館

弥富地区の概要

弥富地区は、佐倉市のほぼ中央を流れる鹿島川の上流とその２本の支流に沿って田畑が作られ、その周囲に形成された集落群であり、佐倉市の南部に位置し、千葉市・八街市・四街道市と接している穏やかな田園地帯である。

地区の中心産業である農業は、時代の変化とともに、耕作面積、農業戸数・農業者人口とも減少を続けている。また、弥富地区のほぼ全域は市街化調整区域であり、就業形態が変化しても、人口増加が見込み難い現状にある。

このような中ではあるが、企業の研究所が設置され、弥富地区と千葉市にまたがる地域にちばリサーチパークをはじめ研究施設等の大規模開発が行われている。また、ＤＩＣ川村記念美術館も市内外の方々に広く親しまれており、新しい時代に向かった流れは徐々に広まりつつある。

弥富地区のデータ

【令和６年３月末現在】

○弥富地区：面　　積　約１３．３㎢　（佐倉市：面　　積　１０３．６９㎢）

○弥富地区：住基人口　１，４２１人　（佐倉市：住基人口　１６９，９３０人）

○弥富地区：人口密度　１０６人/㎢　（佐倉市：人口密度　１，６３８人/㎢）

１．公民館運営計画

運営方針

地域の魅力、歴史、伝承文化等の特性を生かしながら、地域課題や住民のニーズに即した学習機会を提供し、元気の出るまちづくりにつながる生涯学習を実施するとともに、心豊かで活力に満ちた人づくりと、地域づくりの推進に努める。

努力目標

○安全で快適な利用環境を保つため、利用者に基本的な感染症対策を推奨する。また、施設の定期点検や日常点検により不具合箇所を把握し、適切な修繕等を行うことで、施設を良好な状態に保つ。
○地域の小学校、保護者とも連携しながら、地域住民が気軽に足を運び、利用できるような公民館とする。
○地域で活動している諸団体と協力し、相互の活動の活発化を図るとともに、地域の課題に対する自主的な学習への支援を行う。
○地域の実情に即しながら、ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の推進や「新しい生活様式」に対応した講座等の充実を図る。
○団体による利用の増加、公民館主催事業の参加者の増加、各種地域団体の活動による利用の増加を図ることで、公民館利用者の増加を目指す。

事業内容

１．学級講座

楽しく、共に学び合う場を作り、みんながふれあい、みんなで考え、みんなで何ができるのか考える場にする。

２．広報・団体育成事業

公民館事業のお知らせや、地域の学習、生活情報の提供をする中で、地域住民に公民館への関心を持ってもらうと共に、利用団体、関係団体との交流、育成を図る。

３．施設の提供

○開館時間　①月・日曜日、祝日　午前９時～午後５時
②火～土曜日　午前９時～午後９時
※夜間の利用申込が無い場合は、午後５時で閉館
○休 館 日　第２・第４月曜日及び年末年始（１２月２８日～１月４日）

２．公民館利用状況

年度別利用状況

区分	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
利用件数（件）	981	290	481	586	641
利用人数（人）	10,603	3,586	3,849	5,138	6,093
開館日数（日）	309	230	333	333	334

令和５年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大会議室	3,652	840	23.0%
中会議室	3,652	709	19.4%
調理実習室	3,652	334	9.1%
和室	3,652	434	11.9%

令和５年度

弥 富 公 民 館

事業報告

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
家庭教育	やとみ家庭教育講座	乳幼児と保護者 10組	9/15 5組11人 9/29 4組8人 10/6 4組9人	子育てにおける家庭の働き、あり方や子供の発達に必要な事柄を学習し、保護者同士の交流の場とした。
	くらしの講座 「みそづくり」	市内の小学生と保護者 5組	10/22 6組13人	弥富地区などの農村地域を中心に現在でも行われているみそづくりを通して、伝承されてきた食文化を学ぶとともに地域に対する理解を深めた。
青少年教育	佐倉っ子塾 弥富剣道教室	小学生 20人	5月～3月 38回 16人	剣道の稽古を通じて児童の心身を鍛練するとともに、千葉県指定無形文化財「立身流」を学んだ。
	星空観察会	弥富小学校児童と保護者 10組	10/7 6組15人	弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで、天体・科学への興味を育んだ。
	なんでも体験弥富塾	弥富小学校児童 15～20人	8/8　16人 8/18　12人 12/9　中止 1/13　6人	自然体験や工作、料理など様々な体験を通じて子供たちの創造性や協調性、豊かな心を育んだ。 8/8　勾玉づくりに挑戦 8/18　やとみ料理教室 12/9　オリジナル三連凧をつくろう 1/13　おもちで成木をつくろう
成人教育	グラウンドゴルフ大会	弥富地区の住民 40人	6/24　27人	児童から高齢者まで一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、地区住民の健康増進と世代間交流を図った。
	地域防災講座	弥富地区の住民 40人	10/22　30人 11/19　35人	地域の防災力向上を目指して実践的な講習、訓練等を行った。 10/22　防災講座 11/19　防災訓練
	千葉県文書館出前講座 「近世城下町の祭礼～　江戸天下祭と佐倉城下麻賀多明神祭礼を素材に～」	市内の成人 30人	10/13　9人	千葉県文書館より講師を派遣して歴史講座を行った。
	ちばアカデミア講座@弥富公民館	市内の成人 30人	7/1　4人 8/26　13人 12/8　5人 2/10　10人	さわやかちば県民プラザ主催の「ちばアカデミア講座」の会場と、弥富公民館をインターネット回線で結んでサテライト会場とし、遠隔地に赴かなくても学ぶことができる「生涯学習の新しい学びの場の提供」を行った。
	佐倉市包括連携協定事業 明治安田生命「ＭＹ定期講座」 「睡眠」と「健康」の知恵袋講座	市内の成人 30人	10/14　11人 10/21　13人	明治安田生命保険相互会社との包括連携協定に基づき、健康増進・介護・認知症等のくらしに身近なテーマで講座を行った。
	くらしの講座 「布ぞうりづくり」	市内の成人 5人	2/27　5人	趣味、娯楽を通じてコミュニティ活動の推進及び地域人材の活用・育成を図った。
佐倉学	佐倉学入門講座 歴史講座「遺跡発掘者が語る弥富地区の歴史　古墳時代～平安時代編」	市内の成人 30人	12/3　22人	地域の歴史、伝統、文化を学ぶ講座を開催し、郷土への理解を深めた。

令和５年度

弥 富 公 民 館

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育 佐倉学	佐倉学入門講座 「弥富自然散策観察会」	市内の成人 10人	10/11　5人 3/28　8人	散策を通して弥富地区に残る豊かな自然や植生等について学び、地域への理解を深めた。
成人教育 佐倉学	佐倉学体験講座 「竹炭づくり体験」	市内の成人 5人	11/15･16 5人 12/14･15 4人	昔より伝わる竹炭づくりの技法を体験することにより、弥富地区の自然と伝統について理解を深めた。
成人教育 佐倉学	佐倉学体験講座 「クラフトバンドで 塩古ざるづくり」	市内の成人 5人	1/18　5人	弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝わるざる作りの技法を次世代に継承するための入り口として、クラフトバンドを用いて編み上げ技法を学ぶとともに、地域人材の活用、育成を図った。
団体育成	地域団体支援	弥富地区内3団体ほか	通年	ふるさと弥富を愛する会、弥富地区社会福祉協議会、弥富地区青少年健全育成住民会議、保護者会等の活動に対する協力、支援を行った。
広報活動	公民館だより	弥富地区全世帯	6/5　700部 3/5　700部	公民館事業の案内、募集、施設利用等の情報提供を行った。
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通年	佐倉市立図書館の協力により、図書コーナーを充実させ、図書の貸出返却を行った。

１．家庭教育事業

やとみ家庭教育講座

①開設趣旨　子育てにおける家庭の働き、あり方や子供の発達に必要な事柄を学習する。
②募集対象　乳幼児と保護者　１０組
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	９月１５日（金） １０：００～１１：００	えほんの読み聞かせ・手あそび 自分でつくったものであそぼう	楽母楽子 廣田　和子
2	９月２９日（金） １０：００～１１：００	画用紙でバッグをつくろう	楽母楽子 廣田　和子
3	１０月　６日（金） １０：００～１１：００	つくったバッグをもっておさんぽにいこう	楽母楽子 廣田　和子

④講座を終えて　広報誌やＬＩＮＥ等で募集をしたが、今は他所で類似の事業を行うところが多く、応募が少なかった。本講座に限らず、募集をするときは商業施設等の人の往来が多いところにもポスター掲示を依頼する方がよい。
講座自体は、講師の方の人柄もあり、非常に楽しいものであった。屋内だけではなく、ＤＩＣ川村記念美術館の庭園にも出かけることがあった（１０月６日の回）。どの回も、のびのびと子どもと保護者は楽しく遊べて、また、保護者同士の交流も深まったようで子育てに関する情報の共有にも一役買っていたようだ。

くらしの講座「みそづくり」

①開設趣旨　弥富地区などの農村地域を中心に現在でも行われているみそづくりを通して、伝承されてきた食文化を学ぶとともに地域に対する理解を深める。
②募集対象　市内の小学生と保護者　６組
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月２２日（日） ９：００～ １２：３０	弥富公民館内にある農産加工実習室でみそをつくる。	佐倉市食生活改善推進員 錦織　好子

④講座を終えて　毎年１０月～３月に、当館１階の農産加工実習室で市民の方や弥富小学校４年生が行う「みそづくり」を、小学生と保護者を対象に、当館の主催事業として実施した。
みそづくり行程の中で、参加されたお子さんたちは、材料の計量や仕込み（米・こうじ・塩・ゆでた大豆を混ぜる）やみそを容器に詰める作業等を体験した。
お昼をまたいでしまうので、みそ汁（昨年作ったみそを使ったもの）とおにぎりを参加者の皆さんと講師で作って、みそづくりを終えた後に皆さんで食べた。おいしいと好評だった。このように、親子でみそづくりを楽しんでいた。
講師と保護者がしっかりつきそっていることで安全に実施できる事業であり、今後は、参加者（お子さん）の対象を５歳児からに広げるのも良いかと思う。

２．青少年教育事業

佐倉っ子塾　弥富剣道教室

①開設趣旨　弥富地区に伝わる千葉県指定無形文化財「武術　立身流」の次代継承と剣道の稽古を通して、児童の心身の鍛錬と健全育成及び異年齢交流を図るとともに郷土愛を育む。

②募集対象　小学生　２０人

③期間・回数　令和５年５月～令和６年３月　３８回

④学習内容　剣道の技術習得と立身流の基礎の学習

⑤指導者　樫村　典久、田中　眞次、山本　幹夫、加賀谷　順、岡村　幸司朗、
岡村　真理子

⑥講座を終えて　千葉県指定無形文化財「武術　立身流」の技と精神を学ぶとともに、剣道の稽古に励み、お子さんたちの心と体を鍛えることができた。
新型コロナウイルス感染症の５類移行に伴い、級位審査や剣道大会が本格的に開催され、お子さんたちの稽古の励みとなった。
また、合宿や合同稽古も再開した。７月２２日（土）・２３日（日）には和田剣道教室と合同で草ぶえの丘体育館にて合宿を行い、互いに交流を深めた。今年度は４回、和田剣道教室等の他教室と合同稽古を行い、お子さんたちは他教室のお子さんたちと切磋琢磨しながら稽古に励んでいた。
さらに、佐倉市で開催された立身流抜初演武大会に参加し、また、当教室のお子さん１人が夏の剣道錬成大会で優勝し、千葉県剣道連盟主催の「地区連盟対抗剣道優勝大会」に出場するなど、日頃の修練の成果を披露することができた。

星空観察会

①開設趣旨　弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで天体・科学への興味を育む。

②募集対象　小学生と保護者　１０組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月　７日（土） １８：３０～２０：３０	星空観察会	染井野星の会 金田　興一

④講座を終えて　今年は猛暑とはいえ、さすがにこの季節になると夜は冷えて、寒さで途中で退席する方もいた。参加申し込みを受けるときに「寒さ対策を」との連絡が必要である。
今回は特に大きな天体イベントはなかったが、中国の宇宙ステーションが動く様子（星に見える）を観ることができ、また、土星の環や木星等を望遠鏡を通じてはっきりと観ることができた。講師の方から、秋の星座についても、説明を受けながら観察をすることができた。

なんでも体験弥富塾

①開設趣旨　様々な体験を通じて子どもたちの創造性や協調性、豊かな心を育む。

②募集対象　弥富小学校児童　１５～２０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月　８日（火） １０：００～１２：００	勾玉づくり	千葉県教育委員会 文化財課四街道分室職員
2	８月１８日（金） ９：３０～１２：００	やとみ料理教室	佐倉市食生活改善推進員
3	１２月　９日（土） １３：３０～１６：００	オリジナル三連凧をつくろう （参加者なしのため中止）	佐倉市青少年相談員
4	１月１３日（土） ９：３０～１２：００	おもちで成木をつくろう	佐倉市食生活改善推進員 錦織　好子

④講座を終えて　勾玉づくりでは、参加者一人ひとりが工作に集中し、きれいな勾玉を作ることができたようだ。料理教室は講師が地元の方々であり、参加者もリラックスして楽しんでお菓子を作っていた。成木づくりは翌１月１４日（日）のどんど焼きに間に合わせる形で実施し、紅白の餅を椿の木に付けて成木作りを体験していただき、最後にお雑煮ときなこ餅を会食した。

全体的に、体験や伝統行事などのプログラムを通じ、お子さんたちの豊かな心を育む機会を提供することができた。また、みんなで作業が必要な講座を２回（料理教室、成木づくり）実施し、お子さんたちの「協力し合って物事を成す力」も育てることができた。

３．成人教育事業

グラウンドゴルフ大会

①開設趣旨　児童から高齢者まで幅広い世代が一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、異世代間の交流と地区住民の健康増進を図る。
②募集対象　弥富地区の住民　４０人
③実施日・回数　令和５年６月２４日（土）　１３：３０～１６：００　１回
④学習内容　グラウンドゴルフ
⑤講座を終えて　多くの高齢者に参加してもらうため地域団体との共催とした。プレーにあたっては感染症対策は個人に任せたが、途中に木陰で水分補給をする時間を設けるなど、熱中症対策に留意しつつ楽しくグラウンドゴルフをしながら、地域住民の健康増進と異世代間の交流を図った。

地域防災講座

①開設趣旨　地域の防災力向上を目指して実践的な講習、訓練等を行う。
②募集対象　弥富地区の住民　４０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月２２日（日） １０：００～ １２：００	防災講座「家庭でできる１０ヶ条」	防災コミュニティネットワーク 代表　青木　信夫
2	１１月１９日（日） ９：３０～ １２：００	防災訓練（心肺蘇生法（心臓マッサージ・ＡＥＤの使い方）、消火器の使い方、起震車による地震体験）	防災コミュニティネットワーク 代表　青木　信夫

④講座を終えて　弥富地区の地域まちづくり事業実施団体である「ふるさと弥富を愛する会」に協力し、事業を行った。新型コロナウイルスの５類移行により、通常通り開催した。講義、救命訓練、地震体験等を通して、参加された皆さんは改めて防災に対する心構えを新たにしたようだった。

くらしの講座「布ぞうりづくり」

①開設趣旨　布ぞうりづくりを通じてコミュニティ活動の推進と地域人材の活用・育成を図る。
②募集対象　市内の成人　５人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	２月２７日（火） １０：００～１６：００	布ぞうりづくりの技法を学ぶ。	三須　幸子

④講座を終えて　事前準備として、参加者に古布を裂いて折ってきてもらい、開始からすぐ編み始めることができるようにした。また、当館の用務員１名が講師のサポートに入った。さらに、参加者は手芸に慣れている方ばかりであったので、和気あいあいとした中、すべての方が１足を完成させることができた。

千葉県文書館出前講座　歴史講座「近世城下町の祭礼　～江戸天下祭と佐倉城下麻賀多明神祭礼を素材に～」

①開設趣旨　地域の歴史について学ぶ講座等を開催し、郷土への愛着と関心を高める。

②募集対象　市内の成人　３０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月１３日（金） １０：００～１１：３０	江戸期の江戸の「神田祭」「山王祭」と佐倉の「麻賀多明神祭礼」から、様々な祭礼の姿を辿る。	千葉県文書館 白谷　茉莉

④講座を終えて　祭礼が「神輿行列と出シ行列が氏子の町々を巡り、町々を清める」意味合いがあること、江戸期における江戸の祭礼は幕府が費用の援助をしたことに対し、佐倉の祭礼は町方が費用を多く負担していてほぼ町方主体であったとのこと、他にも江戸期の祭礼の様々な実態がわかり、「佐倉の秋祭り」を直後に控えた時期での講座ということもあり、参加者にも好評であった。

ちばアカデミア講座＠弥富公民館

①開設趣旨　さわやかちば県民プラザ主催のアカデミア講座の会場からインターネット回線を通して弥富公民館をサテライト会場とし、遠隔地に赴かなくても学ぶことができる「生涯学習の新しい学びの場の提供」を行う。
②募集対象　市内の成人　各３０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	７月　１日（土） １４：００～１６：００	園芸活動を用いた高次脳機能障害者の社会復帰支援	千葉大学環境健康フィールド科学センター 助教　野田　勝二
2	８月２６日（土） １４：００～１６：００	千葉県の偉人 ～浮世絵の祖 菱川師宣～	菱川師宣記念館 館長　笹生　浩樹
3	１２月　８日（金） １８：３０～２０：３０	データサイエンス２ ～産業界のデータサイエンス～	データサイエンティスト協会 事務局長　佐伯　諭
4	２月１０日（土） １４：００～１６：００	がんと食を考える ～人生１００年時代をみすえて～	国立がん研究センター東病院 栄養管理室長 千歳　はるか

④講座を終えて　地元の住民が柏市にある講座の会場に直接出向かなくても、現在の最先端技術や現代課題について学ぶ機会を提供することができた。しかし、講義内容が市民のニーズに合っているか懸念されるところである。また、サテライト会場では音声を使用した講師への質問ができないため、双方向性に欠けるという課題もある。

佐倉市包括連携協定事業　明治安田生命「ＭＹ定期講座」　「睡眠」と「健康」の知恵袋講座

①開設趣旨　現代は睡眠の悩みを抱えている方は数多い。睡眠と健康の意外な関係を紹介する。
②募集対象　市内の成人　各３０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月１４日（土） １４：００～１５：３０	人生１００年時代！くらしに役立つ睡眠と健康の知恵袋	明治安田生命保険相互会社成田支社 チーフ・コンシェルジュ 薗田　菜和
2	１０月２１日（土） １４：００～１５：３０	よい睡眠とれていますか？ちょっとした工夫で睡眠満足度アップ！	

④講座を終えて　１０月１４日は３つのステップ―①睡眠についての知識を知る　②よりよい睡眠をとる方法を実践する　③自身にとってのよい睡眠を実感する―を通して、自身に最適な睡眠を考える機会とした。１０月２１日はよりよい睡眠をとるための睡眠環境（寝具、寝室環境）と睡眠の悩み別の解決法についての講義であった。
また、明治安田生命保険相互会社の方で講義開始前と休憩のときに、血管年齢と野菜摂取レベルの測定や、ＡＧＥｓとヘモグロビン量の測定を希望者に行い、自身の健康状態を認識できるよい機会であった。
参加者も、講義や測定を楽しんでおり、改めて自身の睡眠や健康についての認識を深めたようであった。

佐倉学入門講座　歴史講座「遺跡発掘者が語る弥富地区の歴史　古墳時代～平安時代編」

①開設趣旨　地域の歴史について学ぶ講座等を開催し、郷土への愛着と関心を高める。
②募集対象　市内の成人　３０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１２月　３日（日） １０：００～１１：３０	史跡や遺物等からひも解く弥富地区の古墳～平安時代の歴史	佐倉市教育委員会文化課職員

④講座を終えて　実際に発掘調査に携わった本市文化課職員を講師として、出土品や遺跡の様相から、古墳～平安時代当時の弥富地区の歴史について、実際の出土品の展示と併せて講義を行った。当館近くの「飯塚古墳群」や現在の当館と隣の弥富小学校が立地している「岩富漆谷津遺跡」、現在の麻倉ゴルフ倶楽部にあった「内田瑞山越遺跡」等が取り上げられ、参加者は当時の地域の人々の暮らしを学び、改めて弥富地区の歴史への興味と理解を深めたようだった。

佐倉学入門講座「弥富自然散策観察会」

①開設趣旨　弥富地区の豊かな自然・植生・野草を散策・観察し、ふるさとへの関心を高め、現地の散策・観察会を通して、郷土を学ぶ機会とする。
②募集対象　市内の成人　各１０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月１１日（水） ９：００～１２：００	佐倉市飯塚の自然散策	佐倉里山支援２８・自然観察指導員 井上　隆夫
2	３月２８日（木） ９：００～１１：３０	佐倉市坂戸の自然散策	

④講座を終えて　第１回目は、秋の植物を観察するとともに、地元飯塚区にも協力してもら

い、飯塚地区の寺社や古墳群を見学した。自然豊かに生育している、住宅街ではあまり見られない野草や木の様子に、どの方も興味を持って見学し、満足していた。飯塚地区は太古から人々が住んでいた土地でもある。室町時代に建立された寺院（中には入らず)、多くの絵馬が奉納されている神社、古墳群にも足を運び、過去の時代に生きた人々に思いをはせるよい機会となった。
第２回目は、ＤＩＣ川村記念美術館の庭園を中心に坂戸地区を散策した。当初は３月２６日（火）に予定していたが悪天候（雨天）だったため、翌々日の２８日（木）に延期した。ＤＩＣ川村記念美術館に向かうまでは初春の野草を見学し、同館の自然散策路ではカタクリの群生を見学してから自由見学とした。参加者は、地域の草花や木に興味を持って見学し、満足した様子であった。
本散策会は、弥富地区の自然や歴史等への理解を深めるよい機会となった。

佐倉学体験講座「クラフトバンドで塩古ざるづくり」

①開設趣旨　弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝わるざる作りを次世代に継承するための入り口として、クラフトバンドを用いて編み上げ技法を学ぶとともに、地域人材の活用・育成を図る。
②募集対象　市内の成人　５人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１月１８日（木） １０：００～１６：００	クラフトバンドで塩古ざるを作る。	三本　信彰

④講座を終えて　本来は竹で作る「塩古ざる」をクラフトバンドで作るので、敷居は若干低めであり、面白い題材でもある。
とはいっても、編み方が独特で簡単ではないため、なかなか完成できない方が多かった。今後、本講座を続けるときは、講師のサポートをする方が必要だろう。

佐倉学体験講座「竹炭づくり体験」

①開設趣旨　昔より伝わる竹炭づくりの技法を体験することにより、弥富地区の自然と伝統について理解を深める。
②募集対象　市内の成人　各１０人
③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１１月１５日（水） ９：３０～１２：３０ １１月１６日（木） ９：３０～１０：３０	一日目　窯組み～火入れ 二日目　取り出し	中村　惠夫
2	１２月１４日（木） ９：３０～１２：３０ １２月１５日（金） ９：３０～１０：３０		

④講座を終えて　竹炭づくり体験は弥富地区ならではの講座であり、他地区の方に弥富地区の良さを伝えることができた。両日程とも、講師の指導のもと、和気あいあいとした雰囲気の中で、竹炭づくりの作業が進んだ。
なお、竹炭に加え、竹炭づくりの副産物として竹酢液のお土産付きであった。

４．団体育成事業

ふるさと弥富を愛する会

ふるさと弥富を愛する会は、佐倉市市民協働の推進に関する条例第１０条の規定に基づく市の認証を受け、平成２０年９月１２日に発足。弥富地区を活動区域として、主に次の活動を行っている。

１．地域住民及び団体相互の連絡、交流、調整等を行う。
２．自然環境保全事業として「ホタルの里づくり（ビオトープ整備)」等を実施する。
３．伝統文化継承事業として「どんど焼き」を実施する。
４．健康福祉増進事業として、グラウンドゴルフ大会を他の地域団体と協力して実施する。
５．安全安心事業として、防災訓練・防災講演会等を実施する。
６．広報事業として、広報紙の発行等を実施する。

弥富公民館では、グラウンドゴルフ大会や防災訓練等各種事業への協力・支援のほか、団体との連絡調整等を行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。そのため市民一人ひとりが課題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和５７年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内７地区の青少年健全育成住民会議、ＰＴＡ連絡協議会、スポーツ推進委員連絡協議会等の構成団体からなり、事務局は佐倉市こども支援部こども政策課が行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成、非行防止及び福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみの活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロール、地域行事の企画・運営のほか、世代間交流を目的としたグラウンドゴルフ大会を実施している。

弥富公民館では、各種事業に関する協力・支援を行っている。

５．広報活動事業

公民館だより

○ねらい　公民館事業の案内、募集、施設利用等の情報提供を行う。
○発行回数　年２回（６月号・３月号）
○発行部数　７００部／回
○配布方法　弥富地区の各区長を通じて全戸配布、公民館に配架

６．図書事業

図書貸し出し

○ねらい　読書活動を支援していくとともに、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学びの深化を図る。また、地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け、貸し出すことにより、地域への理解を深めるための支援を行う。

根郷公民館

根郷地区の概要

根郷地区は、佐倉市の南部に位置し、鹿島川右岸とその支流高崎川及び上流の南部川左岸に挟まれた丘陵地に位置している。

「根郷」の「根」は、ものの根元を意味し、嶺・尾根に通じ、「郷」は、里・村を意味しているが、当地区は、台地上或いは台地の根もとを取り巻いて集積した集落により構成されており、旧石器時代、縄文、弥生期の土器出土、住居跡、古墳及び中世の城館跡などが点在し、古来より住みよい所であったと思われる。

中世は、上総介一族の勢力下にあった印東荘（古代末から中世にかけて佐倉・酒々井・富里に有った荘園）に属し、承平年間に千葉氏が支配するようになってから集落が点在しはじめ、現在のような村落が構成されたのは藩政時代に入ってからとなる。

明治２２年４月、町村制が施行され、六崎、石川、城、木野子、神門、寺崎、太田、大篠塚、小篠塚の９地区により根郷村が発足した。

当地区は、旧来、鹿島川と高崎川流域を中心に、稲作を主体とした農業が営まれる農村地帯であったが、現在、地域全体では、農村地域に残る自然豊かな山野と田畑、藤治台・大作・大崎台・山王・春路等の住宅地域、更にはＪＲ佐倉駅周辺の商業地域、佐倉インターチェンジ周辺の臨空工業地域といった多面的な地域構成となっている。

地区内には、ＪＲ佐倉駅と東関東自動車道の佐倉インターチェンジがあり、鉄道と高速道路における佐倉市の玄関口となっており、更に成田空港に近接する地の利を生かし、第一・第二・第三工業団地・熊野堂工業団地が整備され、本市の産業の中心地となっている。

また、地区内には、諸学校施設として、根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校（併設：県立印旛特別支援学校さくら分校）があり、文教地区としての側面も持ち合わせている。

根郷地区の面積は、市域全体の１６．９％に当たる約１７．５㎢、人口は１４．７％に当たる２５，０３８人であるが、今後は、独立行政法人 都市再生機構施行による土地区画整理事業「寺崎北」地区（施行面積４６．3ha、計画人口５，０００人）への転入等により緩やかな人口増加が見込まれると同時に、ＪＲ佐倉駅に近接する寺崎地区は、新たな商業集積地として発展している。

根郷地区のデータ

【令和６年３月末現在】

○根郷地区：面　　積　約１７．５㎢　　（佐倉市：面　　積　１０３．６９㎢）

○根郷地区：住基人口　２５，０３８人　　（佐倉市：住基人口　１６９，９３０人）

○根郷地区：人口密度　１，４３０人/㎢　　（佐倉市：人口密度　１，６３８人/㎢）

１．公民館運営計画

運営方針

佐倉教育ビジョンを基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努める。

努力目標

○新型コロナウイルス感染防止対策について、個人や事業者の判断で自主的に感染対策に取り組んで頂き、基本的な感染対策を推奨し、施設の管理運営を行う。
○より多くの人に利用してもらえる施設となるよう、施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応に努める。
○幅広い年齢層の幅広い要望に応え、時代のニーズに応じた多様な事業を展開する。
○地域の社会資源を活用するため、また、郷土意識の高揚のための橋渡し役となるように努める。
○地域に根ざした社会問題への関心の喚起に努める。
○公民館に関係する各種団体と連携を密にし、活動の支援に努める。

施設利用

開館日・開館時間
①日曜・月曜・火曜・祝日　９時～１７時
②水曜～土曜　９時～２１時
※１７時以降の施設利用がない場合は１７時まで

利用区分　１時間単位（９時～２１時）

休館日　第２・４月曜日、年末・年始　１２月２８日～１月４日

２．公民館利用状況

年度別利用状況

区　分	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
利用件数（件）	2,547	630	1,571	1,797	1,874
利用人数（人）	27,829	4,673	11,949	17,345	20,954
開館日数（日）	309	239	333	333	334

令和５年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
ホール	3,448	1,079	31.3%
学習室１	3,448	857	24.9%
学習室２	3,448	833	24.2%
プレイルーム	3,448	782	22.7%
調理室	3,448	385	11.2%
和室	3,448	172	5.0%
集会室	3,448	1,075	31.2%

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
家庭教育	みんなと遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ	2歳児と保護者 15組	5/12　12人 5/26　10人 6/9　10人 6/23　10人 7/14　8人 9/8　中止 9/22　10人 10/13　12人 10/27　10人 11/3　15人 11/24　12人 12/8　10人 1/12　12人 1/26　10人 2/9　12人	親子で一緒に運動や絵本・手遊び・工作等を楽しみ、幼児の様々な発達を促した。
	こども工房「家族と楽しむ寄せ植え体験講座」	こどもと家族10組	6/17　19人	こどもとその家族で行うワークショップを通じて、豊かな心を育むプロセスと時間を提供し、家庭の教育力の向上を図った。
青少年教育	防災デイキャンプ	根郷地区小中学校 児童・生徒 21人	7/31 5人	災害時に役立つスキルを学ぶとともに、子どもたちの自主性・協調性を高め、心豊かでたくましく生き抜く力を育んだ。 また、子どもたちの体験活動に係ることにより、地域住民や地域団体のつながりを深め、災害時の共助について考える一助とした。
	夏休み子ども体験講座	メタル絵画に挑戦： 小学1年～6年 15人	7/28　15人	体験型事業として、「絵画教室」を開催し、子どものやる気や自主性・協調性等を養った。
		読書感想文教室： 小学5年～中学2年 20人	7/21　11人 8/18　13人	児童・生徒が本に親しむ機会を作るとともに、読書の感動を文章に表現することを通して、豊かな人間性を考える力を育み、正しい日本語で自己表現力を養った。
		勾玉づくりに挑戦！： 小学3年～6年 20人×2コース	8/10 午前　19人 午後　20人	体験型事業として、「勾玉づくり」を開催し、子どものやる気や自主性・協調性等を養った。
成人教育	根郷寿大学	根郷寿大学	5/19　76人 6/16　74人 7/20　65人 9/15　68人 10/20　74人 11/17　65人 12/15　68人 1/19　71人 2/16　66人 3/15　67人	郷土の歴史や文化、健康づくり等の幅広い分野を学び、教養の向上と社会参加の推進を目的とし、また、受講者同士の交流も図った。 ①歴史・文化(佐倉の歴史等) ②防災 ③健康づくり
	シニアのための健康づくり講座	成人 20人	10/4　14人 10/11　14人 10/18　13人 10/25　16人	健康の維持増進を図り、生活習慣病予防を目的として、日常生活の中で簡単に出来る有酸素運動等を中心に健康体操を実践した。
	シニア向け初めてのスマートフォン教室	60歳以上 10人×2コース	10/6 午前8人 午後7人	スマートフォンを、安心・安全に使うには、どうしたらよいか。Docomo社員を講師に招き、理解を深めた。
	園芸教室「目で見て食べて楽しめるローゼル」	成人 25人	5/31　24人 6/7　23人	佐倉ハーブ園と連携し、ハーブについての講義とハーブ園見学など地元企業を知る講座を実施した。
	珈琲学入門講座 ～おいしさの方程式～	成人 10人	11/11 9人	人々の暮らしに潤いを与える至福の一杯、珈琲の基礎知識、文化と歴史、珈琲豆の選び方、抽出技術等を学び、珈琲の持つ魅力を再発見した。
	明治安田生命連携事業 『仕事や家庭に役立つ「整理収納」講座』	成人 50人	11/30　36人 12/7　37人	効率的・効果的な整理収納を学ぶことにより、豊かな生活を送れるようにした。 明治安田生命との連携事業として開催した。

成人教育	千葉県文書館出前講座『近世城下町の祭礼～江戸天下祭と佐倉城下麻賀多明神祭礼を素材に～』	成人 50人	9/29　34人	千葉県文書館から講師を派遣していただき、城下町の祭礼の歴史について学び、地域への理解を深めるため、講座を実施した。
	東洋大学生涯学習支援プログラム　『記憶と忘却のメカニズム』	成人 50人	11/10 43人	東洋大学から講師を派遣していただき、脳のメカニズムや活性化について理解を深めるため、講座を実施した。
	おとなのための寄せ植え体験講座	成人 20人	12/17 20人	寄せ植えの基礎知識、追肥の仕方などを学び豊かな生活を送れるようにした。また、きれいな街づくりの一助となることもねらいとした。
佐倉学	佐倉学入門講座	成人 各50人	5/29　46人	「中世佐倉の道の歴史」 講師：遠山成一氏
			11/29 19人	「カメラで覗いた印旛沼」 講師：内田儀久氏
	佐倉学入門講座 根郷ふるさと探訪	成人 各15人	春の野草観察会 4/14　15人 秋の野草観察会 10/17 14人 寺崎地区散策 11/8　17人	根郷地区を散策しながら、季節の野草を観察し自然に親しんだ。（野草観察会） 根郷をテーマに学び、自然や史跡、習俗行事等を訪ね、郷土を再発見することにより郷土愛を高めた。（根郷地区散策）
	佐倉学体験講座 こんにゃく作り講座	成人 15人	12/5 10人	こんにゃく芋から、こんにゃくを手作りして調理した。
団体育成	根郷地区社会教育関係団体への支援	該当団体	通年	「南部地区子ども会育成会連絡協議会」、「根郷地区青少年育成住民会議」及び各種団体の活動を支援した。
		花の応援団	4/10　4人 4/28　6人 （チューリップ球根掘り） 5/15　4人 （5/8雨天のため） 6/12　2人 7/10　5人 9/11　5人 10/16 5人 11/13 6人 12/11 6人 1/15　6人 3/11　6人	第2月曜日の午前中（冬季休み）
	定期利用者懇談会	利用団体代表者	98団体へ 郵送	公民館の活動について理解を深めて頂くとともに、利用団体からの意見、要望を伺う。また、グループ活動の意義の理解を深めた。 今年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から書面にて開催した。
	調理室利用者懇談会	利用団体代表者	3/2 3団体	公民館の活動について理解を深めて頂くとともに、利用団体からの意見、要望を伺った。衛生環境を徹底するため整理整頓作業を行った。
広報	根郷公民館だより	根郷地区の各世帯及び事業所	4/15　7,700部 9/15　7,500部	公民館の主催事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行した。
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通年実施 貸出　1,358冊 返却　3,314冊	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行った。

１．家庭教育事業

みんなと遊ぼう　ぽっぽちゃんくらぶ

① 開設趣旨　絵本の読み聞かせや簡単な工作、親子遊び・体操などを通して、幼児の想像力や豊かな心を育み、同年齢の友達と触れ合うことで幼児期の人格形成を促す。また、参加者同士の交流を図り、地域における仲間づくりの機会を提供する。

② 募集対象

令和２年４月２日～令和３年４月１日生まれの幼児とその保護者

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	５月１２日(金) １０：００～１１：３０	折り紙を使って	楽母楽子 廣田　和子
2	５月２６日(金) １０：００～１１：３０	新聞紙ちぎり	
3	６月　９日(金) １０：００～１１：３０	おうちの人にプレゼントを作ろう	
4	６月２３日(金) １０：００～１１：３０	七夕　短冊にお願い事を書こう	
5	７月１４日(金) １０：００～１１：３０	ボールをつかって	
6	９月　８日(金) １０：００～１１：３０	お魚釣りをしよう	
7	９月２２日(金) １０：００～１１：３０	かけっこ　しよう	
8	１０月１３日(金) １０：００～１１：３０	手形をとろう	
9	１０月２７日(金) １０：００～１１：３０	作ってあそぼう	
１０	１１月　３日(金) １０：００～１１：３０	（家族参観日） ロケットを飛ばそう	

１１	１１月２４日(金) １０：００～１１：３０	フープを使って	
１２	１２月　８日(金) １０：００～１１：３０	ツリーに飾るものを作ろう	
１３	１月１２日(金) １０：００～１１：３０	たこあげをしよう	
１４	１月２６日(金) １０：００～１１：３０	鬼のお面を作ろう	
１５	２月　９日(金) １０：００～１１：３０	みんなで運動会	

④ 講座を終えて

今年度は新たな試みとして、令和５年５月から令和６年２月まで１年間を通して事業を展開した。

これは、事業の開催趣旨である「同年齢の友達と触れ合うことで幼児期の人格形成を促す」「参加者同士の交流を図り、地域における仲間づくりの機会を提供する」によるものである。保護者はもちろん、子どもたちも回数が進むにつれ、慣れていき交流を深めていった。

また、佐倉市のDX推進ということでLINEで情報発信を行ったり、ちば電子申請サービスでの申し込みとした。これについては、若い世代ということで苦情もなく、受け入れられたと思う。

さらに、商業施設や公共施設でチラシを配布するだけでなく、南部保健センターで行われている幼児歯科検診で対象年齢の子を持つ保護者に配布してもらった。これも、その時のチラシを見て申し込んでくれた方がいたので大変有効であったと思う。

アンケート結果を見ると、参加者全員より「満足」との回答であった。

新型コロナウイルス感染症が５類に移行されたが、小さい子どもを持つ保護者は、やはり警戒する人がまだまだ多い。来年度はさらに受講者が増えるよう、チラシの配布を増やしていきたい。

また、ぽっぽちゃんくらぶが終わった後でも、地域における仲間として、関係を築いていってもらえればと考える。

こども工房　家族と楽しむ寄せ植え体験講座

① 開設趣旨　こどもとその家族で寄せ植えを作ることにより、コミュニケーションをとることを目的とする。また、育てた寄せ植えが地域住民の目に留まることにより、きれいなまちづくりの一助とすることもねらいとしている。

② 募集対象　小学生と保護者　１０組（１組３名まで）

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	６月１７日(土) １０：００～１２：００	家族で寄せ植えを作り、その後、きれいな花を咲かせるための手入れを行う	日本ハンギングバスケット協会　高橋洋子

④ 講座を終えて

はじめに土づくりから。培養土と腐葉土、それに肥料を入れて、まぜまぜ。子どもたちは大喜びで土づくりをしてくれる。よく混ざったところで鉢に入れ、いよいよ寄せ植え開始。今回はコリウス、マリーゴールド、マツバボタン、アゲラタム、リシマキアの5種類を植えていく。

しかし、すぐに植えていくのではなく、まずは下のほうの葉や小さな芽を丁寧に取ってから植えていく。これをしないと、鉢の中がいっぱいになり、水分をあげた時に弱いものは必要なだけの水分を得ることができずに枯れてしまう。

植え方についても、初めに鉢の中心に背の高いコリウス、次にマリーゴールド、マツバボタンは対角に植えていく。できる限りきっちりと植えたほうが仕上がりがきれいになるとのことであった。土づくりから始めて、およそ1時間半。それぞれきれいな寄せ植えが出来上がった。

講座後のアンケートでは、多くの方から「楽しかった」「また企画してほしい」「土づくりがとても楽しかったようです」との声をいただいた。来年度もぜひ継続して行っていきたいと考えている。

２．青少年教育事業

防災デイキャンプ

① 開設趣旨　近年頻発している自然災害に対する知識や、災害時の対応について、意識や関心を高めるため、根郷公民館を避難所と想定し、体験的な防災教育を行う。

② 募集対象　根郷地区小中学校 児童・生徒　２１人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	７月３１日（月） ９：３０～１５：００	防災啓発DVD鑑賞 避難所で役立つゲーム講習会 防災食作り 避難所運営ゲーム	佐倉市ジュニアリーダースクラブ、佐倉市民生委員児童委員協議会、危機管理課職員

④ ≪講座を終えて≫

コロナが５類に移行したとはいえ、今年度も手指消毒等の感染対策を行ないながら事業を実施した。

今年度は、①防災関連のDVD視聴　②避難所でできるゲーム講習会　③防災食作りと試食　④避難所運営ゲーム（HUG）の4つのテーマで開催した。

昨年のHUGは、班分けしてすぐに行ったため、声が出ずなかなか話し合いができる雰囲気ではなかったことから、今年は、一日同じ班で行動することとした。

最初に佐倉市ジュニアリーダースクラブを講師にゲームを行い、アイスブレイクの時間とした。さらに「同じ釜の飯」ではないが、一緒に調理し、試食することでさらに距離がちぢまった。　そのままジュニアリーダーにHUGに加わってもらったことで、受講者からも意見が出やすくなり、疑似避難所運営が有意義な時間となった。講師からは、「避難所運営には、答えはありませんが、住民の方の協力が必要です。」と。

アンケートを見ると、全員が「役に立った・少し役に立った」と回答し、「次回も参加したい」が半数を占めた。ジュニアリーダーの全員から「事業に参加して満足」との回答をいただいた。意見ついては、「HUGの時間が足りない」「他の班の考えを知りたかった」等であった。

正直、テーマ的には大事だが、参加者が少ないことが課題である。しかし、続けなければ、いざというときに困るので、来年度以降も内容を検討しつつ続けていきたい。

夏休み子ども体験講座　絵画教室

① 開設趣旨　体験型の講座を通して、受講生のやる気や、創造力、自主性を養う。

② 募集対象　小学１～６年生　１５人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	７月２８日（金） １３：００～１６：３０	夏休み子ども体験講座 「メタル絵画に挑戦しよう！」	ワールサークル会員　他

④ 講座を終えて

体験型の「メタル絵画講座を通して、子どものやる気や自主性・協調性等

を養う」を企画した。
当日は、感染対策は、受講生の自主判断に任せた。
講座では、ティッシュペーパーの空き箱を使って、好きな題材の絵を描き、切り貼りして、「メタル箔」を貼り、最後にスポンジで磨き、金属のような光沢を持った絵画に仕上げた。
作成中、みんな集中して作業を行い、私語が一切なかったので、講師から非常に感心したとの感想があった。
作品は、宝石や東京の夜景、夜の海、夜の街等、金属のような光沢が夜の月明かりを連想させ独創的な作品があった。
最後に、受講生がお互いに鑑賞し、講師からの講評もあいまって、おのおの、他の受講生が作った作品の感想を言い、時間まで楽しみながら学んでいる様子がうかがえた。
アンケート結果を見ると、「楽しかった」が１３人と多く、満足度が高い評価となった。「次回参加したいか」について、小学６年生の受講生が「いいえ」につけたが、「参加したい」が多いという結果となった。「公民館でやってみたいこと」の自由意見は、学校では教えられない、生け花やおもちゃ作りなど多種多様で、公民館として多様な事業が求められているという結果になった。
アンケート結果から、「次回も参加したい」が多かったため、来年度も絵画を継続し、次回以降テーマを検討していきたい。

夏休み子ども体験講座　読書感想文教室
～今年の夏は、読書感想文から始めよう～

① 開設趣旨　児童・生徒が、本に親しむ機会を作るとともに読書の感動を文章に表現することを通して豊かな人間性を考える力を育み、正しい日本語で自己表現力を養う。
② 募集対象　小学５～中学２年生　２０人
③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	７月２１日（金） １３：３０～１５：３０	なぜ読書感想文が宿題になるのか。 本の選び方、読書感想文の書き方	元中学校国語教諭 岡本　万里子
2	８月１８日（金） １０：００～１１：３０ １３：００～１４：３０ １４：３０～１６：００	読書感想文の書き方、まとめ	

④ 講座を終えて
児童・生徒が本に親しむ機会を作ることを目的に今年度初めて企画した。夏休みの宿題に読書感想文がある小学５年生～中学２年生を対象としたが実際、中学生の応募があるか不安であったが、６人が集まった。（全体の応募は１４人）
１回目の講義は、そもそも「なぜ読書感想文が夏休みの宿題になるのか」というところから解説が始まり、本の選び方、読書感想文の書き方へと進んでいった。「なぜ」の回答は、「本を読んでもらい考えてもらいたい。

文章力を身につけてもらいたい」からだそうだ。選ぶ本は、何も難しい物を選ぶ必要はなく、興味のあるものや読みやすい物を選ぶと良いとのこと。

当日は、佐倉南図書館から司書を派遣してもらい、受講者の相談に乗ってもらった。　読書感想文で大切なのは、「書き出し」と「まとめ」だそうで、講師の指導もそれが中心だった。

２回目は、３班に分かれ、個々に対応してくださり、みな思い思いの作品が出来上がった。だが、中には、「もう少しで完成」というところまではいったものの、時間内に完成することができない受講生がいたが、講師のご厚意で別の日に３回目を対応していただき、完成することができた。アンケートを見ると、大半が「役に立った」「次回も参加したい」と答え、夏休みの宿題が１つは、計画的に完成することができ、事業としては、成功したと思う。だが、根郷中学校は、宿題に読書感想文が入っていなかったことは、リサーチ不足だった。周知方法等検討し、来年度以降もうしばらくは、継続していきたい。

夏休み子ども体験講座　勾玉づくりに挑戦！

① 開設趣旨　勾玉作りや展示する土器などを通して、縄文時代の生活に触れる機会とするとともに、ものづくり体験の喜びを実感してもらうことで受講者のやる気や自主性を養う。

② 募集対象　小学３～６年生　各回２０人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月１０日（木） ①　９：３０～１１：３０ ②　１３：３０～１５：３０	勾玉づくり 古代のアクセサリーをつくろう	千葉県教育委員会 文化財課職員

④ 講座を終えて

この勾玉づくり講座は毎年人気の講座であることから、今年度は午前、午後の２回開催することとした。また、受講者数も昨年の１５名から１講座２０名と増やすことにした。

申し込みについては、やはり定員を上回り、抽選となった。多くのかたが根郷地区であったが、臼井・千代田地区や志津地区からの応募もあった。

また、今年度は新たな取り組みとして、佐倉南高校の生徒に地域事業への参加ということで、この事業のサポートに来てもらった。

講座は、初めに縄文時代や弥生時代の土器や石器などについて解説があり、そのあと、実際に土器や石器を触ってみたりして、楽しみながら古代の人々の暮らしや文化について学習することが出来たと思う。

勾玉づくりでは、講師のわかりやすく丁寧な説明を受け、砥石や紙やすりで削ったり磨いたりの作業を行う。高校生も、順次子供たちのサポートをしてくれて、皆集中して作業を行っていた。およそ１時間半後、皆それぞれに勾玉を完成させることができた。

アンケートでは「楽しかった」「来年も参加したい」という声が多く寄せられており、楽しく貴重な体験ができたと思う。

来年度も今回と同様に午前、午後の２回開催することで少しでも多くの児童に体験してもらいたいと考える。

３．成人教育事業

根郷寿大学

①開設趣旨　高齢化社会の中で、郷土愛を育み、地域の中で連帯を持ちながら健康で充実した生活を過ごせるよう、健康の保持増進、歴史・文化、社会現象などの学習の場を提供するとともに、受講者同士の交流を図る機会を提供する。

③ 募集対象　６０歳以上　８０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月１９日（金） ９：５０～１２：００	開講式、オリエンテーション 日程説明、班長（副班長）の選出、 グループ討議	館長　担当
2	6月１６日（金） ９：２０～１２：００	佐倉の郷土の先覚者 津田仙・西村勝三	元根郷小学校長 諸根　彦之
3	7月２０日（木） ９：２０～１２：００	ゼロカーボンシティと ごみのリサイクルについて	生活環境課 廃棄物対策課
4	9月１５日（金） ９：２０～１２：００	地域防災について	根郷小学校区まちづくり協議会 防災士　森哲郎
5	１０月２０日（金） ９：２０～１２：００	音楽鑑賞	佐倉アルペジオギターサークル
6	１１月１７日（金） ９：２０～１２：００	市内企業の取り組みについて	㈱小川園
7	１２月１５日（金） ９：２０～１２：００	口から始まる健康習慣	健康推進課
8	１月１９日（金） ９：２０～１２：００	学び合い講座 歌ってすばらしい	根郷寿大学４班
9	２月１６日（金） ９：２０～１２：００	北総四都市江戸紀行について	文化課
１０	３月１５日（金） ９：２０～１１：００	グループ発表 閉講式	館長　担当

④ 講座を終えて

今年度は、５月に、感染症法上の位置づけが「５類」に移行したことから、コロナ前とほぼ同数の、１グループ制８０人の定員で開講することができた。

講座の内容は、佐倉の歴史、地域防災、健康など様々なジャンルを取り入れた。昨年度のアンケートに「自分たちで講座を組み立てたい」との意見があったため、１月に「学び合い講座」を実施した。各班からアンケートを取り、４班の受講生が中心で講師となり、「歌ってすばらしい」をテーマに、懐メロの合唱を行い、好評だった。

班活動では、印旛郡市６市町を廻ったり、はとバスツアーに参加したりと各班活発に行動し、親睦を深められたようだった。

アンケート結果を見ると、講座の内容は、「良い」との回答であった。その他、講座内容や部屋割り・音量等の要望があり、それを踏まえ、マンネリ化しないよう気

をつけながら次年度以降につなげたい。
　今年度から始めている、ちば電子申請サービスでの申し込みであるが、応募者９２人に対し、２７人が利用していた。来年度は、徐々にでも良いので、ちば電子申請サービスでの申込者か増えるよう取り組んで行きたい。

シニアのための健康づくり講座

① 開設趣旨　生活習慣病の予防や、日常生活の中で簡単にできる運動を学び、シニア世代になっても健康で日々暮らせるようにする。
② 募集対象　成人　２０人
③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月　４日（水） １０：００～１１：３０	柔軟、筋トレ、有酸素、バランス運動の４つの運動を中心に学ぶ	ＡＦＡＡ認定 インストラクター 森　たか子
2	１０月１１日（水） １０：００～１１：３０		
3	１０月１８日（水） １０：００～１１：３０		
4	１０月２５日（水） １０：００～１１：３０		

④ 講座を終えて
　本年度の健康づくり講座も例年通り、定員２０人、４回の講座として募集を行った。申込込み者は１９人であった。１人を除き全員初めて受講される方々であった。
　第１回目ヘルスチェックアンケート実施。受講者の多くは６５才から７５才であった。講師が体の不調の方がいないかチェックを行ってから講座が開始された。前半の講義では、健康づくりの基本的な考え方、日頃の生活のなかに健康づくりを取り入れる大切さと、その方法などを学んだ。休憩をはさんで、実技に入った。ストレッチと柔軟運動を中心としたエクササイズだったが、初めて受講される方が多く、内容がハードだったという意見もあった。
　第２回目は、有酸素運動と筋力運動。後半は椅子を使ったストレッチ。回数を重ねるごとに体力がついてきているように見受けられた。
　第３回目は、呼吸法について。防衛体力を高める呼吸法が効果的ということで、横隔膜、助間筋、腹横筋を意識した呼吸法の説明と実践。有酸素運動を促す体操が重点的に行われた。
　第４回目は、今まで３回の要点、呼吸法などの復習を行った。音読の効用は、脳の記憶、学習感情を鍛える効用があるとの講義であった。その後ストレッチと柔軟運動を行った。どの回も、講師が受講者の体調に目を配っており、安心して受講できていた。
　アンケートでは、満足１１人、やや満足５人、学ぶ意欲が高まった１０人、少し高まった６人との高評価を得ており、講座を受け運動を生活に取り入れようという受講者の機運が高まったと考えられる。また、こうした講座を継続的に開催してもらいたいという意見も寄せられた。今後も継続して行うべき講座と考える。

シニア向け初めてのスマートフォン教室

① 開設趣旨　スマートフォンの基本操作や、災害対策アプリ等の活用方法を学びシニア世代の方にスマートフォンを安全に使って生活の幅を広げてもらう。

② 募集対象　６０歳以上　午前１０人　午後１０人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月　６日（金） １０：００～１１：３０	基本的な使い方や文字の入力方法、簡単なゲームアプリの使い方を学ぶ	ドコモスマホ教室専任講師
2	１０月　６日（金） １３：３０～１５：００		

④ 講座を終えて

講師１人を含めスタッフ計３人で対応。「らくらくスマートフォン」を使っての講義。スマホのスイッチの入れ方から、スタート画面の説明、「スライド」「ドラッグ」「タップ」などの基本的用語の説明、長押しした時の機能、画像の拡大の仕方、マナーモードの使い方などの機能の説明があり、それに続き受講者が実際操作を行った。講義では短いテーマごとに説明を区切り、続いてそれに対応する操作してみるという形ですすめられた。操作にあたってはスタッフが指導に当たった。３人に対し１名のサポートが付いたため、一人ひとりの受講者に対し時間をかけ丁寧に納得がいくまで説明ができていた。

後半はインターネットでの検索の仕方。音声入力での検索を行うための、マイクの使い方、話すタイミングなどの指導があった。音声入力など受講生が興味を持って操作している様子が伺えた。続いて、写真の取り方や、ビデオの取り方を実践。きれいに撮れる方法、セルフタイマーの使い方などの説明があった。

実践した最後の質疑応答でも活発に質問が出ていた。講師も丁寧に応答していた。全体を通して基本操作に重点が置かれており、また、説明より操作の時間が多く振り分けられていたため、同じ操作を何度か繰り返す中で、徐々にスマートフォンに馴染んでいった様子が見て取れた。テキストも、文字や図が大きく描かれており見やすく、入門編とし最適な内容となっていた。アンケート結果は、おおむね好評であった。

園芸教室「目で見て食べて楽しめるローゼル」

① 開設趣旨　佐倉ハーブ園と連携し、ハーブという植物を通して、園芸の基礎を学ぶとともに、地域について知る機会とする。

② 募集対象　成人　２５人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	５月３１日（水） １０：００～１２：００	栽培の基礎と管理の方法についての講義	佐倉ハーブ園園長 柴田　忠裕
2	６月７日（水） １０：００～１１：３０	ハーブ園散策とハーブを使っての挿し木の実習	

④　講座を終えて

第１回目　はじめにハーブ園の成り立ち、現在の状況などについての解説があっ

た。「佐倉市は千葉県の中で一番気温が高く一番寒い、また、梅雨の雨量より秋雨の雨量のほうが多といった現状を踏まえて栽培することが大切であり、特に排水をしっかり取っておくことが重要である。」など、佐倉市で園芸を行う上で重要なポイントが指摘された。ハーブは五感で楽しむものであり、多くの人はハーブに「健康・香り・食べる」の３つのことを求めており、今回は食べられるをテーマとしローゼルを扱う。どのように食べられているのか、栽培の注意点、効用などが紹介された。実際に栽培したローゼルを挙げ、優良株の見分け方などの説明があった。次回はローゼル鉢植えを行うということで、受講生も楽しみにしている様子であった。講義内容も９０分で収まる内容でちょうどよかった。

第２日目　ハーブ園での実地講習。はじめに実物を示してのハーブの説明。続けて園内を散策しながら植えられたハーブの特徴、育て方などの説明。また、実際に葉の香りを嗅いでみたり、花を味見したりと五感を使った講義となった。受講者は歩きながらメモをとるものも多く、質問も活発で非常に熱心な様子がうかがえた。実際のハーブを見ながらの講義は、座学とは違い、実感がわき興味深いものとなっていたようである。最後にローゼルの鉢植えを行い、ローゼルティーも味わい終了。今年、歩道が車いすでの見学に対応できるようコンクリートに舗装されていた。来年は大幅にハーブ園が整備されるということなので、より手軽に充実したハーブ園を散策できるのではないかと期待できる。また、定員はハーブ園のスペースを考えると２５人が最適かと思われる。

珈琲学入門講座　～おいしさの方程式～

① 開設趣旨　市民の方は、毎日忙しい日々を送っているが、今日だけは日常を忘れ、珈琲の基礎知識や文化と歴史、珈琲豆の選び方や、抽出技術などを学び、珈琲の持つ魅力を再発見し、至福の一杯に出会う機会とする。

② 募集対象　成人　１０人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１１月１１日（土） ９：３０～１２：００	珈琲の基礎知識や文化と歴史、珈琲豆の選び方や、抽出技術を学ぶ	珈琲焙煎士 坂井　稔

④ 講座を終えて

講座は、珈琲の器具の説明から始まった。ドリップ式・サイフォン・コーヒーメーカーそれぞれ違いがある。

ドリップ式には、さらに穴の数により、抽出時間の違いがあり、３穴は、早く抽出できるので、スッキリした、1穴は、３倍の時間をかけるので、コク深い一杯に仕上げることが出来る。

サイフォンは、アルコールランプで、温めながら抽出することで、豆の個性がさらに際立つそうだ。コーヒーメーカーは、会社やファミリーレストラン等大量に抽出するのに向いていて、味は・・・。

次に、講師がドリップ式の、デモンストレーションを行った。「エグ味・雑味・灰汁を浮かせて美味しい所だけ落とすんですよ!」　受講者は、「至福の一杯に仕上げる」という意気込みで、真剣に講師の動作を見ていた。

いよいよ、自分が店主となり、抽出が始まった。早速「あっ!」という　焦ったような声があちこちで・・・。すると、講師が「気にせず続けてください」と。

１回目が終わり、周りの方たちと飲み比べをしたが、「うーん」という表情。

２回目に備え、お湯を沸かしている間に、珈琲の歴史と、抽出のポイントの話や、

サイフォンでの抽出のデモンストレーションがあった。ブラジル２回、グアテマラ１回、モカ１回、計４回の抽出が終わるころには、それぞれ「至福の一杯」に出会えたようだった。

アンケートの結果を見ると、ほぼ全員が満足と答え、次回を望む声も多数あった。来年度は、１回限りのイベントで終わらず、継続して行けるような仕組み作りを行いたい。

明治安田生命連携事業　『仕事や家庭に役立つ「整理収納」講座』

① 開設趣旨　整理収納の基礎や片付けのルールを学ぶことで生活環境を整え、仕事、私生活両面においてより質の高い生活を送るための一助とする。

② 募集対象　成人　５０人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１１月３０日（木） １０：３０～１２：００	基礎編：チェックリストで整理収納レベルを知り、課題を検討する。	明治安田生命派遣の講師
2	１２月　７日（木） １０：３０～１２：００	実践編：片付けの三大効果を考えながら、整理してみる。	

④ 講座を終えて

なぜアドバイザーになったかなどの、体験談を含めての自己紹介。受講者に質問し受講者と対話しながら進めるなど、注意を引く構成で、また、体験談は受講者の共感を呼ぶ内容であった。

基礎編では、片付けには、心のゆとり、心を豊かにするなど精神的な効果があり、生活へのモチベーションを向上させるなどの効果があるとのこと。一方、片付けには経済的効果もあるということで、データを示して説明があり、説得力のあるものとなっていた。

ごみを減らすポイントについて、捨てられないものを分離・羅列し、個々の事例への論理的な説明を行うなど、曖昧だった物へのイメージを明確化することにより、要らないもの捨てる決断を促す手立てとなる。

具体的な整理のポイントは見える化から始まる。片付けのポイントを写真や図を交えながら、ビフォー・アフターを例示することで大変わかりやすい。また、実際に片付けにかかった時間が示されており、大変参考になった。

実践編では時間的・経済的・精神的な片付けの三大効果を念頭に、整理のポイント、収納のポイントなどを、実践に合わせた具体的な説明があった。片付けた後、それを継続するポイントなどの解説もあった。

アンケート結果は、概ね好評であった。ただ、次回からは公民館の利用状況を勘案しながら、駐車場が混まない日程で実施することが望ましいと感じた。

千葉県文書館出前講座

『近世城下町の祭礼～江戸天下祭りと佐倉城下麻賀多明神祭礼を素材に～』

① 開設趣旨　江戸の「天下祭り」と佐倉の「麻賀多明神祭礼」を素材に学ぶことを通じ、郷土の歴史、文化に関する理解を深めるとともに、郷土愛を醸成する。

② 募集対象　成人　５０人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	９月２９日（金） １０：００～１２：００	江戸の「天下祭り」と佐倉の「麻賀多明神祭礼」を素材に学ぶことを通じ、郷土の歴史、文化を学ぶ	千葉県文書館 白谷　茉莉

④ 講座を終えて

江戸時代の祭礼がどのように始まったのか、その成り立ち、歴史的背景などの説明があり、祭礼に関する基本的知識がより深まった。また、資料には、地図、写真などが多用されており、視覚的にも理解しやすいものであった。特に普段目にすることがない古文書については、文書館ならではの貴重な資料が紹介されており、興味深いものとなっていた。江戸時代、神田明神、山王権現の祭りが、幕府も関与し江戸市民の重要な行事として行われていたことが感じられた。

佐倉の秋祭りは、佐倉市民にとっては昔から身近なものでありながら、その成立、歴史的背景を正式に学習する機会が中々なかったように思われる。文書館主催ということで、様々な資料をもとに、多角的に佐倉の祭礼について学べたのは意義深いものであった。祭りの成立に関しては、江戸時代の堀田家の歴史も折込みながらの説明であり、市民にとって、より興味の持てる内容となっていた。今年の秋祭りは１０月１３日～１５日であり、祭礼に関する理解を深めるにはよいタイミングであり、受講された方はより興味を持って秋祭りを見学できるようになったものと思われる。資料は多めに見えたが、分量に対する講義時間もちょうどよく、内容の濃い講義であった。

講師の声が聞き取りにくいとの指摘があったので、スピーカーの音色、高音域を最大に、低音域を最小にして対応した。

東洋大学生涯学習支援プログラム『記憶と忘却のメカニズム』

① 開設趣旨　高齢化が進む中、心身両面における健康を維持しながら、市民がより有意義なより充実した老後の人生を過ごすための一助とする。

② 募集対象　成人　５０人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１１月１０日（金） １４：００～１５：３０	認知症、物忘れなどについて科学の視点から理解する。	東洋大学生命科学部生命学科 児島伸彦教授

④ 講座を終えて

「認知症を科学する」を副題に講義が行われた。老化と認知症の症状は違うとのことで、その違いについて説明があった。図を用いながら脳のそれぞれの部位の働き、その関係性についての話があった。記憶はネットワークで記憶されている。別のニューロンのネットワークと繋がっていくことで記憶が強化されるとのことであった。アルツハイマー型認知症に関しては、アミロイドβが関連しているとのこと。アミロイドβが脳に溜まらないようにするにはどうしたらよいのか。「まず知識として理解し、しっかり対策に取り組んでいくことが大切である」との指摘がありました。今話題のアルツハイマー型認知症の進行を遅らせる薬「レカネマブ」に関し

ては、その効果は今後の症例次第であるとのことでした。
当地域でも高齢化が進んでおり、多くの市民は物忘れや認知症などへの関心が高くなっている。そのため当館でも様々な認知症予防関連の講座を行ってきている。そんな中でも、今回のような科学的なアプローチからの講演は初めて。科学的な見地からデータなどを通して認知症を客観的に知る事で、より理解を深め、これからの生活に役立つ講演だったと思う。説明も明確で大変わかりやすかった。ただ、講演後、先生に直接質問される方が多かったので、公演の中に質疑応答の時間設けた方が良かったのではないかと感じた。

おとなのための寄せ植え体験講座

① 開設趣旨　寄せ植え体験をすることで、自然とのふれあい、土とのふれあいを楽しんでもらうことを目的とする。また、育てた寄せ植えが地域住民の目に留まることにより、きれいなまちづくりの一助とすることもねらいとしている。

② 募集対象　成人　２０人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１２月１７日（日） １０：００～１２：００	寄せ植えを体験することで、自然との触れ合いを楽しんでもらう。また、その後育てていくことできれいなまちづくりの一助となる。	日本ハンギングバスケット協会 高橋　洋子

④ 講座を終えて

講師に日本ハンギングバスケット協会　高橋氏を迎えての「おとなのための寄せ植え体験講座」。５月に「親子で楽しむ寄せ植え体験講座」を行っていただいたが、今回は「おとなのための」、ということで開催した。

今回の花材は全部で8種類。楕円形の鉢に植えていく。が、まずは苗の整理から。咲いて終わった花を取り除き、下のほうの葉っぱもていねいに取り除く。葉ボタンなどは、土をていねいに落として植えるようにするとのこと。

受講者は順番に植えていくだけかと思っていたようで、そのような作業があるとは思ってもいなかった様子。が、先生の指導のもと、作業を進めていった。

寄せ植えをするコツは、三角形を意識すること。ビオラが3株あったが三角形を意識して後ろに２株、前に１株。そのほか白妙菊なども３株あるので三角形を意識して植えるようにするときれいに見えるとのことであった。また、講座の最後でいかに長持ちさせるか。「手入れをしてあげれば４月ごろまで楽しむことができる」とのことであった。

講座後のアンケートでは、参加者すべての方から、参加してよかったと回答をいただいた。また、「自己流でやっていたが、今回参加して目からウロコだった」といったご意見もあった。

今回の講座では定員２０人のところ、申し込みが３１人。参加者からも「また企画してほしい」との声をいただいている。来年度もぜひ継続して行っていきたい講座の一つである。

佐倉学入門講座　中世佐倉の道の歴史

① 開設趣旨　中世佐倉の水陸交通について、根郷地区を中心に学ぶきっかけづくりとする。

② 募集対象　成人　５０人
③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	５月２９日（月） １０：００～１２：００	中世佐倉の水陸交通について、根郷地区を中心に学ぶ	佐倉市文化財審議会 副委員長 遠山　成一

⑤ 講座を終えて

「中世佐倉の水陸交通について根郷地区を中心に学ぶきっかけづくりに」と企画した。　当日は、感染対策として、窓開け換気を十分に行った。

講義は、下総道を中心に千葉県の道の成り立ちから話が始まり、下総道の詳細をスライドと地図を用いてお話いただいた。公民館の近くに道標があることから、これを中心に根郷地区・和田地区の道の成り立ちや成田詣でに向かう旅人の様子も交えながら興味深い講義となった。

アンケート結果を見ると、資料（地図）の不足を指摘する意見が多数あり、その関係で、満足度の評価が二番目の「やや満足」に印をつけた方が他の講座より多い結果となった。また、未記入も多く、これは、「不満」に印をつけたいところだが、「大人の対応」を取った方が多かったと推測する。これについては、講師との事前打ち合わせを密にするようにしていきたい。

昨年から始めている、ちば電子申請サービスでの申し込みであるが、応募者７２人に対し、４６人が利用していた。だいぶ普及してきたように感じるが、全員が、ちば電子申請サービスで申し込めるようにＰＲも継続していきたい。

来年度も、テーマを変え、もうしばらく佐倉の道についての講座を継続していきたい。

佐倉学入門講座　カメラで覗いた印旛沼

① 開設趣旨　印旛沼の自然や歴史的風景を学ぶことで、郷土への愛着と理解を深め、地域を見直す機会とするともに、佐倉市の新たな魅力を発見する機会とする。
② 募集対象　成人　５０人
③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１１月２９日（水） １０：００～１２：００	写真を通して印旛沼の歴史、地域の文化を学習する。	内田　儀久（市史編纂委員）

④ 講座を終えて

内田儀久氏を講師に迎え「カメラで覗いた印旛沼」と題しての講座。講座は、印旛沼の四季折々の美しい風景など、印旛沼を撮り続けるその魅力を紹介。また、江戸時代印旛沼はどのように紹介されていたのか、明治時代の様子はどうだったのかなど文献を通して見えてくる歴史的な風景やエピソードも披露された。

まずは、印旛沼の四季折々の風景。佐倉市内にとどまらず、印西市など様々な場所で撮影されていた写真が紹介されていた。また、写真にはカメラの機種、レンズ

の種類など撮影時のデータも紹介されていた。そのため同じように写真を取りたい方には参考になるデータとなっていた。風景の一瞬を捉えるために工夫した点、苦労した点などを撮影者ならではのエピソードを交えの説明があった。また、印旛沼の写真をとるには「富士山や筑波山を入れることがポイント」ということで、富士山の撮影ポイント、筑波山の撮影ポイントなど地図入りで紹介されており実戦的で大変分かりやすく興味を引く内容となっていた。

また、赤松宗旦義知の「利根川図志」に紹介された臼井八景、佐倉藩主稲葉氏の家臣磯部昌言の「佐倉風土記」や、十方庵敬順の「遊歴雑記」など歴史的文書を交え、昔の人はどういう点に印旛沼の魅力を感じていたかなどについての話しがあった。

映像という新しい視点から印旛沼を見ることで、新たな郷土の魅力を発見することができた。アンケートでも好評であった。

佐倉学入門講座　根郷ふるさと探訪

① 開設趣旨　市内の自然を散策しながら、春や秋の野草・古木等を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について理解を深める。また、郷土の歴史・文化・自然を学び、郷土愛を高めるとともに、地域を見直す機会を提供する。

② 募集対象　下記のとおり

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	募集対象	講師
1	４月１４日（金） ９：３０～ １２：００	春の野草観察会 市内の自然を散策しながら、野草や古木等を観察し、郷土の自然について関心を高める	成人 １５人	佐倉野草会 近藤　維久子
2	１０月１７日（火） ９：３０～ １２：００	秋の野草観察会 根郷地区の自然を散策しながら、秋の野草や古木等を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について理解を深める	成人 １５人	佐倉野草会 近藤　維久子
3	１１月　８日（水） １２：００～ １６：００	寺崎地区史跡めぐりと ３年ぶり！令和の大改修後 初の寺崎薬師大祭に行こう！	成人 ２０人	寺崎在住 菊地　昭夫

④ 講座を終えて

≪春の野草観察会≫

今回は大蛇の里山を中心としたコースで観察会を実施した。

大蛇の里山では、ボランティアの木村さん、斉藤さんが里山再生のご苦労などを話してくださり、また、それにより、貴重なキンランやギンランが増えてきたことなどもお話しくださった。特にギンランは希少植物であるため、参加者も熱心に説明を聞き、写真撮影など行っていた。

神明神社では、樹齢２５０年～３００年のケヤキやアカガシなどの古木が残されており、すぐそばの住宅街に溶け込むように守られている。神社入り口のアカガシの幹を測ったところ、およそ５メートル。このように立派な古木が保存されていることに、参加者の多くは感心していた。

≪秋の野草観察会≫

秋は「太田地区の古村に残る屋敷林と山王地区につながる田んぼのあぜ道を散策しながら秋の身近な自然に親しむ」をテーマに観察会を実施した。大田地区は昔から水が豊富であること，また樹齢３００年にもなるスギ、スダジイ、ケヤキ、ムクノキなどの古木をはじめ多くの家で屋敷林があり、地域の人々によって守られ残されている。

春、秋ともに多くの方に参加してもらった野草観察会だが、佐倉にはまだまだ多くの自然が残されている。今後も郷土の自然について、理解を深めてもらえるよう自然観察の機会を提供していきたい。

≪寺崎地区史跡めぐりと３年ぶり！令和の大改修後初の寺崎薬師大祭に行こう≫

今年密蔵院薬師堂の改修工事が終了し、大祭が３年ぶりに開催されるということで、実施した。この時期にしては暑い日が続いていたので心配したが、当日は心地よい秋風の吹くさわやかな陽気の中での開催となった。

寺崎地区の散策は、寺崎小学校を出発し、寺崎トンネル、埋墓（土葬時代の名残）諏訪神社、庚申塚、南六所神社、淡島神社、薊権現、神明宮、古峰神社、薬師堂、寺崎城跡と、多くの場所を回った。参加者は講師の話を熱心に聞き、その歴史に感心していた。また、中世の面影を残す、先の見通せない狭い小路の町並みは、市内でも類をみないものである。

今後は寺崎地区をはじめ、根郷地区の他地区名所などもその魅力を伝えることが大切であると考える。

佐倉学体験講座　こんにゃく作り講座

① 開設趣旨　江戸時代には、将軍家へ献上されていたという佐倉のこんにゃく。地域住民の協力を得てこんにゃくを手作りする。

② 募集対象　成人　１５人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１２月　５日（火） １０：００～１３：００	地域住民の協力を得てこんにゃくを手作りする	牛玖　昌弘

④ 講座を終えて

昨年に続き、こんにゃく作り講座を開催。佐倉＝こんにゃくというイメージはない。が、根郷産こんにゃく芋を使用したこんにゃくが江戸幕府への献上品であったことで、佐倉学講座として募集している。講師が栽培した根郷産のこんにゃく芋は、天候の影響や無農薬で育てているとのことで、思うような芋ができなかったとのこと。今回も山武産のこんにゃく芋を調達してきてくださった。　１テーブル２，３人ずつとなったが、受講生は非常に楽しそうに初めての方とも和気あいあいとした雰囲気で、協力しながら、実習していた。おもえば、昨年まではコロナ禍ということで、マスクは勿論、会話も控えめにしなければならなかった。

しかし、今年はマスクこそしていたが、皆さん楽しそうに会話をしながら調理していた。

講師のほか１人応援要員の方が来ていただいたが、講師と同じように豊富な知識で、受講生の皆さんのお手伝いをしてくださったり、質問に答えたりしていただいた。

アンケート結果では参加者全員から「満足」と回答をいただき、大変好評であった。さらに、「コロナ禍でいろいろな講座が中止され、久々の講座を楽しみに来た」という方や、「初めてお会いした方々となごやかに会話、先生のていねいなご指導に充実した時間を過ごすことができた」とのご意見もいただいた。来年度もぜひ開催したい企画の一つである。

４．団体育成事業

根郷地区社会教育関係団体への支援

根郷地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴う諸問題は複雑かつ深刻化する傾向にあるようだ。こうした問題の解決のため、市民一人一人が問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和５７年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内７地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成会連絡協議会、ＰＴＡ連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市こども支援部こども政策課が行っている。

根郷地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の充実を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

花の応援団

市民ボランティアにより公民館の花壇の手入れを行っています。年間を通し利用者により良い学習環境を提供するために活動しています。園芸活動を通して仲間づくりをし、生きがいのある生活を楽しむこと。また、園芸への知識の向上を図ることなどを目的としています。

日付	4/10	4/28	5/15	6/12	7/10	9/11	10/16	11/13	12/11	1/15	3/11	計
人数	4	6	4	2	5	5	5	6	6	6	6	55

定期利用者懇談会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面にて開催。
９８団体へ書類を郵送

調理室利用者懇談会

① 開催趣旨　調理室美化を保つため、調理室保管棚を利用している定期利用団体の会員に集まってもらい、整理整頓作業を実施する。併せて調理室の利用について、要望や意見を聴取する懇談会を実施する。
② 対象　　利用団体代表　３団体
③ 開催日時　３月２日（土）午前９時３０分～１１時

５．広報事業

根郷公民館だより

○趣旨　公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを案内するために公民館だよりを発行した。

○発行回数　年２回（４月１５日、９月１５日）

○発行部数　４月１５日号：７，７００部　９月１５日号：７，５００部

○配布方法　各公民館・図書館の窓口配架。根郷地区各世帯に新聞折込みにより配布（４月１５日号：７，３００部
９月１５日号：７，２００部）

６．図書事業

図書の貸出・返却

○趣旨　読書活動を支援すると共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、佐倉市関連資料や根郷地区関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

○蔵書数　約３千冊

○月別貸出冊数・返却冊数

月別／区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数（冊）	139	111	142	126	141	105	133	97	81	72	99	112	1,358
返却数（冊）	295	328	264	278	288	283	340	266	282	218	226	246	3,314

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和２９年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、令和６年３月末現在では、佐倉市の総人口１６９，９３０人に対し志津地区の人口が７４，７００人となっており、その割合は４４．０％ であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペデストリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。しかし、市街化区域を一歩外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和４８年１０月に開館し、京成志津駅から徒歩５分の立地にあったものを、老朽化と複合施設化のため、旧志津出張所跡地に「志津市民プラザ」として、平成２７年１１月末に新たにオープンし、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

志津地区のデータ

【令和６年３月末現在】

○志津地区：面　　積　１８．５２㎢	（佐倉市：面　　積　１０３．６９㎢）
○志津地区：住基人口　７４，７００人	（佐倉市：住基人口　１６９，９３０人）
○志津地区：人口密度　４，０３３人／㎢	（佐倉市：人口密度　１，６３８人／㎢）

１．公民館運営計画

運営方針

佐倉市教育ビジョンを基本として、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。

また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

努力目標

○新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、安心して集い学習できる環境を確保していく。
○多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援。
○学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進。
○学習した成果が地域社会に還元され、地域の人材が活用される環境づくりの醸成。
○複合施設（志津市民プラザ）としての機能を効果的に発揮するため調整を行う。

事業内容

１．学級講座の開設

家庭教育と郷土学習を中心とした学級講座の内容充実。

２．グループや団体の育成援助

公民館での学習活動や地域でのグループ活動の意義を理解する自主グループの育成援助。

子ども会をはじめ青少年の健全育成を推進する各種団体への援助と相互連携。

３．広報活動

市民への情報提供や意見交換の場としての公民館だよりの発行と各種情報資料等の収集整備と提供。

４．図書活動

郷土学習などを中心とした図書の整備と館外貸し出し、及び図書館との連携。

５．施設の提供

・開館日時　①日・月曜日、祝日　９時～１７時
②火・水・木・金・土曜日　９時～２１時
＊夜間の使用申込がない場合は１７時で閉館
・休館日　第２・第４月曜日及び年末年始１２月２８日～１月４日

２．公民館利用状況

年度別利用状況

区分	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
利用件数（件）	6,888	2,226	5,343	6,373	6,791
利用人数（人）	85,649	20,144	45,978	63,632	70,208
開館日数（日）	309	235	333	333	334

令和５年度部屋別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
２１０会議室	3,652	2,086	57.1%
２２０会議室	3,652	2,041	55.9%
２０１会議室	3,652	1,811	49.6%
２０２会議室	3,652	1,794	49.1%
調理室	3,652	553	15.1%
３１０会議室	3,652	1,781	48.8%
和室	3,652	915	25.1%
４０１会議室	3,652	1,848	50.6%
アトリエ	3,652	1,799	49.3%
大会議室Ａ	3,652	2,328	63.7%
大会議室Ｂ	3,652	2,553	69.9%

令和５年度

志 津 公 民 館

事業報告

領域		事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育		「今、片づけようと思ったのにからの脱出」	成人　20人	7/4　8人	家庭での片づけに悩まされている子育て世代の方に向けての学習機会を提供する講座とする。
青少年教育	佐倉っ子塾共通講座	志津子ども教室	小学生 8/ 1 午前午後各15人 8/10　20人 12/ 2　10組 2/17　15人	8/ 1　28人 8/10　12人 12/ 2　9人 2/17　8人	体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。 8/ 1　勾玉づくり 8/10　エコ織りでコースター作り 12/ 2　志津地区に伝わる辻ぎり作り親子体験 2/17　工作好きな子集まれ！
		ちょこボラ （公民館でちょこっとボランティア）	中学生 高校生	通年	青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊な人間性を育むことを期待する。
成人教育	しづ市民大学	しづ学入門	成人　30人	5月～12月10回 土曜日 開講式　5/20 閉講式　12/16 講座　5/20 ～12/16	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現を図る。
		健康とくらし	成人　30人	5月～12月10回 火曜日 開講式　5/20 閉講式　12/16 講座　5/20 ～12/16	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、様々な情報を学び、地域への還元を図る。
		みんなの家政学	成人　30人	5月～12月10回 木曜日 開講式　5/20 閉講式　12/16 講座　5/20 ～12/16	日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を生活に関する事を多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを図る。
	佐倉学	佐倉学講座 「志津探訪～秋の野草観察～」	成人　10人	9/28　9人	志津地区の自然を散策しながら、秋の野草や古木等を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について理解を深める。
		佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成人　15人	10/20　13人 10/27　12人 11/ 2　14人 11/10　14人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区について知識を深め、地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。 10/20　基礎知識編 10/27　遺跡の紹介 11/ 2　遺跡の見学 11/10　今後のあり方
		佐倉学入門講座 「佐倉道を歩く」	成人　10人	10/25　10人 11/ 1　9人 11/ 8　8人 11/15　8人 11/22　9人 11/29　9人	佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」や周辺地域の歴史について理解を深めながら郷土への関心を高めていく。 10/25　座学、散策：井野加賀清水 11/ 1　散策：佐倉市民体育館前～臼井 11/ 8　散策：臼井～勝田台 11/15　散策：勝田台～薬園台 11/22　散策：薬園台～西船 11/29　散策：西船～江戸川

令和５年度

志 津 公 民 館

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
	佐倉学講演会 「志津をもっと知ろう」	市内在住・在勤 100人	3/23　85人	志津地区の地名を深く掘り下げて学び、郷土の理解を深める。
	「夏草、秋草の絵を描こう」	小学生以上 (親子等参加可) 10人	9/23　9人	日常に自然と親しむ楽しさを体験し、暮らしに取り入れたい植物や、自然観察の楽しみを学ぶ。
団体育成	志津公民館サークル ふれあいまつり	公民館利用 ｻｰｸﾙ	10/13～10/15 参加25サークル 来館者 523人	志津公民館で日頃活動しているサークルの発表・展示・活動体験を行う。
	サークル運営研修会	公民館利用 サークル 248団体	3/1　66人	サークル活動の意義、運営のあり方を学び、自主性を高め地域活動につなげる。
	調理室サークル懇談会	公民館調理室 利用サークル 8団体	3/1　6人	調理室利用サークルの交流と共通理解を深める
	志津地区社会教育関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。
	公民館園芸ボランティア団体への支援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
広報活動	公民館だより 「しづ」の発行	市内主要施設配布 ホームページに掲載	9/15、3/15 各600部	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。

１．家庭教育事業

子育て世代の整理収納の悩みについて学びの講座

「今、片づけようと思ったのにからの脱出」

①開設趣旨　家庭での片づけに悩まれている子育て世代の方に向けての学習機会を提供する講座とする。

②募集対象　（１）保護者２０名

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習テーマ	学習内容	指導者
1	7月　4日（木）	子育て世代の片づけ講座	家庭での片付けに悩まれている子育て世代の方に向けての学習	整理収納研究所代表 桑原　美栄子

④講座を終えて　当講座は「ご家庭の片づけに悩まされている子育て世代のかた」をターゲットに企画した。家庭での整理収納方法を学びつつ、子育て世代の悩みに寄り添うことで子育て世代を応援し、かつ「家庭と子どもたち」の思いをつなぐ役割を担うものとして考えたものである。

・応募者が３０代から５０代までと幅広い中で、3名１組でグループワークを行った。まずは「整理」「収納」「片付け」「整頓」について、それぞれの違いを明確にするところから始めた（意味合いについては下記のとおり）。

- 「整理」必要・不必要なものを区別して、不必要なものを取り除く
- 「収納」使う場所に使いやすくしまう
- 「片付け」元の位置に戻すこと
- 「整頓」見た目良く整えること

・このとおり、同じと思っていたものが全く違うことが理解できる。今回は「片付け」を中心に行った。

・事前に講師の用意した画像を提示すると「収納」「片付け」前後の違いがよくわかる。

・そのうえで、まず物を減らすために『今』使っているか使っているかを判断基準として、レジュメを使って個人で必要・不要に仕分けた。

・必要・不要に分けた後は、必要な物をどう分けていくかをグループで討議した。具体的には物の色で視覚に訴えるという方法が取られた。

物を目の前に具体的に考えていくことで気づきを得る、という手法はただ言葉で語るよりもわかりやすい。

・子どもと暮らしつつ、今回の知識を家庭で役立ててほしいと思う。

・今回のように公民館側から伝えたい座学の講座と、対象者が参加したい講座に乖離があることは感じているが、すり合わせていくことが今後の課題と思われる。

２．青少年教育事業

佐倉っ子塾　志津子ども教室

①開設趣旨　自分で手作りする機会や体験する機会が少なくなったと言われる現代において、佐倉の地域素材を織り交ぜながら、体験や学習を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む機会とする。

②募集対象　小学生

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習テーマ	学習内容	講師
１	８月　１日（火）	勾玉づくり	本物の縄文土器に触れ、実際に勾玉を作成する	千葉県教育庁教育振興部文化財課 西村　壇
２	８月１０日（木）	エコ織りでコースター作り	古布からコースターを作る	千葉県地球温暖化防止活動推進委員 廣田　由紀恵
３	１２月　２日（土）	佐倉っ子塾 志津地区に伝わる辻ぎり作り親子体験	佐倉の地域素材を織り交ぜながら、辻ぎり体験を行う	志津歴史同好会
４	２月１７日（土）	工作好きな子集まれ！	段ボール ダンボール、折り紙、毛糸などの材料を使って工作する。	ボランティア 黒田　芳子　他

④講座を終えて　佐倉市公式ホームページ、佐倉市公式LINEでの募集を行った。子ども教室では工作が好きな傾向があり、子どもたちが楽しめる企画として、夏の工作教室は、２種類の工作講座を行った。自分で作った勾玉、コースターの作品は、子供たちが持ち帰って自慢できるようなものを作った。夏休みの思い出の品にもなり、これらの工作教室は、大変盛り上がっていた。冬の工作教室は、ワラで作る志津地区に伝わる辻ぎり作りとダンボールや折紙、毛糸など身近な材料を工夫して作る工作教室を行った。辻ぎり作りは、工作の面だけでなく、郷土の歴史を体験する側面もあり、志津地区の歴史を学ぶ方の協力を得て実施する方向性で進めている。工作好きな子集まれ講座では、事業に協力していただけるボランティアスタッフとして地域の方が子どもたちに工作を教えた。ボランティアスタッフの協力してもらうことで、子どもたちにより良い体験を提供していきたい。

３．成人教育事業

しづ市民大学（第３４期）

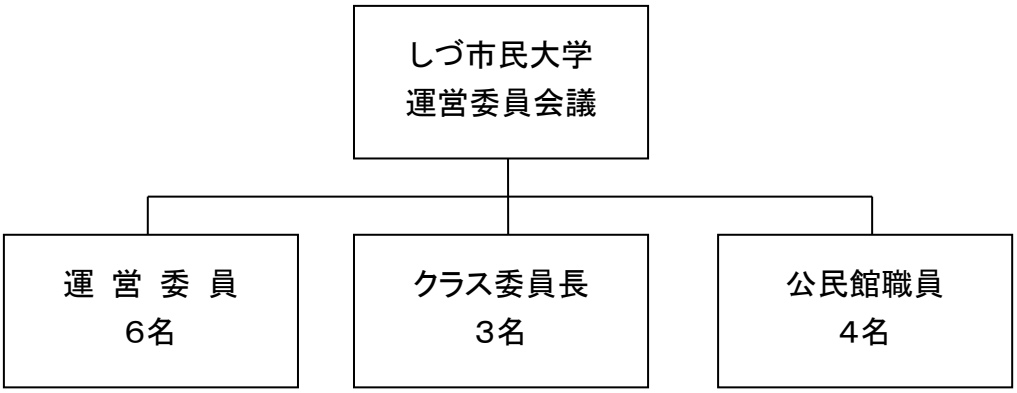
①開設趣旨　志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。そこで、開設にあたり事業の視点を次の２点とし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。

（１）自主的な学習活動の促進
（個人的な参加型の学習から地域への展開）
（２）生涯学習を進めるまちづくり
（地域社会の活性化）

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

【しづ市民大学運営関係図】



②募集対象、募集人員

・しづ学入門　　成人　　３０人
・健康とくらし　　成人　　３０人
・みんなの家政学　　成人　　３０人

③学習目標

・しづ学入門　志津地域や佐倉の歴史・文化・自然等について学習する。自らの学び経験を通して地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目指す。

・健康とくらし　生活様式が変化する中で心身の健康保持と増進を図り、地域の一人ひとりが自らの生活を見直すことで、心身ともに豊かで充実した人生を送ることを目的とし、「健康的な暮らし」「健やかな日々」を実現するための様々な情報を学ぶことにより、地域への還元を目指す。

・みんなの家政学　日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を中心に、生活にまつわる食事や家事、家庭の管理など、生活に関する事を多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを図る。

④プログラム

しづ市民大学 「 しづ学入門 」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月20日(土) 9:15～12:00	開講式 記念講演「市民大学と地域づくり」 【志津公民館 大会議室AB】	元佐倉市職員 石井 肇
2	6月 3日(土) 9:30～12:30	１年間を充実した時間にするための仲間づくり ホームルーム 【志津公民館 大会議室A 】	日本レクリエーション協会 田端 知恵子
3	7月1日(土) 9:30～12:00	志津の話―いまむかし― 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市史編さん委員 内田 儀久
4	8月5日(土) 9:30～12:00	印旛沼の変遷 湖沼の生態系 【志津公民館 大会議室A】	千葉県内水面水産研究所 職員
5	8月19日(土) 9:30～12:00	絵図から見る志津地区のあゆみ 【志津公民館 大会議室A 】	酒々井町文化財審議会 高橋 健一
6	9月16日(土) 10:00～12:00	絵図から見る佐倉城下町 【志津公民館 大会議室A 】	國學院大學准教授 川名 禎
7	11月25日(土) 9:30～12:00	井野長割遺跡について学ぶ 【志津公民館 大会議室A 】	佐倉市教育委員会 文化課
8	12月2日(土) 9:30～12:00	志津地区散策 【志津北部地域現地集合 】	NPO法人佐倉一里塚 ガイドボランティア
9	12月9日(土) 9:30～12:00	近代史料からみた佐倉の人々の生活 【志津公民館 大会議室A 】	佐倉市史編さん委員 中澤 惠子
10	12月16日(土) 9:30～13:00	人と出会い、地域でつながる地域食堂の活動を通して見えたもの 閉講式 【志津公民館 大会議室AB】	地域食堂ひだまりのたね 代表 唯 愛

しづ市民大学 「 健康とくらし 」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」　　【会場】	講　　師
1	5月20日(土) 9:15～12:00	開講式 市民大学と地域づくり 【志津公民館 大会議室AB】	元佐倉市職員 石井　肇
2	6月 6日(火) 9:30～12:30	１年間を充実した時間にするための仲間づくり　ホームルーム 【志津公民館 大会議室A 】	日本レクリエーション協会 田端　知恵子
3	6月27日(火) 9:30～12:00	アンガーマネジメントを身に着ける 【志津公民館 大会議室A 】	成田富里徳洲会病院　公認心理士/臨床・学校心理士　鈴木みのり
4	7月11日(火) 9:30～12:00	「ボッチャ」に挑戦 【志津公民館 大会議室AB】	元佐倉市職員 斉藤　英晴
5	7月25日(火) 9:30～12:00	口から始まる健康習慣、健康体操　他 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市健康推進課 職員
6	8月8日(火) 9:30～12:00	避難所運営ゲーム 【志津公民館 大会議室A 】	佐倉市危機管理課　職員
7	9月26日(火) 9:30～12:00	過去の災害から学ぶ 【志津公民館 大会議室A】	日本赤十字社千葉県支部　職員
8	10月24日(火) 9:30～12:00	放っておくと怖い高血圧 【志津公民館 大会議室A 】	成田富里徳洲会病院 管理栄養士 生駒　真理子
9	11月14日(火) 9:30～12:00	より自然な睡眠が得られるコツ 【志津公民館 大会議室A 】	成田赤十字病院　第一精神神経科部長 齋賀　孝久
10	12月16日(土) 9:30～13:00	人と出会い、地域でつながる地域食堂の活動を通して見えたもの 閉講式 【志津公民館 大会議室AB】	地域食堂ひだまりのたね 代表　唯　愛

しづ市民大学 「 みんなの家政学 」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月20日(土) 9:15～12:00	開講式 記念講演「市民大学と地域づくり」 【志津公民館 大会議室AB】	元佐倉市職員 石井 肇
2	6月 8日(木) 9:30～12:30	レクリエーション活動を通して仲間づくり 【志津公民館 大会議室A 】	日本レクリエーション協会 田端 知恵子
3	6月22日(木) 9:30～12:00	年齢に応じた食事術 【志津公民館 大会議室AB】	栄養士 六﨑 美知代
4	7月13日(木) 9:30～12:00	調理器具と食事を彩るテーブルウエア活用 【志津公民館 大会議室A 】	習志野調理師専門学校 校長 山崎 憲
5	8月 3日(木) 9:30～12:00	食中毒を予防しよう 【志津公民館 調理室、201.202】	印旛保健所 職員
6	8月31日(木) 10:00～12:00	今日から私も洗濯博士 【志津公民館 大会議室A 】	和洋女子大学 服飾造形学科助教 桑原 里実
7	9月14日(木) 9:30～12:00	セカンドライフの整理収納 【志津公民館 大会議室A 】	整理収納研究所 代表 桑原 美栄子
8	11月 9日(木) 9:30～12:00	地域と家庭での防災を考えよう 【志津公民館 大会議室A 】	佐倉市危機管理課 職員
9	11月16日(木) 9:30～12:00	わたしと家族の「そうぞく」 【志津公民館 大会議室A 】	明治安田生命保険相互会社 派遣講師
10	12月16日(土) 9:30～13:00	人と出会い、地域でつながる地域食堂の活動を通して見えたもの 閉講式 【志津公民館 大会議室AB】	地域食堂ひだまりのたね 代表 唯 愛

⑤講座を終えて　「しづ学入門」　自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目的に、志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習した。
通年ほぼ座学のしづ学入門コースであるが、その中でも、唯一の外の学習である１１月１１日の志津北部地区の散策は受講生が楽しみにしていた講義である。昨年は、熱中症の危険があることから屋外での散策を中止したが、今年度は天気にも恵まれ実施することができた。また、１０回の講義では少ないとの意見もあり、来年度は講座が２回増えることから講座内容を充実させたい。

「健康とくらし」　自分らしく健康で、豊かな生活を送るためのきっかけづくりとするため、学びをとおしてこころとからだの健康を保つことを目的に学習した。本講座は、日々の暮らしの中で関心の深いテーマが主体となっており、健康にまつわる講義や体操の実技においては熱心に聴く姿が見られた。全体を通して、レクリエーションやワークショップが多い講座となるが、来年度においても学ぶ楽しみと活動するよろこびが感じられる学習の場に応えられるよう計画していきたい。

「みんなの家政学」　日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を中心に、生活にまつわる食事や家事、家計の管理など、多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを目的に学習した。さまざまな情報が簡単に手に入る世の中だからこそ、正しく役立つものを見極める力を養うことが大切だということが理解でしたとの感想が多かった。

佐倉学講演会「志津をもっと知ろう」
①開設趣旨　本講座は「志津の歴史について学んでみたい」という方々を対象に「佐　倉学」の普及を図りながら郷土愛を育み、郷土の関心を高め、郷土の創生に繋げることを目的とする。
②募集対象　成人　１００名
③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	３月２３日（木）	志津地区の地名のいわれを深く掘り下げて学び、郷土の理解を深める	佐倉地名研究会 田中　征志

④講座を終えて　今回は、長らく佐倉市全域の地名を元に歴史を研究されている「佐倉地名研究会」の田中征志氏を講師にお招きした。
　昨年上梓された同会の会誌では臼井・志津地区を取り扱っていたこともあり、そ中から志津地区の地名に絞って講義をしていただいた。
「地名は土地の特徴と歴史を含んだ文化であり、大字小字にはそこに暮らす人々の『思い』『願い』が詰まっている」とは同会の弁であるが、本講義でもレジュメとパワーポイントで地図の画像を併用しながら、その地名である由来を、あるいは志津地区のあらましを、現在の志津地区や志津村の頃または旧石器時代までさかのぼり土地の歴史を説いた。
アンケートでは「やや満足」の声が多く、「満足」が少なかった。これは講義の内容よりも、予定時間より３０分超過したことがこの評価につながったようである
　講義時間の超過は講師との綿密な打ち合わせを行えば回避できたものであった。時間の配分が見合っているかを漫然と講師任せにした結果、内容の良さを削いでしまったことは反省し、次回以降の課題としたい。

佐倉学入門講座　「井野長割遺跡を学ぶ」

①開設趣旨　井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村の姿や生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。

②募集対象　成人　１５人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	１０月２０日（金）	考古学入門　佐倉の縄文時代	文化課職員 小倉　和重
2	１０月２７日（金）	井野長割遺跡とは　遺跡概要紹介	文化課職員 小倉　和重
3	１１月　２日（金）	遺跡探訪し知識を深める （現地見学）	文化課職員 小倉　和重
4	１１月１０日（金）	遺跡の今後について	文化課職員 松田　富美子

④講座を終えて　「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約４０００～３０００年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成１７年３月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し、新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。第４回目では、今後のあり方について学習し、講師の説明を聞き、今後の保存や活用について質問や意見を交換しあうなど活発な学習の場となった。

アンケートでは、当時の人々の生活状況を思いおこし感銘を受けた、どのような「心」をもって生活していたのか強く感じた、などの感想があった。参加者全員が講座内容に満足という結果を得た。

佐倉学入門講座　佐倉道を歩く

①開設趣旨　佐倉城及び佐倉城下町造成より４００年が経過し、かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」や城下町佐倉の周辺地域の歴史について理解を深め、街道に関する醍醐味を感じてもらいながら郷土への関心を高めていく。

また、佐倉城址から江戸川までを周辺の史跡も含めて全５回に分けて学び、地域で活躍できる人材を育成する。

②募集対象　成人　１０人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	１０月２５日（水）	佐倉道を歩く（序論）	佐倉道を歩く会
2	１１月　１日（水）	【１区】京成佐倉駅～臼井駅	
3	１１月　８日（水）	【２区】臼井駅～勝田台駅	
4	１１月１５日（水）	【３区】勝田台駅～薬円台駅	
5	１１月２２日（水）	【４区】薬円台駅～京成西船駅	
6	１１月２９日（水）	【５区】京成西船駅～江戸川駅	

④講座を終えて　佐倉道に関して街道の史跡についての座学と散策として実施した。初回は、「佐倉道に関しての総論」として佐倉道の全体像等の講義を行い、２回目以降は座学で学んだ場所を実際に散策した。散策は現地集合、現地解散の形をとり、街道沿いの史跡散策を実施した。散策は受講生同士が学びや意見交換を啓発することを意図した。散策中は、周囲に注意し事故などにも配慮し効率的に学習をすすめることができた。今回の実施は、平成３０年度の受講生が講師として実施する３回目の講座であり、座学から散策までの講座終了まで、内容・時間管理ともに創意工夫され、受講者から概ね好評な結果であった。回数を重ねるごとに歴史散策の楽しさを発見できたと感想をもらい、佐倉を知ることのできる佐倉学講座としての目的も達成できたのではないかと考える。

佐倉学講座　志津探訪～秋の野草観察～

①開設趣旨　志津地区の自然を散策しながら、秋の野草や古木等を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について理解を深める。

②募集対象　成人　１０人

②　プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	９月２８日（木）	佐倉里山自然公園の野草・樹木を観察する	千葉県自然観察指導員・佐倉野草会会長　近藤維久子

④講座を終えて　本講座は、自然を身近に感じることで人も自然の中に生かされている存在であり、すべての生命が自然の恩恵を受けながら共生して存在していることを学ぶ講座である。志津地区には、豊かな自然を親しむ佐倉里山自然公園がある。今後も佐倉里山自然公園の植物の生長を間近でみる体験を通して、植物への興味や関心を持つ機会を提供していきたい。

夏草、秋草の絵を描こう

①開設趣旨　季節の野草を絵に描く体験を楽しみ、植物や自然観察の楽しみ方を学ぶ。

②募集対象　成人　１０人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	９月２３日（土）	水彩画で夏草、秋草の絵を描くワークショップ	イラストレーター・園芸家　大野　八生

④講座を終えて　小学生以上を対象として募集した。小学生から高齢者まで一緒に絵を描いて楽しめる講座が提供できた。講座中は、同じ机になった参加者が互いに絵の描き方を見たり、感想を伝えたりして、ほのぼのとした雰囲気の中で交流も図れ、学びあうことができた。参加者には、事前に準備した道具（拡大鏡・写真立てをフレームにして、自分が選んだ草をよく観察し描いていた。参加者アンケートでは、夢中になって描いたことが楽しいなど日常生活の中で植物に触れ合う楽しさと自分時間を楽しむことができることに気づいたことに満足していたことがわかった。

４.団体育成事業

サークル運営研修会

①開設趣旨　社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。

②募集対象　令和５年度に利用実績のある志津公民館利用サークル
（概ね２ヶ月に１回程度利用した２４８サークル）

③学習内容
・志津公民館の使用について
・サークル活動の PR 方法について
（サークル掲示板・会員募集ポスター等の活用等）
・その他

④今後に向けて　各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指し、年１回程度実施している。
今回は公民館の施設・設備・使用方法を再確認したあと、活動を続けていくためにいかに会員を募集するか、方法として掲示板等の活用を説明した。
また、以前より「隣室の音楽の音で、サークル活動に支障がある」と意見のあった２０１・２０２会議室について、音を扱うサークルについてはなるべく他の会議室での活動を検討してほしいとお願いした。
多くの住民が集う公民館ゆえに、利用者と利用者の連携を図っていく必要がある。お互いに配慮しつつ、気持ちよく活動を行ってほしい。

調理室利用サークル懇談会

①開設趣旨　志津公民館を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。

②募集対象　令和５年度に調理室利用実績のある志津公民館利用サークル
（概ね２ヶ月に１回程度利用した８サークル）

③学習内容
・懇談会
・清掃作業
・質疑応答

④今後に向けて　新型コロナウィルスもある程度収束したが、調理室の利用サークル数はコロナ禍以前の水準には回復していない。令和元年度には、調理室利用サークルが多く半々に分けて年２回行っていた当懇談会も、令和５年度は年１回６サークル６名での開催となった。この人数では清掃作業が難しいため、この日は備品や調理用具をどう片づけるかを再点検する機会とした。
質疑応答では衛生面や掃除用品の確認、調理器具の買い替え要望等や、サークル同士の意見交換も活発に行われ、少人数ながらもより良い調理室運営の手ごたえを感じさせるものとなった。
次年度懇談会はさらに対象サークルが増えることも考えられ、今年度以上に様々な意見が出るものと思われるが、これからも利用サークルとともに調理室運営に取り組んでいきたい。

志津地区社会教育関係団体への援助

①概要　志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成１０年度から志津子連独自の事業は実施していないが､千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか､行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。

②加入団体　単位子ども会　８団体

③活動内容

・活動支援相談

・連絡調整

公民館園芸ボランティアへの支援

①概要　令和３年度末で志津園芸サークル「花の輪」が卒業し、令和４年度からは個人ボランティア８名が活動を行っている。通年、敷地内の花壇等の手入れをお願いし、公民館はそれらにおける園芸活動の支援をしている。

②主な活動

・公民館敷地内の花壇の手入れ

・花についての自主学習

５．広報・展示事業

志津公民館だより「しづ」の発行

①ねらい　公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。
②発行回数　年２回（９月・３月）
③発行部数　９月・３月：各回６００部
④配布方法　市内公民館、図書館及び志津コミュニティーセンターに配架
⑤内容

第２５４号 （令和５年９月１５日）	第２５５号 （令和６年３月１５日）
●募集案内（主催事業） ・佐倉学入門講座 「佐倉道を歩く」 ※申込方法 ちば電子申請サービス及び往復はがき ・佐倉学入門講座 井野長割遺跡を学ぶ ※申込方法 往復はがき ●お知らせ ・サークルふれあいまつり	●募集案内（主催事業） ・しづ市民大学 ※申込方法 ちば電子申請サービス及び往復はがき

⑥今後に向けて　市内公共施設への配架、ホームページ掲載だけでは、年齢層によっては情報が行き届かない懸念もある。内容の充実を図り、手に取ってもらえる紙面を作り、配架を含めてより有効な方法を考える。

臼井公民館

臼井・千代田地区の概要

〇臼井地区

臼井地区は、北に印旛沼、東に鹿島川、西に手繰川というように三方を沼と河川に囲まれている。

地区の歩みでみると、鎌倉時代に桓武平氏一族の臼井氏が開発領主として臼井地方に拠って以後発展し、江戸時代中期以降は成田街道の宿場臼井として賑わった。

昭和５３年には土地区画整理事業施行地区内に京成臼井駅が移転し、ここを中心にショッピングセンターや商店などが集積した地区が形成され、臼井地区の核となっている。

また、街の賑わいに水と緑と歴史に恵まれた環境を活かして、「臼井ふるさとにぎわい祭り」や「佐倉チューリップ・フェスタ」などのイベントが開かれている。臼井公民館に併設されている佐倉市民音楽ホールでは、そのすばらしい響きで定評のあるホールの特性を生かし、クラッシックを中心とした国内外の著名なアーティストのコンサートや演劇などの他、様々なイベントで市民のみならず、市外からのお客様を楽しませている。

〇千代田地区

千代田地区は、佐倉市誕生後に四街道市（当時四街道町）から編入した５地区から成っている。

大半は農業地域であったが、北部の生谷・飯重・吉見地区には、大手開発業者による大規模宅地開発（染井野）に伴い、公園が整備され、小中学校が相次いで開校するなど、公共施設も充実している。

地区全体としては、都市形成が進む北部地域と従来からの農業地域に二分しつつあるといえる。

古くからある団地内では自治会・文化活動、農業地区では地域ぐるみの農業と、コミュニティ活動がさかんである。この活動の輪は、住民の交流としていざという時に助け合う「防災姉妹地区制度」の調印市内第一号という形でも表れている。

臼井・千代田地区のデータ

【令和６年３月末現在】

〇臼井・千代田地区：面　　積　約１８．６㎢　　（佐倉市：面　　積　１０３．６９㎢）

〇臼井・千代田地区：住基人口　３９，７７７人　（佐倉市：住基人口　１６９，９３０人）

〇臼井・千代田地区：人口密度　２，１３８人／㎢（佐倉市：人口密度　１，６３８人/㎢）

１．公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症の発生状況を注視しつつ、施設利用者等に対しては健康と安全を優先して、自主的な感染症対策に取り組むよう促す。

運営方針

地域の実情や市民生活の変化に即した学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりを目指した事業を進める。これとともに、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を援助することで、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心的な役割を果たす施設となるように努める。

努力目標

○より多くの市民に親しまれ活用される公民館として、その学習環境づくりに努める。
○学級・講座の精選と学習内容の充実に努める。
○公民館に関係する各種団体との連携を図り、活動の支援に努める。
○複合施設（佐倉市民音楽ホール等）の持つ機能をより効果的に発揮させるよう努める。

施設利用

開館日・開館時間
①月・火・木・日曜日、祝日　９時～１７時
②水・金・土曜日　　９時～２１時
※夜間の利用予約が無い場合は１７時で閉館
（図書室は第１火曜日を除く火～日曜日の９時～１７時に開館する。なお、月曜日、第１火曜日が祝日に当たる場合は開館し、翌日以降の平日に休館する。）

休館日　第２・第４月曜日、年末年始１２月２８日～１月４日

利用区分　１時間単位（９時～２１時）
※利用の受付は原則として、利用日の２か月前の月の２日（１月のみ６日）から、月２回分の予約を受け付ける。３回以上の利用は利用日の前々月末日から受け付ける。

２．公民館利用状況

年度別利用状況

区　分	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
利用件数（件）	2,072	753	1,547	1,866	1,912
利用人数（人）	36,492	7,095	15,596	21,708	25,170
開館日数（日）	309	229	331	330	331

令和５年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼動率
集会室	3,224	1,499	46.5%
学習室	3,224	1,524	47.3%
創作室	3,224	1,424	44.2%
展示室	3,224	1,696	52.6%
和室	3,224	975	30.2%

臼 井 公 民 館

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
家庭教育	みんなで子育て！ 赤ちゃんひろば	乳幼児と 保護者 15組	6/29　6人 9/29　6人 11/30　17人	乳幼児とその保護者を対象として絵本の読み聞かせやわらべうたを実演、体験してもらうことで、家庭内での親子のコミュニケーション手段の一つとして促進を図った。
	ストリートオルガンコンサート	幼児～成人 15人	① 6/18 123人 ② 7/15 17人 ③ 8/ 3 25人 ④ 9/17 8人 ⑤10/ 1 17人 ⑥11/11 30人 ⑦12/10 45人 ⑧ 1/14 18人 ⑨ 2/18 35人 ⑩ 2/23 15人 ⑪ 3/24 11人	佐倉市民音楽ホールが所有する３台のストリートオルガンによるミニコンサートを開催した。
青少年教育	水辺観察会 「こども水辺 探検隊」	中学生以下と 保護者 20人	10/ 7 1回目　10人 2回目　15人 3回目　7人	環境意識を育む「水辺の自然観察会」を実施し、水辺環境を身近なものと捉え、自然を大切にする心を養った。（生活環境課共催事業）
	バックステージ・ツアー	小学生と保護者　6組　18人	8/ 3　4組　7人	佐倉市民音楽ホールの普段見ることのできない舞台裏の見学と、演奏会を支えている音響設備・照明設備の操作などを体験し、舞台運営・管理の仕事に対する理解を深めた。
	星空観測教室	小学生 15人	8/28　41人	星空についての解説やプラネタリウム、ＤＶＤを使い星座について学ぶことで、星空の世界に親しんでもらうことができた。（草ぶえの丘共催事業）
	小６科学実験室	小学校6年生 10人	8/20　4人	学校ではなかなか行わない実験や工作作業を通して「慣性の法則」「凝結核と露点」「浮力」「屈折」などといった、中学校で学習する理科科学の原理・法則について学習した。
成人教育（佐倉学）	佐倉学入門講座 「臼井の話ー小さな歴史を拾い集めるー」	成人　40人	11/15　38人	土地区画整理事業前から現代までについて、様々な写真で臼井地区の移り変わりや、臼井地区にかかわる行事、印旛沼の様子などについて学習した。
成人教育	ちょっといいとこ見て歩き	成人　15人	11/18　10人	古い地図や先人がまとめた資料を手掛かりに、臼井宿界隈を歩いて巡った。坂の傾斜からまちの広がりや歴史まで、自らの足で感じることができた。

臼 井 公 民 館

領域	事 業 名	対　　象	期間・回数	内　　容
コミュニティ	コミュニティ カレッジさくら	18歳以上 30人	2学次 14講座　3人	平成２５年度に開設した２年制の市民大学。地域を見つめ、実践活動を通してまちづくりに取り組む人材の育成を目的とし、年間１８日学習した。
	地域学びあい講座 ①「地域の自然・印旛沼について」 ②『臼井町名所旧蹟史』を読む	成人　40人	①12/10　17人 ② 2/ 6　32人	地域に関する歴史・自然・文化について学びあい地域に対するより深い知識を涵養した。 第１回は、「印旛沼の魅力と価値」を浄化と環境整備を実践する講師から学んだ。 第２回は、昭和２７年に出版された『臼井町名所旧蹟史』を基に郷土の歴史を学んだ。
団体育成	地域団体への支援	該当団体	通年	「臼井・王子台・うすい東地区社会福祉協議会」、「千代田地区住民会議」、「地区単位子ども会」等、各種団体の活動を支援した。
広報・展示活動	臼井公民館だより	臼井・千代田地区	11/15　320部	公民館の事業紹介や募集、公民館の利用方法などを案内した。
	まちづくり資料室の展示	小学生～成人	通年	臼井地区に関する歴史や遺跡などについて理解と関心を深める資料展示を行った。
	サークル展示 活動支援	市内団体	通年	市内の美術サークル等に対して展示室を１週間単位で提供し、各種展示会を開催することで、地域文化の向上に寄与した。

１．家庭教育事業

みんなで子育て！赤ちゃんひろば

①開設趣旨　絵本の読み聞かせやわらべ歌を実演し、体験することで親子のコミュニケーション手段の一つとして家庭内における実践を促進する。

②募集対象　乳幼児と保護者　１５組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	６月２９日（木） １０：００～１１：３０	絵本の読み聞かせやわらべ歌の紹介	子育て支援・読書推進の活動者
2	９月２９日（金） １０：００～１１：３０		
3	１１月３０日（木） １０：００～１１：３０		

④講座を終えて　絵本の読み聞かせやわらべ歌を実演し、体験をしてもらうことで親子のコミュニケーション手段の一つとして学んでいただくことができた。また、参加者同士での交流機会の場ともなった。

ストリートオルガンコンサート

①開設趣旨　佐倉市民音楽ホールが所有する３台のストリートオルガンによるミニコンサートを開催する。演奏後には、ハンドルを回す演奏体験も行う（佐倉市民音楽ホール共催事業）。

②募集対象　幼児～成人　１５人

③プログラム

実施日時（曜日）	サーター	サクラ	ヴェーニンゲン
６月１８日（日） １３：００～ １３：３０	・ドナウ川のさざ波 ・アムステルダムのチューリップ	・My Fair Lady ・ランバダ	・ミュージカルメドレー ・パリの屋根の下
７月１５日（土） １１：３０～ １２：００	・メロディア ・チェリオ	・サマータイム ・おどるポンポコリン	・Chanson’dAmour ・Tea for two
８月 ３日（木） １１：２０～ １１：５０	・デェイジィーベル ・Alte Kameraden	・カントリーロード ・世界に一つだけの花	・ミッフィー ・アンパンマン マーチ
９月１７日（日） １３：００～ １３：３０	・Jordan Potpourri ・Allemaal op de Bok	・サイモン&ガーファンクル メドレー ・セレナーデ１３	・ストリートオルガン ソング ・おじいさんの古時計
１０月 １日（日） １３：００～ １３：３０	・南国のバラ ・Rosammunde	・富士山 ・われは海の子 ・宇宙戦艦ヤマト	・サザエさん ・笛時計の音楽
１１月１１日（土） １２：２０～ １２：４５	（AllサーターDay） ・Ach,Was ik Maar…　・モナリザ ・レンツサーカスの想い出　・舟漕ぎのワルツ		
１２月１０日（日） １２：１５～ １２：４５	・トリッチ・トラッチ・ポルカ ・ケ・セラ・セラ	・クリスマスソング ・Let It Be	・カプリ島 ・クリスマスソング
１月１４日（日） １２：００～ １２：２０	モーター調整	・夜明けの道 ・富士山 ・われは海の子 ・パブモーツァルト	・グレンミラーメドレー ・サンバルンバ ・ドラえもん
２月１８日（日） １１：４０～ １２：１０	・ラデッキー行進曲 ・船出のマーチ	・愛は勝つ ・オペレッタ・メドレー	・ミュージカル・メドレー ・君をのせて ・ピタゴラスイッチ
２月２３日 （金・祝） １２：１５～ １３：００	・私の美しい鼻はどこに ・Alte Kameraden	・風車のそばで ・さくら さくら 他	・ピタゴラスイッチ ・大きな古時計 ・ドラえもん
３月２４日（日） １３：００～ １３：３０	・カロリーンチェ ・桜の花の咲くころ	・３つの木靴の踊り ・Stand By Me	・結婚行進曲 ・サイクリングマーチ

④講座を終えて　幕末の佐倉藩では、オランダ学問を中心とした洋学が隆盛し、近代日本の先駆者を多く輩出した。その後１世紀半を経て、国際化の流れの中で佐倉市とオランダの交流が始まり、オランダ大使館などの協力により佐倉市民音楽ホールには３台のストリートオルガンが揃い、毎月演奏会が開かれ市民に親しまれてきた。この演奏会にオルガンの由来や構造の説明、実際にハンドルを操作し演奏する体験講座を、佐倉市民音楽ホールの資産を活用した共催事業として実施した。今年度の累計参加者は３４４人。

２．青少年教育事業

水辺観察会　「こども水辺探検隊」

①開設趣旨　市内の水辺環境について、野外観察を実施することで、子どもたちが自然に親しみ自然を大切にする心を養うとともに、自然環境の重要性を認識してもらう（生活環境課共催事業）。

②募集対象　中学生以下と保護者　２０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１０月　７日（土） ９：００～１５：３０	・印旛沼の魚類等採集観察	（財）千葉県環境財団職員

④講座を終えて　印旛沼の生き物の捕獲や植物の観察を行い、自然環境等を考えるきっかけとなった。また、自然を大切にする心を養うことにつながる感受性を育む効果もあったと思われる。

バックステージ・ツアー

①開設趣旨　佐倉市民音楽ホールの普段見ることのできない舞台裏の見学と、演奏会などの舞台運営に欠かせない音響、照明の操作などを体験し、舞台に関わる仕事に対する理解を深める。（佐倉市民音楽ホール共催事業）

②募集対象　小学生と保護者　６組　１８人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月　３日（木） １０：００～１２：００	佐倉市民音楽ホールの施設をグループごとに見学し、実際にホール・スタッフの仕事の流れを体験してもらう。	佐倉市民音楽ホール職員

④講座を終えて　この講座は、佐倉市民音楽ホールの普段見ることのできない舞台裏にスポットを当て、奈落などのエリアを見学するとともに、舞台芸術のステージを陰で支える音響・照明などの裏方作業を体験し、「様々な役割が組織的かつ統一的に関わりあって完成する総合芸術」を担う仕事を身近に感じることができた。佐倉市民音楽ホールと併設されている臼井公民館ならではの講座。

星空観測教室

①開設趣旨　夜空を見上げ、星や星座を探すことを通して、星空の世界に親しんでもらい、理科教育の興味関心を引き上げることを目的とする（佐倉草ぶえの丘共催事業）。

②募集対象　小学生　１５人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月２８日（月） １９：００～２０：３０	夏の星空についての解説と望遠鏡で月や惑星の観測をする。	佐倉市役所職員

④講座を終えて　当日は天候不良のため室内でＤＶＤ、プラネタリウムを使用して季節の星座の見つけ方などを学ぶことで、星空の世界に親しんでもらうことができた。

小６科学実験室

①開設趣旨　「子どもの理科離れ」が叫ばれるなか、学校ではなかなか行わない種類の実験や簡単な工作作業を通して理科科学に興味をもってもらい、また、中学校理科学習への関心を深めることを目的とする。

②募集対象　小学校６年生　１０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	８月２０日（日） ９：３０～１２：００	エンピツを倒さず抜こう！ 本当に見てる？ 雲をつくろう！ あなたもこれで超能力者！ 遠くに転がした缶が… 理科に関するお話アレコレ	理科マスター 根本　栄治

④講座を終えて　「慣性の法則」「凝結核と露点」「浮力」など、中学校で学習する理科科学の原理・法則について様々な実験を通して学習した。次年度以降も小学６年生を対象に継続して実施したいと考えている講座である。

３．成人教育事業

佐倉学入門講座　「臼井の話－小さな歴史を拾い集めるー」

①開設趣旨　本講座は、臼井地区の歴史自然について学び、郷土の魅力に触れることを目的とする。

②募集対象　　成人　４０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１１月１５日（水） １０：００～１２：００	様々な写真や資料をプロジェクターで投影しながら、近現代の臼井地区について学ぶ。	郷土史家 内田　儀久

④講座を終えて　大規模土地区画整理事業以前の臼井地区の風景の写真から、第１回の花火大会のポスターなど、様々な写真や資料をプロジェクターで投影しながら、タイトルどおり臼井地区の小さな歴史を拾い集めるような形で学習した。受講者からは「満足した」という声が多く、地域の歴史への関心の高さが伺えた。

ちょっといいとこ見て歩き

①開設趣旨　佐倉市とその近隣地域の見学学習を通し、歴史・文化・自然や環境の変化について学び理解を深める。

②募集対象　成人　１５人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１１月１８日（土） ９：４５～１２：００	平成４年に地元歴史愛好家により刊行された「臼井宿回顧」を手掛かりに、「臼井の古道」を歩く	文化課　学芸員 宍戸　信

④講座を終えて　「臼井の古道を歩く」では、明治期に作成された古地図と現在の地図を見比べながら往時の姿に思いをはせながら古道を歩くことに参加者の多くが満足された。古地図では主要な通りとして記されているが現在の地図上ではかろうじて線が引かれ、現地は踏み跡も僅かなところもあり、現地をよく知る講師と伴に「臼井宿回顧」の活用が必須となる講座であった。

４．コミュニティ事業

「コミュニティ事業」は、自らの居住地域での人間関係を見直し、地域で共に生活し、見守り、支え合い、日常生活で声を掛け合いながら、地域づくり（防災・防犯、少子高齢化、まちの活性化等のまちづくり）に参加する人材の育成を図るために開設された。

市民協働の取り組みの一つとして、学習者一人ひとりの持つ、技術・知識・能力を高め、次世代に継承してもらうだけではなく、地域リーダーとして多種多様な取り組みを、佐倉の様々な地域において実践いただくことにより、社会の人と人との絆を深め、お互いを支え合う地域社会の形成を目指す。

『コミュニティカレッジさくら（２年制)』

・１年次：基礎講座

活力ある地域社会とするため、地域課題の発掘や、多種多様な人々が集う場での合意形成能力を培うと共に、家庭・家族との地域的役割、乳幼児や小中学生を取り巻く社会環境や課題等について学ぶ。

・２年次：実践講座

地域で主体的に課題解決に向けた実践活動を行うため、地域の各種資源（人材等）を活かした、様々な地域活動例、具体的な実践手法等、共に生き、支え合う地域づくりについて学ぶ。

コミュニティカレッジさくら

〇特色

・地域で共に生活し、支え合い、地域づくりに参加する地域人材の育成を図るための学習の場。学んだ成果を生かし、地域の様々な場面で多種多様な活動を実施し、元気で住み良い、活力ある佐倉市の地域づくりやまちおこしに貢献することを期待する。

〇概要

・受講資格　：佐倉市内在住・在勤の１８歳以上の方
　　設置目的に共感と賛同をし、２年間通学できる方
・定　　員　：３０人
・費　　用　：無料（資料代等実費徴収）
・開催日時　：５月～２月の金曜　おおむね月２日程度　１８日実施予定
　　講義時間　午前１０時～１２時　　午後１時～３時

地域学びあい講座

①開設趣旨　市民自らが居住する地域の歴史・自然・文化を学び地域の豊かさや大切さを理解し、地域への愛着を涵養する。

②募集対象　成人　各４０人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	１２月１０日（日） １０：００～１２：００	「印旛沼の魅力と価値」を浄化と環境整備を実践する講師から学ぶ。	ＮＰＯいんば事務局長　園原　悦子
2	２月　６日（火） １０：００～１２：００	昭和２７年に出版された、『臼井町名所旧蹟史』を基に当時の郷土史観を知ると共に、近年の史料から郷土の歴史を考える。	酒々井町文化財審議会会長 高橋　健一

④講座を終えて

「地域の自然・印旛沼について」では、市民自らが居住する地域の自然を学び地域の豊かさや大切さを理解することで、地域への愛着を涵養することができた。

「『臼井町名所旧蹟史』を読む」では、昭和２７年に出版された『臼井町名所旧蹟史』を基に郷土の歴史を学んだ。受講者へのアンケート結果では、地域の歴史への関心や、学ぶ意欲が高まったとの回答が多く寄せられた。

令和５年度　コミュニティカレッジさくら　第２学年　実践講座　学習カリキュラム

学習時間		１０：００　～　１２：００	
回	月日（曜日）	テーマ	講　　師
1	５月１９日（金）	○コミュニティについて 身近な地域のコミュニティとは 身近なコミュニティ施設：学校・自治会館・寺等 身近なコミュニティ：自治会・NPO等の各種団体	千葉大学 大学院教授 清水　洋行
2	６月１６日（金）	○コミュニティについて 地方分権時代の佐倉の課題	千葉大学 大学院教授 清水　洋行
3	７月　７日（金）	○地域活動を行うために NPO法人の設立について	ＮＰＯクラブ代表理事 牧野　昌子
4	７月２８日（金）	○地域の様々な実践 ～実践者を囲んで子育て支援実践例～	千葉敬愛短期大学教授 吉村　真理子 子育て支援センター 児童センター
5	８月　４日（金）	○コミュニティについて 地域住民が手を取り合う事例	関東学院大学准教授 小山　弘美
6	８月１８日（金）	○地域の課題を考える ～青少年を取り巻く環境と課題～ 社会背景を考えよう	淑徳大学短期大学部教授 佐藤　まゆみ
7	９月　１日(金)	○地域の様々な実践 ～自治会・町内会の状況～	自治人権推進課
8	９月１５日（金）	○地域の様々な実践 ～実践者を囲んで民生委員・児童委員～	民生委員・児童委員協議会 社会福祉協議会
9	１０月　６日（金）	○福祉施設での体験実習	特別養護老人ホーム 佐倉白翠園 園長　安宅　香織
10	１０月２０日（金）	○地域活動を行うために リスク管理　普通救命講習会	佐倉消防署職員
11	１１月２４日（金）	【13：00～15：00に実施】 ○地域の様々な実践 ～他市町における先進的な取り組み～	松戸市常盤平団地地区社協 会長　大嶋　愛子
12	１２月１５日（金）	○地域の様々な実践 ～防災・安全～ 自主防災など	危機管理課
13	１月２６日（金）	○地域の課題を考える ～認知症の課題をもとに～	高齢者福祉課
14	２月１７日（土）	○研究発表 ～２年生卒業発表会を通して～ ○修了式	千葉大学 大学院教授 清水　洋行 学長（佐倉市長）

15 ～ 18	５月～２月 （各班の計画による）	○自主学習	コーディネーター 事務局

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、原則として半日のカリキュラムに短縮して実施しました。

５.団体育成事業

地域団体への支援

① 開設趣旨　「臼井・王子台・うすい東地区社会福祉協議会」、「千代田地区住民会議」、「地区単位子ども会」等、各種団体の活動を支援する。

６．広報・展示事業

臼井公民館だより

①趣旨　公民館事業などへの理解を深め積極的な参加を図るために情報提供を行う。
②発行日、内容、部数

号	発行日	内容	配布場所・部数
第３５号	１１月１５日	「今後の臼井公民館主催事業」 「公民館利用の受付について」など	市内各公民館 ３２０部

③課題　より多くの地域住民に公民館事業などへの理解を深め、積極的な参加を図るため、自治会定期回覧で配布するなどの工夫が必要である。

まちづくり資料室の展示

①趣旨　臼井・千代田地区に関する歴史や遺跡等について理解と関心を深めるため、資料展示を行う。
②展示期間　通年
③展示パネル　木版画　令和元年１１月２日～１１月３０日に開催した「特別展 臼井八景と臼井」にて展示披露された島田雅照氏の木版画、臼井八景８点を展示し、地域に関心を寄せてもらう機会とした。

サークル展示活動支援

①趣旨　臼井公民館展示室は、市民ギャラリーとして、広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供されている。また、通常の学習にも多目的利用されている。
②対象　市内で活動実績のある団体を優先する。
③使用について　予約受付は使用月の６ケ月前の初日（１月のみ５日)。使用期間は１団体につき、火曜日から日曜日までの６日間を原則とする。
④展示活動団体数　２０団体（令和５年度）
⑤観覧者数　６，２５２人（令和５年度）
⑥使用料　１時間あたり２４０円（市外団体の場合４８０円）

令和５年度開催展示会一覧

※　入場者数は主催者届出による

番号	行事	主催者 （ジャンル）	期日	入場者数 （人）
1	アムール展	絵画サークル・アムール（絵画）	４／１１～　４／１６	２０２
2	第３１回 書を板に彫る「刻字」展	佐倉刻字愛好会（刻字）	４／２５～　４／３０	１２０
3	水彩仲間１８作品展	水彩仲間１８（絵画）	５／２３～　５／２８	２５６
4	花季展	佐倉皐月会（盆栽）	５／２５～　５／２８	２８８
5	あじさいクラブ展	あじさいクラブ（絵画）	６／２７～　７／　２	７４８
6	第３１回杉の子展	杉の子（絵画）	７／　４～　７／　９	３１２
7	アビロン絵画展	水彩画グループアビロン（絵画）	７／１１～　７／１６	４５７
8	市高連作品展	佐倉市高齢者クラブ連合会（絵画・工芸）	９／　５～　９／　８	２２０
9	第１５回吐夢展	吐夢の会（絵画）	９／１２～　９／１７	２６２
10	絵画サークル「創」作品展	絵画サークル「創」（絵画）	１０／　３～１０／　８	２８１
11	しづ美術サークル作品展	しづ美術サークル（絵画）	１０／１０～１０／１５	２１０
12	市民文化祭写真展	佐倉写真連盟（写真）	１０／１７～１０／２２	４５９
13	第４２回葦の会絵画作品展	葦の会（絵画）	１０／３１～１１／　５	５４２
14	市民文化祭　皐月及び山野草展示会	佐倉皐月会（盆栽）	１１／　２～１１／　５	３４６
15	第３８回作品発表会	佐倉ＳＣ写真同好会（写真）	１１／１４～１１／１９	１８１
16	白蝶会展	白蝶会（絵画）	１１／２０～１１／２４	２０８
17	彩ゆう会第１回水彩画展	彩ゆう会（絵画）	１１／２８～１２／　３	２２８
18	伝統文化いけばなこども教室作品展	いけばなサークルひまわり（華道）	１／２７～　１／２８	１４３
19	第１回水彩画展花洋会	花洋会（絵画）	３／１９～　３／２４	２４２

20	アビロン絵画展	水彩画グループ アビロン（絵画）	３／２６～　３／３１	５４７
計		２０団体		６，２５２

７．図書事業

○開室日・開室時間　火（第１火曜日を除く）～日曜日　９：００～１７：００
○休　室　日　月曜日・第１火曜日・年末年始（１２月２８日～１月４日）・特別整理期間（月曜・第１火曜日が祝日の場合は次の平日）
○貸出方法　登録制で貸出券による。１回につき１人１０冊まで１５日間貸出する。
○蔵書数
・一般図書　２６，９３０冊（音楽関係図書を含む）
・児童図書　１２，９２０冊
・洋書　６７冊
蔵書冊数　４６，９４８冊（令和６年３月末現在）
・雑誌　２０誌
・郷土資料　１，９２０冊
・その他　０冊
・楽譜　４，３６１冊
・参考図書　７５０冊
・新聞（朝刊）　７紙

○月別図書室利用状況

区分＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数（人）	4,067	3,958	3,939	3,828	3,824	3,882	3,837	3,687	3,511	3,687	3,972	4,123	46,315
貸出冊数（冊）	12,021	11,598	11,265	11,564	11,611	11,592	11,077	10,784	10,769	10,814	11,358	12,058	136,511
開館日数（日）	25	25	25	25	24	24	25	24	22	23	24	26	292

※臼井公民館図書室は図書館の分館的な機能を持ちながら、佐倉市民音楽ホールとの複合施設としての特殊性と地域性を考慮しつつ、児童・一般図書の他、楽譜・音楽関係図書の充実を図ることにより、特色ある図書室運営を目指している。

令和５年度

佐倉市立公民館のまとめ